

第 2 次 東 金 市 地 域 福 祉 計 画
及 び 地 域 福 祉 活 動 計 画

策 定 懇 話 会 実 施 報 告 書

平成 28 (2016) 年 10 月
東 金 市

目次

第1章 実施概要	1
第1節 地域福祉計画策定懇話会について	1
第2節 東金市地域福祉計画策定懇話会の開催について	1
第2章 地区別の実施概要	4
1 田間地区（7月2日開催 於：ふれあいセンター）	4
2 大和地区（7月2日開催 於：大和公民館）	10
3 公平地区（7月17日開催 於：公平公民館）	17
4 豊成地区（7月17日開催 於：豊成公民館）	19
5 正気地区（7月30日開催 於：正気公民館）	24
6 福岡地区（7月30日開催 於：福岡公民館）	30
7 源地区（7月31日開催 於：源公民館）	34
8 丘山地区（7月31日開催 於：丘山公民館）	38
9 城西地区（8月7日開催 於：台方公民館）	42
10 嶺南地区（8月7日開催 於：東金市役所）	48
11 東金第1地区（8月21日開催 於：東金市役所）	54
12 東金第2地区（8月21日開催 於：東金市役所）	59

第 1 章 実施概要

第 1 節 地域福祉計画策定懇話会について

(1) 策定懇話会の実施目的

東金市では、すべての市民が住み慣れた家庭や地域の中で、その人らしく、安心した生活が送れるよう、「東金市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しています。

地域福祉は、地域に関わるすべての人が協働することによって実現されます。そのため今回、この計画を改定するにあたり、日頃地域で実際に福祉活動に取り組んでいる各団体・個人の方々を中心に、地域の実情や福祉の課題等の御意見や御提案をいただき、より地域の声をひろいあげていくために策定懇話会を開催しました。

(2) 策定懇話会の開催にあたって

懇話会の実施にあたっては、東金市社会福祉協議会を通して参加者を募集し、以下の通り、実施しました。

① 開催日程・会場

開催日	対象地区	会場	対象地区	会場
	午前 10 時から		午後 2 時から	
7 月 2 日(土)	田間地区	ふれあいセンター	大和地区	大和公民館
7 月 17 日(日)	公平地区	公平公民館	豊成地区	豊成公民館
7 月 30 日(土)	正気地区	正気公民館	福岡地区	福岡公民館
7 月 31 日(日)	源地区	源公民館	丘山地区	丘山公民館
8 月 7 日(日)	城西地区	台方公民館	嶺南地区	東金市役所
8 月 21 日(日)	東金第 1 地区	東金市役所	東金第 2 地区	東金市役所

② 参加対象者

東金市社会福祉協議会を通じて、各地区社協単位（全 12 地区）で募集しました。参加者における、主な団体所属は、次の通りとなります。

- ・民生委員児童委員
- ・地区社旗福祉協議会委員

第 2 節 東金市地域福祉計画策定懇話会の開催について

(1) 開催にあたって

① 参加者数

懇話会における、地区別参加者は次の通りとなります。

開催日	対象地区	参加者数	対象地区	参加者数
7 月 2 日(土)	田間地区	20 名	大和地区	34 名
7 月 17 日(日)	公平地区	27 名	豊成地区	22 名
7 月 30 日(土)	正気地区	21 名	福岡地区	14 名
7 月 31 日(日)	源地区	19 名	丘山地区	18 名
8 月 7 日(日)	城西地区	26 名	嶺南地区	31 名
8 月 21 日(日)	東金第 1 地区	20 名	東金第 2 地区	12 名

② 開催について

当日の進行は、次の通りとなります。

開会のあいさつ	策定懇話会のはじまりです！ 東金市事務局より、出席の皆様にご挨拶いたしました。
オリエンテーション (15 分)	今日の話合いのテーマについて 出欠席や配布資料の確認、説明を行いました。
懇話会 (60 分) + 適宜休憩	グループワーク ①懇話会の約束事や本日の内容について説明を行いました。 ②リーダー役を決めました。 ③模造紙や付箋を活用し、話し合いを進めました。
グループの感想 (30 分)	どんな意見がでましたか？ グループで話し合ったことについて、他のグループに向けて、考えた事、思った事を発表しました。
本日の総括 (5 分)	ご参加ありがとうございました 懇話会は以上で終了しました。 閉会のご挨拶をいたしました。

(2) ワークショップについて

今回の策定懇話会は、参加者からより積極的に自由な意見が出るように、共同参加型のワークショップ形式で行いました。

参加者は、参加いただいた地区ごとにグループに分かれて、自分たちの地区の福祉の現状や課題についてグループ討議をし、意見を出し合い、解決に向けた手法を検討しました。

① 「ワークショップ」とは？

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くだけではなく、参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなくからだやこころを使って体験したり、相互に刺激し、学び合う、グループによる学びと創造の方法です。

② ワークショップでは何をするの？

このワークショップでは、各グループにわかれて、自由な発想によりアイデア、意見を出し合っていていただき、地域における福祉の生活課題などに対する解決方法について話し合います。

③ ワークショップの進行

ワークショップは、主体的な参加の場です。そのため進行役もグループの中からリーダーを選んで進めていただき、一人ひとりが役割を担いグループ全体で協力して進行していただきます。

ワークショップのポイント

i 主体的な参加

参加者が自ら参加し考えることで、活発な意見やアイデアを引き出します。

ii お互いに学び合う

いろいろな人の意見を聞くことで、さまざまな考え方があることに気づきます。

iii プロセスの重視

話し合いを重ね、意見をまとめる過程で、相手との信頼関係や助け合うことの大切さを知ります。

④ ワークショップの約束事

ワークショップでは、色々な立場の様々な考え方があることを知ることで、一人ひとりが「気づき」を得ることが一番大切だと言われています。

そのため、懇話会中、より多くの人意見が言えるよう、また、意見を出しやすい雰囲気をつくるよう、次のことにご協力をお願いします。

- i 懇話会中、一度も話さなかった、発言しなかったということのないようにしましょう。
- ii 他の人が話す時間が無くなってしまふなど、ひとりで話しを独占しないようにしましょう。
- iii 出された意見はすべてが大切な意見です。懇話会中は批判はなしにしましょう。

～ワークショップでは色々な意見が出るよう「楽しく」が基本です～

⑤ ワークショップの結果を策定に反映

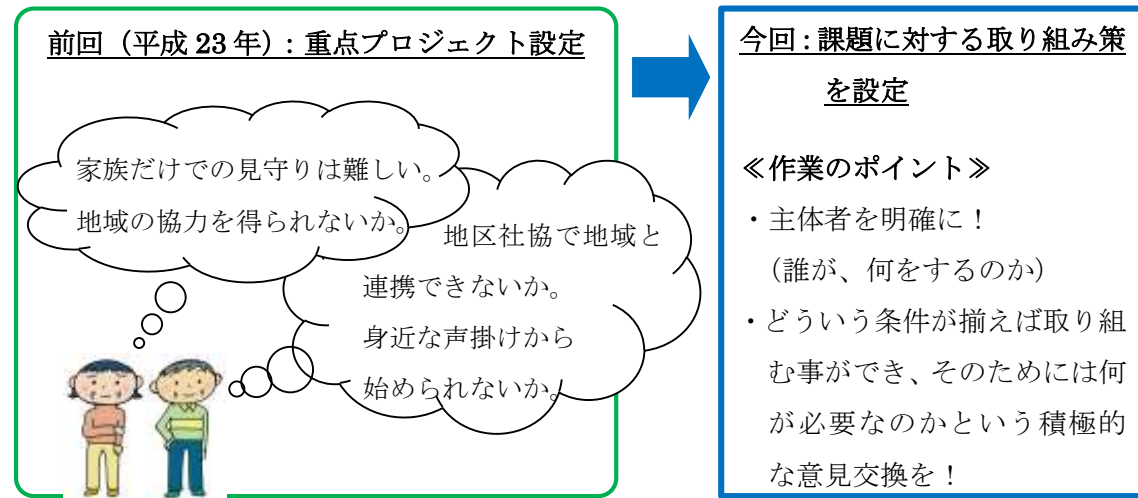
ワークショップの結果は、①東金市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会などの会議で報告し、計画策定の大切な基礎資料として、とりまとめ活用させていただきます。

また、②要望された支援について、実際に支援が可能であるかなどを関係団体に聴取します。

(3) ワークショップの内容

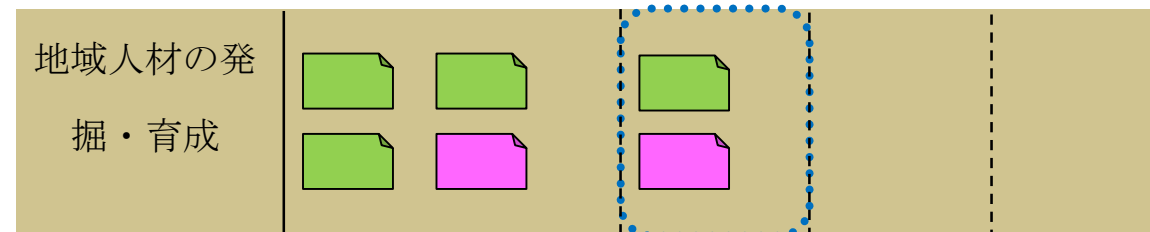
① 今回のワークショップについて

前回の計画で定めた「重点プロジェクト」について、身近な点で「思ったこと」、「感じたこと」を自由に整理しましょう。



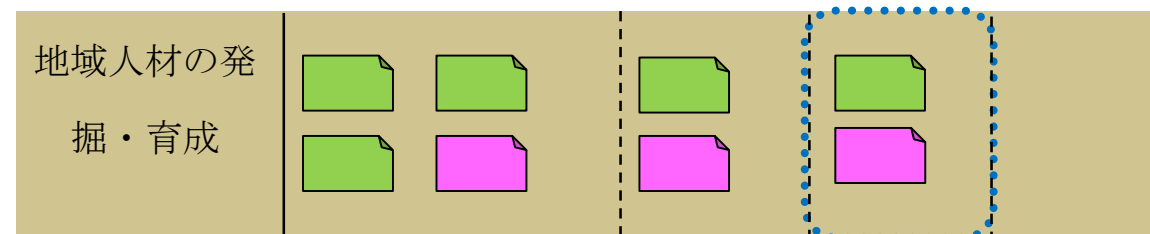
さらに、「なぜできなかったのか」、《課題》として整理しましょう。

- 意見のつながりを意識して、検討しましょう。
- 個人や全体の意見は、**緑色の付箋**、団体の意見は**ピンク色の付箋**を使います。



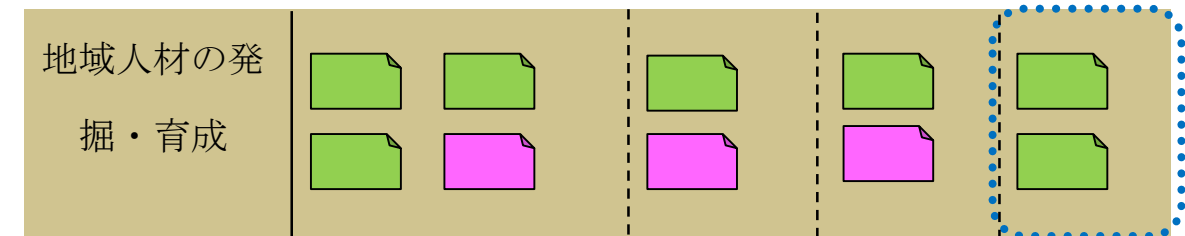
意見を基に、地域・団体で取り組むことのできるような活動を検討しましょう！

- 具体的なアイデアや妙案がないか話し合ってみて、あればキーワードとして、付箋に書き残しておきましょう。
- どのような活動が有効か、多くの参加・協力を得ることができるか、長期間の活動が可能かなど、活動理由を明確に定めながら検討を進めましょう。



取り組みに必要な、地域では準備が難しい物や、提供してもらいたいノウハウなどの要望したい支援を整理しましょう。

- 要望する支援には、必ずどういった団体の支援が必要かを記載しましょう。
〔例〕東金市・社会福祉協議会・学校・民生委員・区会など



〔地域としてできること〕

地区社協を中心に、見守り隊を結成する。(健康づくりや散歩を兼ねた活動)

備品の貸し出し
組織運営のマニュアル化

〔そのために必要なもの・こと〕

地区ごとに、のぼり旗やゼッケンなどを揃えたい。
〔東金市・市社協〕

話し合ったことについて発表しましょう！

- 各グループで、話し合ってきたことについて発表していただきます。
- 「地域としてできること」を中心をお願いします。

第2章 地区別の実施概要

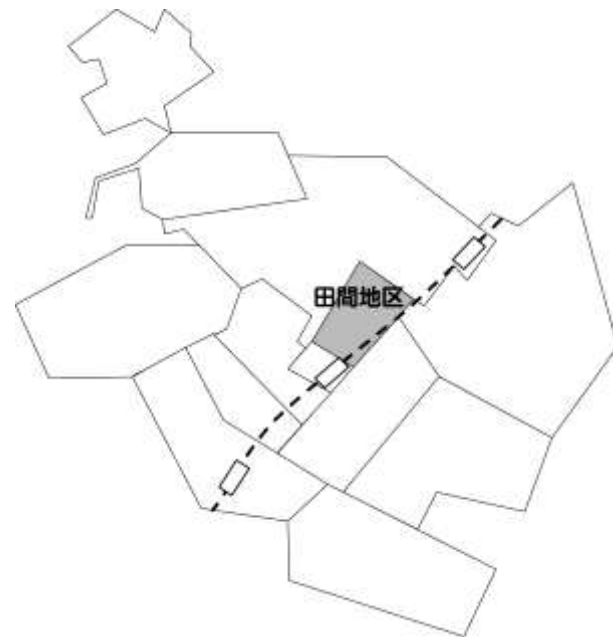
1 田間地区（7月2日開催 於：ふれあいセンター）

（1）地域特性

田間地区はJR東金駅の北方に位置しています。地区内には市立第2保育所、市立東小学校、市立東中学校、千葉学芸高校といった保育・教育施設があり、商業施設としては、「道の駅みのりの郷東金」があります。

また、地区内にある老人福祉センターは高齢者の交流の場、憩いの場として活用され、ふれあいセンター（東金市保健福祉センター）では、各種健診や健康教室等の多岐にわたる保健サービスを提供しているほか、ボランティアルームもあり、市の福祉拠点のひとつとなっています。

なお、田間地区の会員世帯数は1,201世帯で、加入率は65.9%となっています（「東金市社会福祉協議会平成27年度事業報告」より。以下同じ）。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 協力的に役員を引き受けてもらっているとの意見がある一方、高齢化による人材不足や、参加に積極的ではない等の意見が出され、役員の高齢化と、若者の団体への参加促進が課題となります。これらに対して、各種団体行事を通じての若者の勧誘や女性の参加を促していくという意見が出されましたが、そのためには、住民の意向を把握することと、各団体の役員に役割をきっちりと説明し、理解してもらうことが必要となります。

目標B 地域内行事への積極的な参加という意見が出され、そのためには、行事の広報活動を徹底することと、参加者の参加意識を高めていくことが課題となります。各団体を通じて人材交流を行い、親子で参加できる行事も検討していくという意見が出され、行政に対して、「田間物語」を継続して実施していく必要があるとの意見もありました。

目標C 人材不足と高齢化が問題として挙げられ、個人情報保護法の影響を指摘する意見もあり、そのため、地域内の連絡網を構築していくことが課題となります。それに対して、部長・班長と民生委員の連携を強化していくとの意見があり、また、人材不足については、ポイント制を導入して福祉活動への参加を促してはどうかとの意見がありました。

② グループB

目標A 各団体役員や民生委員等の人材不足、団体・行事への不参加との意見があり、高齢化により若い人材が不足しているのが課題として挙げられました。そのため、交流の場を増やしていく必要があるとの意見が出され、情報伝達の手段として回覧板の有効活用が提案されました。

目標B 交流が不足しているとの意見があり、また、交流の不足により団体へ参加する時期がわからないとの指摘がありました。そのため、交流場所や機会を増やしていくのが課題となります。交流の場としては「田間物語」の成功が挙げられ、さらに地域的なサロンを設けてはどうかとの意見が出されました。

目標C 災害時の安否確認の方法や避難場所が周知されていない等の意見があり、防災倉庫の数が少ないことも指摘されました。また、近所付き合いが少なくなっており、各戸の情報が分からないとの意見もあり、災害時の情報の確保や情報公開の方法に課題があるとしました。そのため、各団体のリーダーを育成して、これらの課題に対処する必要があるとの意見が出され、防災倉庫の設置や情報公開については、行政の支援が必要との意見が出されました。

③ グループC

目標A 民生児童委員等の負担増を嫌って引き受け手がいないや活動に積極的でない等の意見が出され、新旧住民が交わっていることで人材の発掘・育成が難しいとの意見が示されました。よって、新旧住民の交流の場を増やすことや児童委員等の増加を図っていくことが課題といえます。そのため、地域行事への参加を積極的に呼びかけていくことや地域住民同士で日常的な支援を行っていくとの意見が出され、住民意識の啓発を行うことや、新しい会を立ち上げる等の方法で、支援を必要とする人とお手伝いできる人を取りまとめることが必要とされました。

目標B 交流が行われているという意見がある一方、世代間や地域の広範囲での交流が少ないのではないかとの意見が出され、子供会と敬老会の交流を行うこと等が課題として挙げられました。これに対して、年に数回公園の花壇づくりをするイベントや食事会を行うこと、花見の会や敬老会に子供が発表を行う場を設けること等の意見が出され、そのためには、子供会への資金補助や物品提供を行うこと、花いっぱい運動等を継続していくことが必要であるとしました。

目標C 日頃から地域との交流を図り、近所との密な関係を望む意見や、高齢化に対して情報を共有化できる特別なネットワークの構築等の意見が出され、災害が増加していることから、防災訓練を行うことや近所同士で情報を共有することが課題として挙げられました。これらに対して、日頃から自助努力を行うことや、コーディネーターのネットワークを構築しておくこと等の意見が出され、また、地域の交流の場として親子料理教室を田間地区全体で開催するとの意見も出されました。そのため、住みよく安心して暮せる地域を目指して、全住民の認識を啓発していく必要があるとしました。

④ グループD

目標A 子供会の役員を引き受けてもらえない、入会者が少ない等の意見が出され、また、後継者不足を挙げる意見も多く出されました。よって、子供会の行事を工夫することや若者がボランティア等に参加しやすい環境を作ることが課題といえます。そのため、子供会同士や青年会、社協、ボランティアの相互協力の体制を整えること、行事の早期連絡や開催時の声かけをするとの意見が出され、情報を共有して開催日を決める必要があるとしました。

目標B 地域行事を増やすことや、行事に気軽に参加できるようにする等の意見が出され、子供会の行事として行っているどんど焼の開催場所が課題として挙げられました。そのため、地区の常会等に相談していくという意見が出され、市有地や公園等の貸出が必要としました。

目標C 登下校時の見守りが家族だけでは難しく、地域でもらいたいという意見やまちづくり協議会を利用して行事を計画していくとの意見が出されました。よって、地区行事を現状以上に行っていくこと等が課題となり、そのためには、各種団体との交流会の回数を増やすとの意見が出されました。また、交流を増やすため、中間層への働きかけを行っていくことが必要となります。

田間地区 グループ A	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>人材積極的に やりたがらない。</p> <p>田間地区社協は、 区内団体の方が 協力して下さる。</p> <p>一般的に奉仕の 精神が不足している。</p> <p>仕事をもちながら、 役員を引受ける 人が増えている。</p> <p>高齢化が進んで、 適任者が 少なくなっている。</p>	<p>課題 A</p> <p>人材。 部長、組長の選任に 苦勞している 地区がある。</p> <p>地域内でどの職人が どのような「能力」を 持っているか 判らない。</p> <p>役員の高齢化。 若い方の協力を、 どうしたら お願い出来るかが 問題。</p>	<p>活動 A</p> <p>若い方の発掘。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一三三会。 ・消防団。 ・体協。 ・子供会。 ・PTA。 ・長寿会。 ・交流を拡大。 ・メンバー勧誘。 <p>女性の活用。</p>	<p>支援 A</p> <p>「区」として住民の 意向を把握すること。 ・現在ある組織を 利用し、把握する。 (班(組)、部、区) の方法:「ききとり」 「アンケート」等を 通して把握する。</p> <p>・各団体の役員に 主旨を説明し、 リーダーの役割等を 理解してもらう。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交 流機会の拡充</p>	<p>祭、田間物語、 区民体育祭等に 参加して、 人材を発掘。</p> <p>地域内の行事に 積極的に 参加してもらう。</p>	<p>課題 B</p> <p>・地域内の 行事について 広報活動を徹底する。</p> <p>参加意識を どう上げるか。</p>	<p>活動 B</p> <p>各種団体 (一三三会、消防団、 子供会、長寿会等)を 通じた人材交流。</p> <p>親子で参加出来る 行事を検討する。</p>	<p>支援 B</p> <p>行政へ 田間物語 (リレーマラソン) 継続採用。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワー クの構築</p>	<p>地域活動を 推進する人が 常に同じ、 参加する人も同じ。 マンネリ化している。</p> <p>個人情報 (例:ハンデの ある人等)の 取り扱いが、 過剰反応により、 むずかしい状況にある。</p> <p>一人暮らしの 高齢者が 増えている。</p> <p>個人情報保護法が、 邪魔している。 何も出来ない。</p>	<p>課題 C</p> <p>各地域内の連絡網を どう構築するか。</p>	<p>活動 C</p> <p>部長・班長と 民生委員との 連携の強化を図る。</p>	<p>支援 C</p> <p>『情報』に 裏打ちされた 『連絡網』の構築。</p> <p>福祉活動に参加したら ポイント制で 環元するシステムを 検討。</p>

田間地区 グループ B	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>民生委員として、定年が長くなったため、引受手がみづかりにくい。</p> <p>各役職においての新役員の選任にあたり、苦労する。 (田間区)</p> <p>長寿会の参加について、入会する人が少ない。</p> <p>福祉計画は若い人は無理なのか？ 人材は定年後の人がいいのか？</p> <p>交流の機会がなく、どんな人がいるのかよくわからない。</p> <p>交流の機会をつくっても、めんどくさがって、その場に出たがらない。</p> <p>農家。後継者がいない。</p>	<p>課題 A</p> <p>地域により高齢化が進み、若い人材がいなくなってきている。</p>	<p>活動 A</p> <p>交流の場をふやす。</p>	<p>支援 A</p> <p>広報的なものがあれば。</p> <p>回覧板を有効に利用する。 (区長会)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>役員等と老人会の、交流はあるが、中年との交流が難しい。</p> <p>交流の場が少なく、入る時がわからない。</p>	<p>課題 B</p> <p>交流場所・機会を考える。</p>	<p>活動 B</p> <p>交流の場をふやす事</p> <p>↓</p> <p>「たまものかたり」が成功した良い例。</p>	<p>支援 B</p> <p>地域的なサロンがあれば、良し。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>本日の会議を参考にしたい。</p> <p>災害時の安全確認をするには、</p> <p>防災倉庫が少ない。 (防災会)</p> <p>災害時の避難場所の周知方法。</p> <p>区長を中心にして田間地区は、交流は良くてきている。</p> <p>近所づきあいが少なくなっているため、各戸の情報が近所でわかりづらくなっている。</p>	<p>課題 C</p> <p>災害時の情報の確保は。</p> <p>情報公開の方法に課題有り。絞りがきつすぎる。</p>	<p>活動 C</p> <p>防災倉庫設置場所の確保。 (防災会)</p>	<p>支援 C</p> <p>各団体のリーダーの育成。</p> <p>行政的な予算がほしい。 (防災会)</p> <p>政治的に動くしかない。</p>

田間地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>民生委員はたいへんだと思っていて、引き受けてくれる人がいない。</p> <p>能力を持っている方は沢山いると思うのですが、自ら積極的な活動をする人が少ないと感じる。(民生児童委員)</p> <p>地域によっては、若い方の参加もあるので、どうしてもっと参加して頂くか、検討していく必要がある。</p> <p>なり手が居ない。理由 ・負担増になる。 ・人間関係のわずらしさ。 しかし参加しなれば何事もおぼろげに、やる事の意義を、それにはどうしたらよいか。</p> <p>ボランティア ・技術や得意分野を生かして。 積極的に参加しない、せつぱくの交流の種を、自ら進んで行事等に参加すると、皆の考えも分かる。一人の人に片寄ってしまう。</p> <p>・自ら進んでやり手がいない。 ・お隣にあげても引き受けて貰えない。(民生)</p> <p>新・旧住民の交った地域であり、考え方の違う面が多いため、人材の発掘・育成が難しい。(社協役員)</p>	<p>課題 A</p> <p>隣人を知らない地域となりつつある中、まずは隣人と話せる場を持てるようなパイプ役が必要ではないか。田間地区社協 佐藤</p> <p>これから先介護度の低い方への市の方の支援が少なくなってきたので、買い物とか掃除等手伝いを社協の方で手をかしてくれたいと思う。 民生委員</p> <p>田間地区は、児童数も多く、児童委員の増加を測れば、よりよい支援が出来ると思います。(民生主任児童)</p>	<p>活動 A</p> <p>田間地区にはそのなりゆきで地域が沢山ある。それに家族ぐるみで参加する様、積極的な呼び掛けが必要。経験・体験する事で、人材は育つ。じみちにやる事。(福祉活動推進員)</p> <p>地域民生委員・主任児童委員のコミュニケーションは非常に良く取れているので、このチームワークは良いと思います。(民生主任児童)</p> <p>日常的な支援(そうじ、買い物など)地域住民で補う。 民生</p>	<p>支援 A</p> <p>住民が力を合わせて、住みよい地域にする為に、住民意識の啓発をもっとしたらと思う。早くから小学校・中学校から教育課程の中に組み入れ、意識をすりこむ。(ボランティア)</p> <p>民生</p> <p>日常支援を必要とする人。それをお手伝いできる人ととりまとめる。例えば新しく会を立ち上げる。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>田間1区、2区、3区の高齢者間の交流はあると思うが幼児・児童との交流が一部なので全体でできる事年1回でもイベントをしたらどうか。</p> <p>子供会にも、子育て世代との交流については、田間地区全体で行ないたい。(民生主任児童)</p> <p>田間二区仲通りに関しては、青年団や子供会の交流が頻りに年何回かは子供達と接する機会有り。その事により、子供達と仲良くなる。長寿会も第2保育園との交流の場有り。</p> <p>随分パトロール隊が学童の横断歩道の見守りをしているが、それも子供達との顔見しりになり、仲良くなれる。そんな場を多く作る為にもパトロール隊への積極的参加を望む。</p> <p>1区、2区、3区の交流の中で、いつも出席する人は同じで、出席できない人の中にも、出てみたいと思う人もいますので、参加の方法をかんがえたい方が多い。</p> <p>子供を中心とした地区全体の行事を希望します。(食事の提供等)ふれあいセンターの調理室。(民生主任児童)</p> <p>ボランティア幼稚園、保育園、小学校の子供達とふれあいをもちたい。交流会等二区ではやっているが、もっと簡単に行事が行なえたら良いと思う。</p>	<p>課題 B</p> <p>いつも同一の人が交流会に参加するが、スムーズに運営するのは、仕方ないのかもしれないと思う。人材を広く求められたらと思います。現状維持。ボランティア</p> <p>子供会・敬老会の交流がない。(民生児童)</p>	<p>活動 B</p> <p>年に1~2回、世代を超えて公園など花だん作りをする。 民生</p> <p>子供会などの方々に年に2回程の食事会を行う。子供同伴で。(民生主任児童)</p> <p>・第二保育園の活用。 ・夏まつりの実施。 ・まちづくり協議会の活用。 ・各地区子供会の充実。 そして横れんけい構築。</p> <p>花見の会や敬老会に子供の発表の場を作る。(民生 児童)</p>	<p>支援 B</p> <p>・子供会への資金補助。 ・物品の提供。(民生主任児童)</p> <p>花いっぱい運動等継続的にする行事をつくり、各家庭全てが花を植えて参加させる。田間地区を花一杯にしたなら、素晴らしい。ボランティア</p> <p>家から外に出よう。高齢化してきたら、自分だけでは決して生活できなくなる。他人・人に頼り、自分の人生をどうするかを日頃から考えて、認識して生きて行きたい。(ボランティア)</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>最終的に(自助)、自分の事は自分で責任を持つ。そのような認識で、日々過ごして行きたい。 民生</p> <p>なるだけ地域との交流をはかり、積極的にイベントに参加する。日ごろから健康管理を心がける。 民生</p> <p>これから高齢者が増大する中、個人情報ではあるが、情報の共有は策について、考えなくてはいけない。特別なネットワークを構築できないか？(田間地社協)</p> <p>となりどうしの決め事が出来る様な環境が欲しい。</p>	<p>課題 C</p> <p>災害とのニュースを聞く度に大きな災害が発生している中、災害についての知識が充実していないと思っている。隣り近所1人住みの老人の事や歩行の出来ぬ人を知る事も大切。市との協力による防災訓練が必要ではないか。</p>	<p>活動 C</p> <p>・人材発掘。 ・自助の努力。その上に立って、止むを得ない時に手を差し伸べる。コーディネーターネットワークの構築。(ボランティア)</p> <p>親子料理教室を田間地区全体で開く。(民生・主任児童)</p> <p>日常から、いろいろな場に出向き、自分の特性を見出す。(民生児童)</p>	<p>支援 C</p> <p>住みやすく安心して暮らせる地域作りをめざして、地域に貢献できるように全住民の認識を啓発して行きたい。 民生</p>

田間地区 グループD	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>後継者がいない。</p> <p>後継者がいなく、こまっています。</p> <p>地区社福後継者への教育の機会を設けたい。</p> <p>子供会の入会者がなかなか集まらない。(役員の方きづき手がいない)</p> <p>若い方達が参加してくれない。</p> <p>後継者の発掘が難しい。(子供会)</p> <p>会員が高齢化して後継者が入ってこない。(ボランティア)</p>	<p>課題 A</p> <p>・子供会の行事を楽しいものに計画する。 ・行事や、やりかたなどをせいせんし、役員の負担をへらす。</p> <p>ボランティアの手伝いが出来ません。(若い方)</p> <p>子供会は男性役員が少ない。自分1人。(子供会)</p>	<p>活動 A</p> <p>子供会どうしや青年会、社協、ボランティアさんなどと協力できる体勢がととのえられるとよいと思う。</p> <p>行事を早めご連絡し参加できる人に、こまめに連絡するようにする。(ボランティア)</p> <p>催し開催時の声かけ。(子供会)</p>	<p>支援 A</p> <p>ボランティア、年間行事について、会員全員の総会を開き、協力できる日を決める。(実行している)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>地域行事への参加を、気軽にできるようにする。</p> <p>交流出来る行事を増やしていく。</p> <p>子供会と長寿会の活動はしている様ですが、中間層の人たちの考え方がわからない。</p>	<p>課題 B</p> <p>子供会ではどんど焼きを実施しているが、開催場所の安全性の担保が難しい。(子供会)</p>	<p>活動 B</p> <p>地区の常会等に伺いながら、検討している。(子供会)</p>	<p>支援 B</p> <p>どんど焼き等の実施場所として、市有地・公園等の積極的な貸し出し。(子供会)</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>登校、下校の見守りを地域してもらえるとありがたい。</p> <p>放課後の見守りが家族だけでは難しい。</p> <p>地区公民館を利用し、ネットワークを構築。</p> <p>まちづくり協議会を利用し、行事を計画する。</p>	<p>課題 C</p> <p>仲通り地区行事の現状維持。</p>	<p>活動 C</p> <p>各種団体の交流会の回数をふやす。</p>	<p>支援 C</p> <p>子供会、中高年の他、中間層への働きかけをどうするか。</p>

2 大和地区（7月2日開催 於：大和公民館）

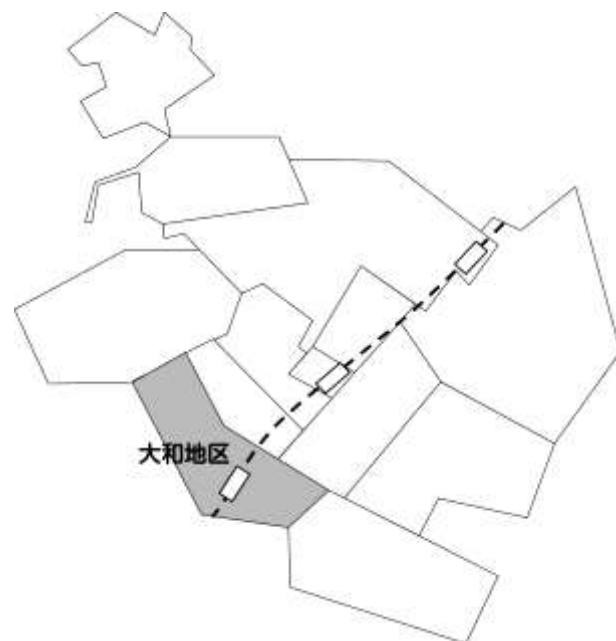
（1）地域特性

大和地区はJR福俵駅の周辺に位置し、大網白里市に隣接しています。

JR福俵駅前には区画整理された街並みと自然に抱かれた住宅団地が造成され、ここには、市立大和幼稚園が設けられています。

また、地区の西側には、「房総の十和田湖」とも称される雄蛇ヶ池があり、四季折々の風景を映し出しています。

なお、大和地区の会員世帯数は934世帯で、加入率は78.6%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 活動・行事に不参加、無関心であるという意見や、活動自体が知られていないと指摘する意見があり、また、役員が負担になっていることや後継者等の人材不足との意見が出されました。よって、人材不足を解消し行事・活動への参加者、認知を拡大していくことが課題となります。これらに対して、行事への参加を促進していくとの意見が出され、広報活動や声かけを行い、研修会や講演会に参加してもらう必要があるとしました。

目標B 活動や交流が広がったとの意見も出されましたが、世代間のイベントが少ないや新住民が地域活動になじめていないという意見も出されており、団体の活動をアピールし、世代間の交流の場を増やしていくことが課題となります。これに対して、踊り等の趣味を通して保健施設への訪問を行うことや大和祭等の祭りや運動会を開催して地域、世代間の交流の場を設けていくという意見が出され、各団体が1つの行事を計画し、訪問活動を活発にする必要があるとしました。

目標C 大和各区と社協・他団体が密に連携しているとの意見もある一方、連携は限定的であるや民生委員との連携が少ないとの意見もありました。また、新旧の住民で地域交流に温度差があるとの意見も出されています。これらから、団体間の連携を強化していくことや地域における交流の壁をなくしていくことが課題といえます。そのために、会と会員の連絡密にするとの意見が出され、声かけ運動や子供達への見守り隊を充実させ、積極的に交流を図っていく必要があるとしました。

② グループB

目標A 各団体の役員の引き受け手がない等の意見が出され、後継者や若者の人材不足が課題として挙げられました。これに対して、福祉施設の訪問や家庭訪問で、積極的に交流を広げていくとの意見や後継者の育成を続けていくとの意見が出され、ボランティア活動の内容を地域の多くの人に知ってもらう必要があるとしました。

目標B 地域内の広報を強化するや世代間の交流の場を設ける、新住民への声をかける等の意見が出され、指導的な立場の人が不足していると課題が挙げられました。また、交流を広めるため、年間を通して計画的に行事を行うことや多くの住民に参加を促していくとの意見が出され、世代間交流や老若男女を問わずあいさつをする運動をしていく必要があるとしました。

目標C 表札がないためコミュニケーションを取りづらや高齢者虐待に関して相談役のような存在が必要等の意見が出され、課題として後継者を育成することが挙げられました。そのために、ボランティアへの参加意識を高めていくとの意見が出され、地元住民や新住民との話し合いの場を設けることや、近所との交流を持ち連携を図ること、声かけ運動等に積極的に参加する必要があるとしました。

③ グループC

目標A 役員を決めるのが大変との意見や地域の活動に無関心との意見が出され、また、団体がどのような人を募集しているのかが分かりにくいとの意見もありました。これらから、役員や後継者の人材不足、各団体のPR不足等が課題として挙げられます。これに対して、日常の活動の中で頻繁に声かけを行うや戸別配布を行うとの意見が出され、学校行事の中でボランティア体験を行い、人材育成を図る必要があるとしました。

目標B 世代間交流がないや誰もが集える場所があると良いとの意見が出され、地域住民の交流の場や世代間交流の行事の拡充が課題とされました。そのために、現在実施している「ふれあい大和祭」を充実させるとの意見や、小中学校行事への参加、商店等への掲示物等の依頼協力が必要との意見が出されました。

目標C 新住民や近所付き合いのない人の参加が少ないや個人情報の共有等の意見が出され、交流を図り、ネットワーク作成の要員を確保することや個人情報の取り扱いのことが課題として挙げられました。そのために、定期的な会合や懇話会等を実施していくとの意見が出され、法律も含めて柔軟な対応を検討する必要があるとしました。

④ グループD

目標A 地域の人と積極的に接点を持ち、交流するという意見や各地域でコーディネーターとなる人や話し合いの中心となる人を推薦するという意見が出され、コーディネーターの育成や交流・出会いの場を設けるとの課題が挙げられました。これに対して、区会を通して話し合いの機会を設けてほしいとの意見があり、行政や公の組織の協力を得る必要があるとの意見や気軽に集まれる場、場の中心になれる人を確保していく必要があるとの意見が出されました。

目標B 大和祭等の個人・団体が参加できる行事を拡充していくや、高齢者と若者の交流の場を設ける、年間を通してではなく、1回限りの参加しやすいボランティアの機会があればよい等の意見が出され、世代間や組織間交流の場が設けられ、他の世代との交流がしっかり図られるような工夫が必要との課題が挙げられました。これに対して、子供達とのスポーツ交流会や子供に遊びを教えてもらう会等を開催するという意見が出され、イベントでの交流を増やしていく必要があるとされました。

目標C 地域の特色を生かした実行計画の作成やインターネットを利用して地域の意見を集めること、新旧住民の交流を図ること等の意見が出され、知識と時間的余裕のある人材を育成すること、インターネットを利用する若者と交流することが課題として挙げられました。これに対して、城西大学の学生との交流が可能であることが示され、福祉事業に係るNPOの創設や周回バス等を設ける等の支援が必要との意見が出ました。

⑤ Eグループ

目標A 後継者の人選に関して、お願いしても引き受けてもらえないや誰が適任なのか分からないといった、人材不足との意見が多く出され、また、ボランティアを好意で引き受けたものの、活動を続けていくうちに批判されて後悔したという意見もありました。これらから、人材不足や交流の不足により情報が得られていないという課題が挙げられました。これに対して、役員選考基準の緩和や若者との交流、年長者が若い人材を発掘するとの意見が出され、地区長からの情報の提供、各団体の精神的な援助が必要とされました。

目標B 若者と高齢者の交流の機会がないことやイベントへの新規参加者が少ないこと、大和祭等のPR等の意見が出され、若者は仕事等の関係により参加が困難であること、活動のPRの場を設けること等が課題として挙げられました。これに対して、大和祭については区会等でPRし、参加者を拡大していく、回覧板の利用やインパクトのあるポスターを作成するとの意見が出され、芸能祭や文化展、大和祭の参加者に積極的に声をかけ、交流を図っていくことが必要としました。

目標C 近隣の人話すきかけがない、自主防災会・防災訓練への参加という意見が出され、若い人との社交の場を作ることが課題とされました。また、防犯活動の際に声かけをし、安全を確保していくとの意見があり、積極的な声かけが必要であるとしました。

大和地区 グループ A	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>社会福祉関係の 人材不足。 (社福協役員、 ボランティア、 民生委員等)</p> <p>・近所の方々の 経歴等が不明。 特に新しく 住まわれた方々。 ・個人情報保護が 時々じゃまになる。</p> <p>・会の後継者の問題 お願いと固く 固辞し、 場合によっては、 退会される。 (人材育成前の 問題) (大和長寿会)</p> <p>田中・福俵など 農村地域には、 仕事が忙しく、 食改になかなか 入ってもらえない。 ※若い人の参加が ほしい。 (食改 大和)</p> <p>行事に参加しない 人が多い。</p> <p>活動に無関心な 人が多い。</p> <p>活動を知らない 人がいる。 (民生)</p> <p>・会員の新規加入が 難しい。 地域の特長、活動状況、 現状の問題点等を 書き出してもらい、 対処したい。 (若手、年配者も 入会しない。) (長寿会)</p> <p>子安講は今後も 大切にしてほしいが 若い人が はいらなければ、 消えていく一方。 事実、だいもっこう、 三十夜様が 消えました。</p> <p>活動時間に 制約があり、 参加できない。</p> <p>役員としての 活動が負担。 (全搬)</p>	<p>課題 A</p> <p>・人材不足。 ・活動に無関心。</p> <p>活動自体を知らない (全搬)</p>	<p>活動 A</p> <p>行事への参加を うながす。 (全搬)</p>	<p>支援 A</p> <p>広報活動 PR。 声をかける。 (各団体)</p> <p>研修会や講演会に 参加してもらう。 (長寿会・食改)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交 流機会の拡充</p>	<p>山口では子供会を 廃止したが、 その後の活動が 見えない。 最近、何人か 新しい子供を見ることが できるか。</p> <p>世代間活動 (イベント) が 少ない。</p> <p>大和ふれあい広場に 参加することにより、 いろいろな地域の 人と食を通して、 話をすることができ、 特に、減塩について、 みなさんに アピールできた。 (大和 食改)</p> <p>ヘルプサポーターとの 交流により、 活動や人との つながりが広がった。 (食改 大和)</p> <p>子安講等の 活動があるが、 若い人がいない。</p> <p>地域活動に なじめない人 (新住民) が いる。</p>	<p>課題 B</p> <p>世代間の交流の 機会がすくない。</p> <p>団体の活動の アピール不足。 (各団体)</p>	<p>活動 B</p> <p>踊りを通して(趣味、 保健施設などへ 訪問することで 交流ができる。</p> <p>大和祭、文化展。 地域、世代間交流を 図る。 (社協)</p> <p>・大和地区全体の 交流を深めるために、 様々な行事 (祭り、運動会等) を開催する。 あくまでも、 住民参加を主とし、 多くの交流の場を 設ける。</p>	<p>支援 B</p> <p>(世代間交流) 各団体が 1つのことができる 行事を計画する。 (企画)</p> <p>(地域交流) 訪問活動を 活発にする。 (社協)</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワー クの構築</p>	<p>大和各区と 社協の連携は密。 他団体とも密か。</p> <p>旧部落(住民)には、 寺の組織である、 お題目、生活互助の 身内だとか有る。 これに新住民を どうからませるか。 特に支え合いの柱に。</p> <p>ロコモ体操を 広めることにより、 他の団体との 交流ができる。 (大和食改)</p> <p>福祉4団体との 交流の外は 行っていない。 (社協)</p> <p>大和祭に参加して それぞれの会が 分団をして協力して、 祭りをすすめていた。 みんなの気持ちが ひとつにならなくては 楽しい祭りは できないと思った。 ※子ども達が 喜んでいる。</p> <p>福祉ネットワークの 存在の確認。 ないのでは。</p> <p>民生委員と 地域の各団体の 連携が少ない。 (民生委)</p>	<p>課題 C</p> <p>団体間の 連携がすくない。 (民生委員)</p> <p>地域での 特異性がある。 (交流の壁) 昔からの地域全般。</p>	<p>活動 C</p> <p>・会が行っている 情報提供を 会員全員に知らせる。 (会と会員の連絡を 密にする。) (長寿会)</p>	<p>支援 C</p> <p>声かけ運動の推進 困っている人が いたら、 声をかけましょう。 子ども達にも 声をかけましょう。 (社協)</p> <p>子ども達への 見守り隊の充実。 (長寿会)</p>

大和地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>地域の話題性や行動活動を共有していく。</p> <p>個人① 各種団体の役員。 引受手がいない。</p> <p>地域のスポレクまつりなどに参加する人が少ない。 看板・チラシ以外で、方法がないものか？</p>	<p>課題 A</p> <p>婦人学級。 後継者がいない。 (婦人学級)</p> <p>役員の引受け者がいない。</p> <p>① 高齢化社会により、若い人達の不足。</p>	<p>活動 A</p> <p>・福祉施設などに訪問、お手伝いに行ってみよう。 ・作品作り。 ・話し合い。 (婦人学級)</p> <p>・家庭訪問による状況の把握。</p> <p>① 後継者の育成を次代、次次に継承していく。</p>	<p>支援 A</p> <p>① 地域の輪を最大に活かして行くこと。</p> <p>ボランティアなどで行っている事を、地域の多くの方に知ってもらおう努力。</p> <p>地域のボランティア活動。 (大和社福協)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>・施設の充実。 ・地域の広報力の増強。</p> <p>世代間の交流の場を作っていったらどうか!?</p> <p>※ 新住民との散歩など、出合った時の言葉掛け。</p> <p>お年寄りの移動手段について、どの様なお手伝いが出来るか。 (病院・買い物など)</p>	<p>課題 B</p> <p>指導的な立場の人が少ない。 (人材不足)</p>	<p>活動 B</p> <p>年間による行事(スポーツ・演芸等)の計画性をもつ。</p> <p>地域スポーツ交流及び演芸交流を多くの住民に最大限参加して頂く。</p> <p>・年一回のスポーツ大会。 ・年二回(春・秋)の演芸発表会。</p>	<p>支援 B</p> <p>※ 年代別による交流と共に、世代を越えて交流会を多く開催していく。</p> <p>※ 老若男女問わず、あいさつする運動。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>家庭内のやさしさ、思いやりの大切さを勉強する機会づくり。</p> <p>個人の数地内の大木等の処理。苦情が出て、困っている。</p> <p>※ 個人情報の問題で、表札を出さないお宅が多く、コミュニケーションが取りづらい。</p> <p>高齢者虐待関連。地域の見守りだけでなく、相談役のような存在。</p>	<p>課題 C</p> <p>・次代による、後継者を育成する事。</p>	<p>活動 C</p> <p>・ボランティア精神ののっとり、参加意識を高めて行く。</p>	<p>支援 C</p> <p>※ 地元住民と新住民と文化の違いを、話し合う場。</p> <p>向こう3軒両隣りの方と関係をとるよう、努力。お隣と交流を持つ。</p> <p>声かけ運動などに積極的に参加する。</p>

大和地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>次年度の役員を決めるのが大変です。(区会)</p> <p>介護保険が出来てボランティアをする人が減って来たと思う。(ボ)</p> <p>私達がやれなくなった農業をだれかやるか。息子はふんやらない。</p> <p>次期役員を決めるのが大変です。(民生)</p> <p>地域活動に無関心な方が多い。(⊕)</p> <p>民生 役員の仕事がけっこう多くて大変です。</p> <p>団体がどんなことをしているのかはわかるけど、その団体がどんな人を募集しているかわかりにくい。</p>	<p>課題 A</p> <p>次年度の役員が決まらない。(無関心)</p> <p>各団体のPRが不足している。</p> <p>サークル等の活動の場が多くなり、活動の選択肢が増えた。</p>	<p>活動 A</p> <p>日常の活動で、ひんぱんに声かけを行う。</p> <p>回覧とは別に、戸別配布(ポスティング)を行う。</p>	<p>支援 A</p> <p>中学生の職場体験のように、地区のボランティア体験を、学校行事の中で実施する。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>青年会、消防隊との交流が少ない。(区会)</p> <p>・地域を越えた交流→日程の調整が大変？ ・行事・イベントやったらやりっ放し？</p> <p>フリー喫茶みたいなものを作って、若きも老いも話せる場があると良いと思う。(ボ)</p> <p>いつでも、だれでも「ここに行けば、だれかに会える」という場所があるといいと思う。</p> <p>世代をこえた交流。→地域ごとに、いろんな世代が参加できる行事が大切。</p> <p>子供を育てている人々のネットワークがあるが、それが世代地域に生かされていない。(区会)</p> <p>災害時の見守り隊。近所の人で行う組織を望む。(ボ)</p> <p>各種団体を中心とした行事(ふれあい)の実施。(⊕)</p>	<p>課題 B</p> <p>地域住民が集える場所の拡充。</p> <p>世代を越えた住民が集える行事の拡充。</p>	<p>活動 B</p> <p>・現在実施の「ふれあい大和祭」の充実。 ・プロジェクトの拡充。</p>	<p>支援 B</p> <p>小・中学校の文化祭等行事への参画。(学校の協力)</p> <p>商店・コンビニ等への広報活動(掲示物等)協力依頼。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>区会 新規住民の方や近所つき合いのない方の参加が少ない。</p> <p>・月1回の座談会などを必ず実行する。</p> <p>地域食堂みたいなものを作り、子供も老人も集える場所を。(ボ)</p> <p>個人情報の取扱いについて考えさせられる。(⊕)</p> <p>個人情報をある程度地域で共有する必要があります。</p> <p>人が減ってくるので、似たような組織をまとめることも必要かも？</p> <p>・地域の子供達といっしょに当番制など作り、楽しく話し合いしながら、食事作りをする。</p>	<p>課題 C</p> <p>個人情報の取扱い。</p> <p>ネットワーク作成の要員が確保できない。</p>	<p>活動 C</p> <p>定期的な会合。懇話会等の実施。</p>	<p>支援 C</p> <p>法律をみすえて、じゅうなんな対応の検討。</p>

大和地区 グループD	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>各地域でのコーディネーター発掘。 (福祉に通念した人材)</p> <p>先づ自分が出かけて行く。 人との出会いから。</p> <p>地域の人と接点を持つ。</p> <p>隣近所の人に声かけをして、集まりやイベントに誘い、交流の機会を多くもつ。</p> <p>各団体の役員との交流。 (長寿会)</p> <p>接点の出来た人との話し合い。 内容の説明をする。 (四つ葉会)</p> <p>日頃より、隣近所と差し支えない程度のお付き合いを進める。</p> <p>話し合いの中心となる人を推せんする。</p>	<p>課題 A</p> <p>資質人材に対する報酬。</p> <p>隠れた人材は多くいると思うのですが、出たがらない人が多い。 どうしたら、いいでしょう？</p> <p>•コーディネーター育成。 •経済的感覚。</p> <p>若い世代が多く、平日お話しをする機会が少ない。</p> <p>出会いの場があると良い。 (四つ葉会)</p>	<p>活動 A</p> <p>会員の中より撰出可能。 (長寿会)</p> <p>区会を通して、回覧で話し合いの機会をもっといただけないか。</p>	<p>支援 A</p> <p>公助の協力をえる。 行政又は公の組織の協力を得る。</p> <p>気軽に集まれる場所。</p> <p>経費の確保。 (長寿会)</p> <p>場の中心になれる人。</p> <p>より多くの人が集まれる機会を検討。 定期的。 (日時を含む)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>友愛活動の促進。 (長寿会)</p> <p>大和祭など各個人、団体が参加できる行事の拡充。</p> <p>年間通してのボランティアではなく、1回限りの参加しやすいボランティアの機会が出来ると思います。</p> <p>長寿会等と青年会等の会を持つ。</p> <p>高齢者と若い年齢層との交流の場。 (長寿会)</p>	<p>課題 B</p> <p>若者との交流の場をもうけて!!</p> <p>世代間交流の場は設けても、同じ世代の話しになってしまうと、その場だけで終わってしまう。 交流の工夫。 場の作り方に工夫が必要では？</p> <p>推進団体となる組織の交流。</p> <p>若い人達に出合った時に出来るだけ話かけ、話題をつくる。</p> <p>地域の機動性を高める。</p>	<p>活動 B</p> <p>子供を主(先生)にしてうの遊びを教えてください。</p> <p>例えばソフトボール交流会のあとに、子供主体の遊びの場を。 (社協)</p> <p>子供達とのスポーツ交流。 (地区社協)</p>	<p>支援 B</p> <p>イベントでの交流。 (長寿会)</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>地区での活動(ボランティア)に参加してからスタート。</p> <p>インターネットの活用。</p> <p>新住民と旧住民との交流。</p> <p>若い世代に、福祉に関心を持ってもらうにはどうしたらいいでしょうか？ (社協)</p> <p>高齢者の買物ヒナシ民に対する足の確保。 (長寿会)</p> <p>高齢者、特に独居老人の情報の確保。</p> <p>ホームページを開設し、地域の多くの人の意見を聞く。</p>	<p>課題 C</p> <p>知識と時間的余裕のある人材を育成する。</p> <p>インターネット利用する若い人との交流。</p>	<p>活動 C</p> <p>城西大学学生と交流可能。</p>	<p>支援 C</p> <p>福祉事業に係るNPOの立上げ。</p> <p>•コマンドタクシー。 •周回バス。 (長寿会)</p>

大和地区 グループE	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>後継者の人選がうまく行かない。(民生)</p> <p>民生委員・主任児童委員をお願いに行っても、受けてもらえない。</p> <p>一つの役を受けると、次々に役が回って来る為、役をきき受けられない。</p> <p>どんな人を選んでいいのかわからないし、自分に進められてもできるかどうか心配になる。</p> <p>H28年、つい先程、民生主任児童委員の選出。年齢制限等の規約が厳しく、該当が見つからなかった。</p> <p>誰が適任かわからない。(情報不足)</p> <p>人材が少ないうえに、積極的に参加してくれない。(自治活動は参加してくれる)</p> <p>役員を依頼しても、仕事関係で引受けてもらえない。</p>	<p>課題 A</p> <p>若い方達は仕事を持っていることが多いので、大変である。</p> <p>一度、経験すると、次、受けられにくい、任期で。</p> <p>役の経験者に、又、役の依頼が有るので、受ける方がなかなかなくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報不足 ・人材不足 <p>時間・金 (民生)</p>	<p>活動 A</p> <p>なるべく若い人達のサークルへおじゃまする。(民生)</p> <p>地域役員の選出選考については、規制を緩和したらと思います。</p> <p>年長さんやリタイヤした人が若い人を発掘する。</p>	<p>支援 A</p> <p>地区長さん達の会合の席で情報を得て、更に依頼する。(区長会)</p> <p>各団体の温い精神的な援助。</p> <p>体育祭で3位内に入ろう。綱引き。(松戸プロジェクト)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>若い人と高齢者のふれあいの場があまりない。(民生)</p> <p>大和祭の参加者の増強。</p> <p>若い人達に交流会の参加要望はむずかしい。</p> <p>大和祭を5回開催してきました。マンネリ化せず、毎年少し新しい企画を取り入れ、盛上げたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和祭 ・ふれあい広場(芸能発表会) ・文化展 <p>のPR。</p> <p>祭りやイベントに参加できる人がいつも同じで、誘うタイミングがもてない。</p> <p>ボランティアとして、少しでも地域のためと引き受けたつもりが、後からいろいろ批判され、後悔した。</p> <p>芸能発表会、文化展。隠れた才能を持った住民をどう発掘するか？</p>	<p>課題 B</p> <p>活動PRの場を作る。</p> <p>ウェルカム。気軽に入れる。公民館活動、大和祭等。</p> <p>若い方の参加は、仕事等も有り困難。</p> <p>陽気の良い時期に出来ないものかー。</p> <p>関係者の参加が主となっている様。一般の方の参加をどうしたらよいか。</p>	<p>活動 B</p> <p>大和祭について、区会等でPRし、参加者を増やす。(区長会)</p> <p>回覧板を、できるが活用する。ポスター。インパクトのある。</p>	<p>支援 B</p> <p>芸能祭、文化展、大和祭に参加した人に積極的に声をかける。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>近隣の人と話すきっかけがみつからず、誘う機会がない。</p> <p>自主防災会、防災訓練への参加。</p>	<p>課題 C</p> <p>若い人との社交の場をつくる。</p>	<p>活動 C</p> <p>防犯活動の際にも声かけし、安全確保。</p>	<p>支援 C</p> <p>声かけをする。</p>

3 公平地区（7月17日開催 於：公平公民館）

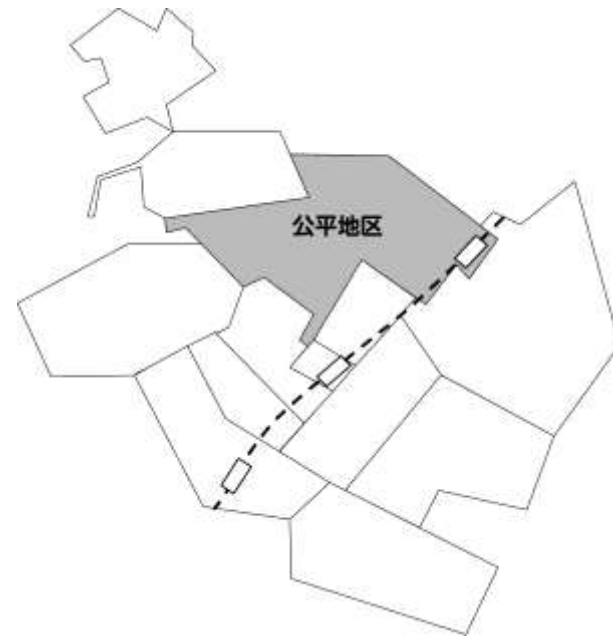
（1）地域特性

公平地区は、市の北方に位置し、JR求名駅の西方に広がり、北は山武市に接しています。

地区内には千葉県立東金青年の家があり、その周辺には青年の森公園野球場とテニスコートが整備されています。

教育施設として、市立公平幼稚園、県立東金商業高校、県立農業大学校、城西国際大学があり、若者と地域との交流も盛んとなっています。

なお、公平地区の会員世帯数は1,193世帯で、加入率は82.5%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 人材の発掘はできているという意見が出た一方、発掘・育成の成果は出たが、意識にムラがあるという意見もあり、地域福祉に関する参画意識の希薄化や高齢者の地域社会づくりが課題として挙げられました。これに対して、きっかけ作りが必要だという意見が出されました。

目標B 世代間、地域間の交流が広く進んだや既存の組織・団体を地域福祉活動に組み込み、そこからリーダーを育てられたら良いとの意見があり、課題として高齢化等が挙げられました。交流を進めていく方法として、長寿会と子供会とで夏休みにラジオ体操や昔の遊び等を合同で楽しむという意見や、文化・スポーツクラブを中心とした長寿会活動を行うという意見が出され、相互理解やきっかけ作りが必要だという意見が出されました。

目標C 地域福祉ネットワークの構築が長寿会中心に進んでいるという意見や子どもについて課題があるという意見があり、企画力を高めるやボランティア活動の限界が課題として挙げられました。これに対して、班長会議のネットワークを活用すること、友愛活動を地域の皆で行う等の意見が出され、東金市長寿会の会連合会を継続していくことや社協から援助を得ることが必要としました。

② グループB

目標A 消防団員のなり手がいない、農家とサラリーマンでは生活基準や考えに違いがあるという意見が出され、地域に20代の青年が多くないことや長寿会への入会を促すことが課題として挙げられました。消防団員については地域の各種役員に依頼する等の意見が出されました。

目標B 公園がなく、イベントを開催する場所が少ないや、イベント自体が少ないという意見が出され、世代を越えた交流がないとの課題が挙げられました。そのため、公園ができれば、生涯スポーツが可能となり、子どもの育成と自然環境が充実するという意見が出され、行政に公園の設置を要望していく必要があるとしました。

目標C 隣近所のことを気にかけることが福祉ネットワークに役立つという意見や求名区防災会が必要という意見が出されました。これに対して、地域・区の委員とのつながりが不可欠との課題が挙げられ、個人情報の問題が足かせになっているとの指摘があり、防災会の立ち上げについては現在、活動中であるとの意見が出されました。また、友愛活動における乗合タクシーの利用制限も課題として挙げられ、行政に働きかけていくことや乗合タクシーを充実させていく必要があるとの意見が出されました。

③ グループC

目標A ボランティア意識が低い、人まかせ等の意見が多く出され、人材不足が指摘されています。よって、区長や各長への就任は下の役職から上の役職へと順次務めていく形に変えた方がレベルや考え方が上との課題が出されました。そのため、地震・やる気を持たせ、経験させるとの意見が出され、活動の内容等を十分に説明することが必要としました。

目標B 若者は多いが、短期間しかいないため、交流につながらないや交流の場を広げて入りやすい環境づくりをする等の意見があり、従来の組織に新住民が加入するのが難しいとの課題が出されました。これに対して、どんど焼きのときに世代を越えた交流ができていた、獅子舞の活動が地域のイベントとして子どもと大人の交流になる、秋の地区運動会に参加するといった意見が出され、これら運動会等の行事を継続、発展させていく必要があるとしました。

目標C 高齢者世帯や買物難民が増加している、各役員同士のつながりができていない、地域の防災訓練が必要であるといった意見が出され、従来の組織に新住民を加入させていくのが課題として挙げられました。これに対して、区長を中心としたネットワークを構築する、警察にいろいろな説明をしてもらうといった意見があり、高齢者世帯には近所から声かけをもらうや地域で生きがいとなる場をつくっていく必要があるとしました。

④ グループD

目標A 若者に地区のボランティア活動に参加してほしい、核家族の家庭や高齢者が多いといった意見があり、見守りささえあい訪問による安否確認や災害合同訓練が課題として出されました。これに対して、地域新年会や地区体育祭を行うとの意見があり、資金や各種行事への協力や賛同が必要な支援として挙げられました。

目標B 昔の小規模店舗がなくなった、高齢者との交流等の意見があり、高齢者は行き先が多いが交通の便が悪いとの課題が出されました。これに対して、ふれあい広場への参加者を送迎するという意見があり、乗合タクシーの周知・広報することや利用料の検討を行うことが必要だとしました。

目標C 一人暮らしの高齢者を調査し把握するや高齢者がボランティアする側になっている、高齢者と地域の係わりが薄くなったという意見が出され、昔に比べて情報の把握がしにくいという課題が出されました。

⑤ Eグループ

目標A 地域活動に参加する人が限られているや地域に残っているのは高齢者ばかりで若者は仕事のため、ほとんど地域にいない等の意見があり、会合はいつも同じメンバーであることや若者がおらず、高齢者世帯が多いことが課題として挙げられました。これに対して、隣人近所が積極的声かけをし、絆を深めるや多くの方が参加できるイベントを企画するといった交流を増やすという意見が出され、地域でボランティア活動を行っていく必要があるとしました。

目標B 子どもが少なくなって交流の機会が減っている、若者が参加できる企画がほしいという意見やふれあい広場では高齢者の参加が多く、送迎があったのが良かったという意見がありました。これらから、高齢化に伴う子ども・若者のイベント参加者の減少、高齢者の移動手段といったことが課題として挙げられました。これに対して、広く地域の人が集まれる行事を行うことや会員間の助け合いを行うことが意見として出され、祭り行事を拡充していくことや交通手段を確保する必要があるとしました。

目標C 地域の人、近所の人との交流が少ない、団体間の交流が少ない等の意見があり、個人情報の問題が課題として出されました。これに対して、コミュニティの輪を広げ、地域で見守れる組織をつくるという意見が出され、個人情報保護の廃止や行政の支援の必要性が挙げられました。

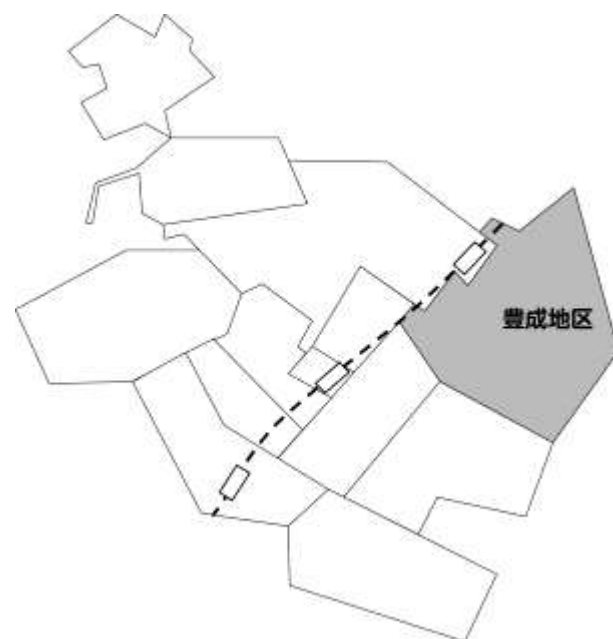
4 豊成地区（7月17日開催 於：豊成公民館）

（1）地域特性

豊成地区は、市の北東部にあって、JR求名駅の東方に位置し、山武市と九十九里町に接しています。

地区の北方、山武市とまたがる地域で、作田川沿いにある成東・東金食虫植物群落は国から天然記念物と指定され、珍しい植物の宝庫となっています。また、地区内には千葉県警察学校があり、保育・教育施設としては、市立第3保育所、市立第4保育所市立豊成小学校があります。

なお、豊成地区の会員世帯数は1,233世帯で、加入率は89.3%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 人材育成は良好であるとの意見があり、課題として年齢差の問題や話し合いの場が必要、新旧住民、世代間の交流が少ない等が出されました。これに対して、場所と年の差との意見があり、資金の支援が必要としました。

目標B 意見や課題は目標Aと同文としました。必要な支援として、イベント資金やノウハウ、人材が挙げられました。

目標C 福祉タクシーの利用グループをつくるとの意見が出されました。

② グループB

目標A 若者の参加が少ない、多忙、社会福祉活動を知らないといった意見があり、実情を知ってもらおうという課題が出されました。これに対して、地域や各種団体での研修を行うとの意見が出され、行政の指導により学校や職場等でも地域貢献活動の研修を行うことが必要な支援として挙げられました。

目標B みんなが参加できるイベントや伝統行事がなくなっているとの意見があり、ここから、予算がないや世話人がいない、多忙である等の課題が出されました。これに対して、すこやか親睦会を拡大すること、地域での見守りをする、犬の散歩をすることといった意見があり、声かけや、回覧板等の支援が必要とされました。

目標C 区長会や社協、民生委員等の繋がりがなく、新旧住民の係わりがないという意見があり、それぞれの組織がばらばらであるとの課題が出されました。これに対して、単独ではできない

テーマを与えて、組織間の繋がりを持つようにするとの意見があり、ネットワークについて、各種団体のリーダーが行動を起こすことが必要としました。

③ グループC

目標A 消防団組織が人材育成の場になっているという意見や福祉についての話し合いの場がない、役員を選任する仕組みがほとんどないといった意見があり、社福の行事やイベントに他の団体の協力を呼びかけていくこと、区にどのような人物がいるのか分からなくなっていること、障がい者への助け合い活動が課題として出されました。これに対して、社福活動で男性に参加を促していくや人材マップを作成するという意見が出され、福祉委員と民生委員の間で意見交換をして共同の活動内容を充実させていく必要があるとしました。

目標B 世代間の交流が少なく、若者との接点がないや公民館を利用した交流の場があると良い、地域の祭り等への広い参加を促すといった意見が出され、災害時等に必要になる障がい者についての情報を話し合う場が設けることが課題として挙げられました。これに対して、公民館活動の活用、区内で懇話会を実施するという意見が出され、必要な支援としてなぜ必要なのか訴えることが挙げられました。

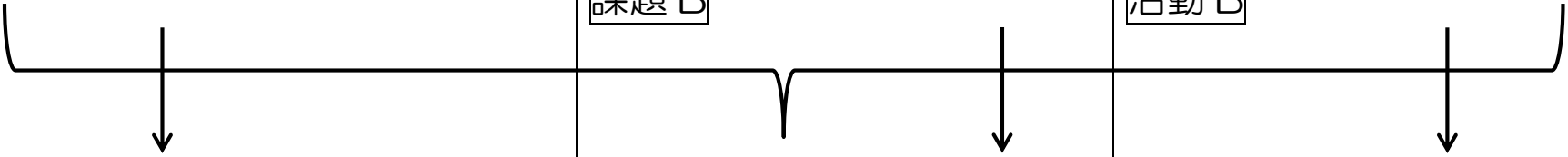
目標C 児童福祉の情報がない、用語が難しい、地域福祉計画のその後の運用が分からないといった意見が出され、課題として用語の普及と内容の周知、東金市として地域福祉計画と地域福祉活動計画を総括することが挙げられました。これに対して、他の地域の活動が分からないので、各地域の取り組みや行事等を発表して理解することが必要との意見があり、福祉委員・民生委員の活動内容を浸透させることが必要としました。

④ グループD

目標A 福祉への参加が少ないという意見や社会福祉協議会の会議や活動が昼間で会社員等は活動がやりにくいという意見、役員を引き受けたら想像以上に大変だったという意見がありました。これらから、会議や行事の回数を見直すことが必要、役員の選任方法等の課題や地域での拠点が必要との課題が出されました。これに対して、役職の内容をよく説明するとの意見が出され、地域の交流の場に参加した方が良かったとしました。

目標B 若者は仕事で、交流の機会や場が必要、近所と日常的に会うことが少ないといった意見や社福委員には縦の繋がりがあるといった意見が出され、新住民への参加を旧住民から呼びかける、福祉教育を強化する、交流の場である餅つき大会に多く人が参加できるようにするといった課題が出されました。これに対して、福祉教育現場への参加や地区民へのアンケートを行う等の意見があり、餅つき大会への協力が必要との意見が出されました。

目標C 東金市にフードバンクの活動があるが周知されていない、空き缶を回収して地区の会計に充てている等の意見が出され、課題としては個人情報の問題が挙げられました。これに対して、地区で空き缶を集めるグループがあるとの意見が出され、必要な支援として、災害がいつ起こるか分からないので、組織図の完成を望むという意見や各種団体とのネットワーク連携を強化する、関係機関との速やかな対応のためにコーディネーターを育成し任命する研修会を充実させるという意見が出されました。

豊成地区 グループ A	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>ニ又については人材育成は良好です。</p>	<p>課題 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢差の問題。 ・話し合いの場が必要。 家庭内のコミュニケーションが少ない。 新住民と旧住民の交流が少ない。 世代を越えた交流の機会が少ない。 	<p>活動 A</p> <p>場所と年の差。</p>	<p>支援 A</p> <p>お金。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>		<p>課題 B</p> <p>以下同文。</p>	<p>活動 B</p>	<p>支援 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント資金。 ・ノウハウ。 ・人材。
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>福祉タクシーでの利用グループをつくる。</p>	<p>課題 C</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p>

豊成地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>若い人の参加が少ない。</p> <p>みんなが多忙感。</p> <p>社会福祉の活動を知らない。</p>	<p>課題 A</p> <p>実情を知ってもらう。</p>	<p>活動 A</p> <p>地域で研修。 各種団体の研修。 区の行事！</p>	<p>支援 A</p> <p>学校・職場等、 地域貢献福祉活動の 研修をする。 (行政による指導)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>みんなが参加できる物 (幅広いイベント)、 伝統行事が 無くなって来ている。</p>	<p>課題 B</p> <p>予算がない。</p> <p>世話人がいない。</p> <p>結論！ みんな忙しい。</p> <p>世の中が 矛盾している。</p>	<p>活動 B</p> <p>地域での見守りも とっても大切！</p> <p>犬の散歩。</p> <p>すこやか親睦会の 拡大！ 参加する人。 見学する人。</p>	<p>支援 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声かけ。 ・回覧板。 ・周知、協力。
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>区長会、社福、 民生等々の 繋がりが無い！</p> <p>社福という種族！ 新住民との係わり。 旧住民は社交性が あまりない。</p>	<p>課題 C</p> <p>それぞれ組織が 「バラバラ」。</p>	<p>活動 C</p> <p>単独では 出来ないので、 「テーマ」を与えて 組織の繋がりを持つ。</p>	<p>支援 C</p> <p>ネットワークの 作り方。 各種団体の リーダーが 行動を起す。</p>

豊成地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>地域活動の中で福祉について話し合いの場がもたれた事がない。</p> <p>A. 人材 ①元気のいい定年退職者。 ②地区外から入ってこられた方。</p> <p>消防団組織は育成の場となっている。</p> <p>役員を選任する仕組みが一部の役についてはあるが、他の役はほとんどない。</p> <p>健康寿命が叫ばれる昨今、健康で楽しく暮らすには、積極的に地区の健康教室に参加したりして、自分の健康は自分で守る様心掛けたい。</p> <p>楽しく老後を過ごすには、友達や地区住民との会話やお茶飲みがとても大切だと思う。</p> <p>やる気のある元気な高齢者。(年齢は問わない)</p>	<p>課題 A</p> <p>社福の行事やイベントには男性の協力が不可欠。現在、区長会が協力してくれているがこれからも他の団体の協力を呼びかけたい。</p> <p>区の中のどこにどんな人が居るのかわからない。</p> <p>障害者についての助け合い活動。</p>	<p>活動 A</p> <p>社会福祉活動での、男の方たちに参加を促す。</p> <p>人材マップの作成。</p>	<p>支援 A</p> <p>福祉委員と民生委員間で意見交換をして、共同した活動内容について充実させていく。</p> <p>東金市全体としてのまとめをしますが、今日出た意見はこの地区特有のものがあると思うので、今日この地区のまとめをしていただけたらと思う。★</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>世代間の交流が地区でありなく、若い世代(特に結婚されてきた方を知らない)との接する事がないので、福祉を含め意見交換がない。</p> <p>昔あった盆おどりがいつの間になくなってしまった。</p> <p>・地域の公民館等を開放して、日時を決めないでお年寄等が自由に集まって、おしゃべりしたりできる場所づくりが必要かと思います。</p> <p>地域の祭りや夕涼会、納涼会のような行事も、そこに関係している子供達だけでなく、広く一般的に参加をうながす事が大切だと思う。</p> <p>介護タクシーの利用が少ないという。もっと利用者を多くするにはどうしたら良いか?</p>	<p>課題 B</p> <p>障害者についての情報も災害時などのとき必要になるので、その事についての話し合う場を設けてみたらどうか。</p>	<p>活動 B</p> <p>公民館活動の活用。</p> <p>区の中で本日の様な懇話会的なことを実施する。</p>	<p>支援 B</p> <p>何故必要なのかを訴える。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>高齢者福祉も大切だが、もっと大切な児童福祉に目を向けたとき情報が殆どない。(個人情報保護の問題もあると思うか)</p> <p>題名の用語がむずかしい。</p> <p>C. 地区の横の連絡中心となる組織?に視張ってもらいたい。</p> <p>地域福祉計画は作成されるが、その後の様な運用されているのかわからない。</p>	<p>課題 C</p> <p>用語の普及と内容の周知。</p> <p>東金市として ・地域福祉計画 ・地域福祉活動計画の5年間の総括は?</p>	<p>活動 C</p> <p>地区の他の地域は全然判らないままで終わってしまうので、各自の地域の取組や行事等をお互いに発表して理解しあう事も必要かと思います。(福祉委員)</p>	<p>支援 C</p> <p>福祉委員と民生委員の活動内容を浸透させる事が必要か?</p>

豊成地区 グループD	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>福祉への参加が少ない。他人事のような考え方が多いのではないかと。</p> <p>前役員から役員を引き受けました。思っていたより、大変でした。</p> <p>主任児童委員のなり手を探すのが大変。</p> <p>リーダーや地域を担う人材が少ない。地域社会の高齢化のため、できる人がいない。</p> <p>グループへの参加依頼が必要。</p> <p>社会福祉協議会の会議や活動が昼間なので、会社員など現役の人はやりにくい。</p>	<p>課題 A</p> <p>地域での拠点が必要である。</p> <p>活動したい方の相談場所。近い所が良いのではないかと。</p> <p>会議、行事の回数を見直す事も必要では。</p> <p>次の役員をどのようにして選ぶかが課題です。</p>	<p>活動 A</p> <p>役の内容をよく話して、分かってもらった上でお願いする。</p>	<p>支援 A</p> <p>地域の交流の場に参加した方が良いと思います。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>若い人達は仕事で、交流の機会の場づくりが必要。</p> <p>下武射田餅つき大会を開催しています。</p> <p>となり近所の人と、日常会う事が少ない。</p> <p>御門地区。ハザーの品物集めは前の委員が協力してくれる。社福委員のたてのつながりがある。</p> <p>地区民の交友の集り(祭りなど)があると、年寄りや子供達の顔も覚えられる。</p>	<p>課題 B</p> <p>餅つき大会。たくさんの人に来てほしい。</p> <p>福祉教育の強化。</p> <p>地域に新しくひっこしてきた人とのつながりも弱く、かんひろい、ハザーなどへの参加が少ない。前からいる人からの声かけをした方がよい。</p>	<p>活動 B</p> <p>餅つき大会。親和会、わかしおクラブ、餅つき実行委員会に協力してもらっています。</p> <p>地区民アンケートなどしてはどうでしょう。</p> <p>福祉教育現場への参加。</p>	<p>支援 B</p> <p>餅つき大会。皆さんの協力です。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>社会福祉協議会、地区社福の行事(ふれあい広場、保育園との交流 etc)や友愛訪問などを通じて、地域のお年寄りや独居の方との接点ももっている。</p> <p>家庭で出たあき缶を回収して、地区の会計の足しにしている。</p> <p>ネットワークの組織の具体化に促進。</p> <p>地域の特性を生かし、まとめて行くこと。</p> <p>東金市でもフードバンクの活動があると聞いているが、そのことを知らない人が多いと思う。PR活動が必要ではありませんか？</p>	<p>課題 C</p> <p>社会福祉協議会。社福の名簿のせて、訪問活動などをしてほしいが、個人情報保護の壁があって対象者を網羅しきれない。</p> <p>福祉対象者の声が聞こえて来ない。プライバシーの問題はどうか。</p>	<p>活動 C</p> <p>地区で空き缶集を集めるグループがある。(みかんの会)御門</p>	<p>支援 C</p> <p>災害はいつ来るかわからない。組織図の完成を望む。</p> <p>関係機関とのすやかな対応をするためのコーディネーターの育成と任命について、研修会の充実。</p> <p>・各種団体とのネットワーク連携強化。 ・モデル地区をつくること。早急に！</p>

5 正気地区（7月30日開催 於：正気公民館）

（1）地域特性

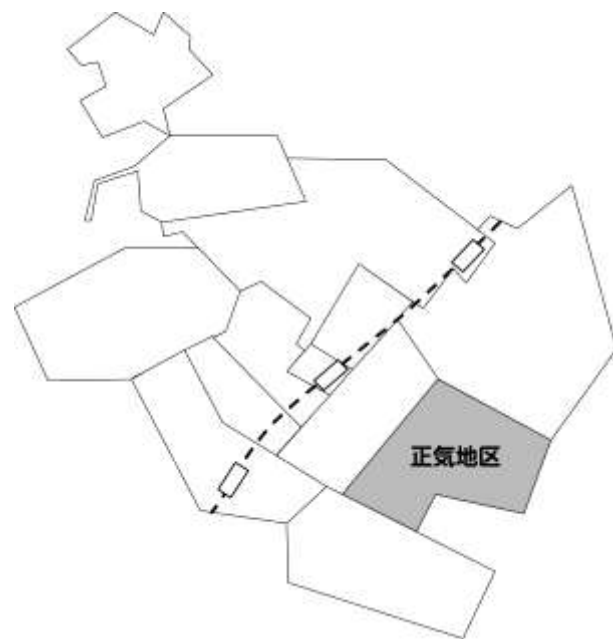
正気地区はJR東金駅の南東に位置し、九十九里町と接しています。

東金市は「植木のまち」ともいわれますが、正気地区はそれを支える地区となっており、いたるところに植木畑があり、どの家の庭先にも花木が見られます。

地区の公共施設として、市民スポーツの拠点となる家徳スポーツ広場や、汚水処理を行う浄化センターが整備されています。

教育施設としては市立正気幼稚園、市立正気小学校があります。

なお、正気地区の会員世帯数は1,430世帯で、加入率は61.7%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 公民館活動を推進して、地域にどんな人材がいるのかを確認し養成する、地区の各種団体の活動がよくわからないや住民同士の交流の機会がないといった意見が出され、課題として団体の交流を推進し、その中で人材を把握すること、地域・団体として問題解決に積極的に取り組むことが課題として挙げられました。これに対して、各団体が積極的な広報活動をしていくや団体に参加しやすいように工夫していくという意見が出されました。

目標B 活動やサークルの目指す目的をはっきりさせ、共通する部分では連携するや老若男女が集う場を増やしていくといった意見があり、参加できる地域団体を工夫する必要があるとの課題が挙げられました。これに対して、共通の目標を通して団体同士の交流を深めていくとの意見が出され、そのために公民館活動を活発化する支援が必要としました。

目標C 自治会の未加入者が増えているという意見や、困ったときに枠を越えて連絡できるような場があると良い、地域や市のいろいろな課と日頃から話ができる関係を築く必要があるといった意見が出され、困ったときに枠を越えて連絡相談できる相談課のような場があればとの課題が挙げられました。また、必要な支援として自治会の加入を促すようにしてほしいとしました。

② グループB

目標A 役員やボランティア活動に参加する人が限られている、福祉に積極的に関わる人が少ない等の意見があり、ボランティア等への参加を促していくことが課題となります。そのために機会教育を頻繁に行っていくことやパンフレット等を発行してPRしていくこと、PTAと各

種団体との交流の機会を増やすといった意見が出され、説明会等を実施していくことや資金や物品等の支援が必要としました。

目標B 交流出来るイベントが少なく、参加できるイベントを開催し、拡充した方が良いという意見や、そのようなイベントの企画が大変であるとの意見等が出され、子どもと高齢者との交流の場を設けていくことや交流イベントの内容を検討していくことが課題として挙げられました。これに対して、学校との協力連携を拡大していくという意見や講座を開いたり、地元企業の見学会を実施したりして交流の場を提供していくという意見があり、参加したくなるようなイベントを企画していくことや行政との関わりを持つ人が必要としました。

目標C 災害時に独居高齢者やデイサービス利用者の安全確保が必要との意見が出され、そのような高齢者と利用者の把握を行うことが課題とされました。これに対して、災害時には施設側から利用者情報を提供してもらいたいとの意見が出され、情報提供に同意してもらう必要があるとしました。

③ グループC

目標A 定年退職された方が積極的に参加してくれているという意見や区長の任期が1年で、2年3年と出来る人もいないのではないかといった意見が出され、区長について若者に理解してもらおうのが難しいという課題が出されました。そのため、若者の理解や行動を促す支援が必要としました。

目標B 公民館活動の一環として各団体長を中心とした研修会や懇親会があり、交流・親睦の輪が広がっている、近所付き合いが少ない、地域の子供達に積極的な挨拶・声かけを実施するといった意見が出され、課題としては区長任期の2年制について挙げられました。

目標C 独居高齢者への見守りにどの程度関与すべきか難しいという意見や不登校になった子どもに対して親だけでなく他の人も相談に乗った方が良いのではないかといった意見が出され、個人の理解を深めていくことが課題として挙げられました。これに対して、長寿会を活発化させる、「子ども110番の家」のような活動を続けていくといった意見が出されました。また、必要な支援として、生活排水の整備、防災体制の構築が挙げられました。

④ グループD

目標A 地区代表の人選が同じ人に偏りがち、若い世代から地域活動に参加する、リーダーに負担がかからないように参加者全員でフォローするといった意見があり、新住民に団体の活動内容等を説明する必要がある等の意見もありました。これらから課題として負担が個人に集中していること、若年層の負担増になること、広報や連絡、説明が不足していること等が挙げられました。

目標B 各団体の活動は助け合いながら行われている、体育系のイベントではなく、文科系のイベントで世代・団体を越えたイベントを企画する、祭囃子の練習で大人と子どもの交流が図られた等の意見が出されました。今後はSNSを活用して情報を周知していくとの意見が出され、また、必要な支援として広報の拡大版を配ること等が挙げられました。

目標C 小中学校での職場体験に積極的に参加する、認知症カフェを実施していきたいとの意見が出され、課題としては職場がなく、首都圏へ移動していることが挙げられました。これに対して、安全な作業で多くの住民が参加できるような集いを実施していくとの意見が出され、足がなく、自分でその場に行けないため、その足を確保する支援が必要との意見が出されました。

正気地区 グループA	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>計画の中心に ついての 広報不足。 役員になって 初めて 意識する。</p> <p>防災活動を 一部の人達で、 普段老人の近所の 人々には結果しか 回らんがない。</p> <p>役に付くと なかなか 次の人に 交代できない。</p> <p>自発的に やりたい人少ない。 ↓ お願いされて 引き受ける。 ↓ 無難に1年経過し、 前年をとうしゅう。</p> <p>公民館活動を 積極的に推進して、 地域にどんな人材が いるのかを 確認するとともに 養成する。 活動力も推進めて いくようにしたら よいと思う。</p> <p>人材バンク。 (具体的な内容で、 正気地区の 求めていること) 日常できること でも可。</p> <p>サークルの リーダーの育成が 不十分。 機会が無い。</p> <p>地区の 各種団体の活動が よくわからない。 募集宣伝が足りない。</p> <p>福祉のイメージを 明確に。 全世代について 支援。</p> <p>住民同士の交流が 少ない。</p> <p>交通安全の人達は 頑張っているが、 歩道がない。</p> <p>住民の 交流機会がない。</p> <p>役につく事により 見えてくる事がある ので、 2年毎に消防団、 体協、防災など トップをかえて やっていくと 良い様に 思います。</p> <p>60才以上に なったら、 長寿会に 参加してみる。 何事も 参加してみると、 気づく事や 協助につながると 思います。</p>	<p>課題 A</p> <p>• 団体の交流を推進する。その中で人材を把握することが必要だね。</p> <p>• 地域、団体として問題解決に積極的に取り組み、府域の活動に取り組む。</p>	<p>活動 A</p> <p>• 各団体の積極的な広報活動をする。また、参加できる工夫をする。</p>	<p>支援 A</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>活動やサークルの 目指す目的を はっきりさせて、 ①共通部分の 活動で連携。 ↓ ②全体で。</p> <p>子ども会、長寿会等 必要に応じた 活動推進できるよう、 地域で 考えていければと 思います。</p> <p>(公民館) 文化祭など、 見学者が少ない。 出展者も 決まっている。 正気公民館 利用しているの で、年末大そうじ に参加するが、 もっと各種団体から 参加してほしい。</p> <p>老若男女がつどう 場を増やし、声か けをしていく。お 年寄りの方は参加 して、協力したい 人が多いと思います。</p> <p>サークルの 立上げ・充実。</p>	<p>課題 B</p> <p>• 参加出来る地域団体の工夫。</p>	<p>活動 B</p> <p>• 共通の目標を通して団体同士交流を深める。</p>	<p>支援 B</p> <p>• 公民館活動を活発にする。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワー クの構築</p>	<p>自治会の未加入者が 増えている。</p> <p>困ったときに ワクを越えて 連絡できるような 場があればと思う。</p> <p>防災活動、認知症、 講演会、消防の 上級コース、AED、 困っている方の 市への橋わたし、 協力しあって いければ良いと思う。</p> <p>福祉資源が どういもの・こと・ 人があるのかが 分からない。</p> <p>地域と市の いろいろな課と 日頃からもっと 話ができる関係を きついでいく為には どうすれば良いか？ 講演会や 出さいする場には なるべく出席する。</p> <p>正気公民館の 老朽化に使用時、 不便を感じる。 その都度主事に 願います。</p> <p>一斉清掃で、 班ごと人数で ザッと歩くだけで 意味がない。</p>	<p>課題 C</p> <p>• 困ったときに連絡相談できるワクを越えた相談課のような場が欲しい。</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p> <p>自治会の加入を 促す取り組みを してもらいたい。</p>

正気地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>認知症サポーター講座の開催。</p> <p>特定の人への依頼が多く（役員・選手・集め等）、なかなか輪が広がらない。</p> <p>ボランティア参加する人数がかぎられてしまい、計画が成り立たず、心配しています。</p> <p>福祉の係わりについて、積極的にする方が少ない。</p> <p>地区伝達事項に、区長会、地区協議会があるが、各人に伝わらない、常会を月1回行っている所はまとまっている。（区長）</p> <p>年代ごとに対するアプローチの難しさ。</p> <p>民意の思いの重さのちがひ。</p> <p>若い人との交流において、スマホでラインとの交流に入れないので、話が進まない。</p> <p>住民のボランティア精神が薄いと、思う。</p> <p>役員を引き受けているのに、温度差がありすぎる。（行事への参加、やる気等）</p>	<p>課題 A</p> <p>雑用の仕事量が増え、速さかる。</p> <p>メリットを求め人がいる。ボランティアの一端で参加してもらいたい…。</p> <p>今まで会社人だったので、地域ことけこめない。</p> <p>各種講座に多数参加してもらう為の開催日、場所の検討。</p> <p>これをしたいと思っても、人に伝えることがむずかしい。</p> <p>ネットワーク情報を元にしっかり作る（市・地区）。NSN、パソコンを利用していいが、出来ない人もいる。</p> <p>忙しい人が多く、仲々参加してもらえない。</p>	<p>活動 A</p> <p>機会教育を頻繁に行なう。</p> <p>各団体の地域内PRが足りない、パンフレット発行等。</p> <p>小・幼のPTAと各種団体の交流が増えると良い。</p> <p>人とのつながりを。（友だちをつくる。）</p>	<p>支援 A</p> <p>各地区役員に任せてあるが、事前に各団体長との打ち合わせの上、決めると良い。（名前だけの人がいる現状）</p> <p>講師のはげん。</p> <p>ボランティア等のバックアップ（金）とトップ人材の信頼性に伴うバックアップ。</p> <p>会の組織を利用して説明会等の実施。</p> <p>人・物・金が必要。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>地域の方が参加出来るイベントの開催と内容の充実。</p> <p>若い人にも時間を作って、会に参加を望む。</p> <p>交流出来るイベントが少ない。現状は理解できるが、増やそうとしても、企画が予想以上に大変である。</p> <p>公民館との交流の場の活用がうまく出来ていない。常にカギが掛かっている。情報の“いらい板”がない。（区長）</p> <p>ボランティア団体に、小中高生も一緒に参加。</p> <p>正気地区運動会の毎年開催。</p> <p>地域住民として人とのかかわりを大切に。</p> <p>各種団体との交流の場が少ない。個人情報の規制もあり、情報が伝わらない。</p> <p>ボランティアとしてのPRを。</p> <p>自分勝手な行動ではなく、団体行動で動く。</p>	<p>課題 B</p> <p>地域としてあつまる場所がない。</p> <p>金銭的な問題点がある。</p> <p>子供と高齢者との交流の場が少ない。</p> <p>交流の為にイベントの内容。</p> <p>呼びかけても人はすぐには集まらない。（飲み会以外）（根回しが必要）（区長）</p> <p>リーダー格がない。</p>	<p>活動 B</p> <p>地元の企業の見学会の実施。</p> <p>講座等交流会等の場を提供。</p> <p>学校との協力連携をもっと増やす。奉仕作業への参加等でも良いと思う。</p>	<p>支援 B</p> <p>高齢社会で地域と行政とのかわりをもつ人がいると良い。</p> <p>参加したいと思わせるようなイベントの企画。複数の団体との連携と予算が必要。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>福祉だよりの発行。</p> <p>災害時の独居高齢者サービス利用者の安全確保。</p> <p>無線で行政との話し合いが出来る様になったらと思う。</p> <p>なんでもいから、情報を話し合う。</p> <p>地域での話し合いを持つ場所があると良い。</p> <p>地域福祉への取り組みと言っても、実際にどのような事が行なわれているか、認知度が低い気がする。</p>	<p>課題 C</p> <p>費用がかかる。（金の捻出？）</p> <p>独居高齢者・サービス利用者の把握が難しい。</p> <p>面倒くさいが先行してしまい、ボランティア等への気持ちが悪くなる人が増えた。</p> <p>全家庭にパソコンを普及させる。</p>	<p>活動 C</p> <p>災害時に限り、施設側から利用者の情報を提供。</p> <p>スマホ・メールの活用。（写真添付）</p>	<p>支援 C</p> <p>災害時に個人情報公開に同意してもらう。一誰が？</p>

正気地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>高齢化に伴い、定年退職された方が前向きに協力してくれています。過去の経験・能力と発揮されています。</p> <p>通学道路の整備。正気小学校通学道路で、片見県道・豊海県道間道路幅がせまく、交通量も多いため、安全のため、何か工夫が出来ないか。</p> <p>地区毎の高齢者の把握が出来ない。(特に区長)</p> <p>自動・共助・公助より大事な近助の付き合い。</p> <p>区長任期1年の為、引つぎは1年ですが、2年3年とやれる人もいると思うので、提案するべきだと思っています。</p> <p>子供が少なくなっている。ひとり暮らしの高齢者が増加。</p> <p>自然が豊かで暮らしやすい。地域活動が活発で地区内のまとまりがある。</p>	<p>課題 A</p> <p>区長の件。小さな地区の為、高齢でやる人もいるので、若い人に理解してもらうのに苦労します。</p>	<p>活動 A</p>	<p>支援 A</p> <p>区、正気地区の活動にいろいろと尽くしてもらおう人材は、どうしても若年が大切になる。若年の理解、行動に期待したい。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>公民館活動の一環として、各種団体長さん方を中心に研修会等行ない、年に3回懇親会がもたれます。交流・親睦の輪が広がります。</p> <p>近所のつきあいが少なくなり、さみしそうな人を見かける。</p> <p>新住民との交流の場。</p> <p>自転車の走る道が分かりづらい。</p> <p>地域の子供達に対する積極的な挨拶・声かけを実施する。</p>	<p>課題 B</p> <p>正気地区区長会の任期2年制について。(現行東金市の区長会規約では2年の任期になっている。)</p> <p>正気地区では、区長会の活動がしっかりされています。地元区の発展を図ると共に、正気地区全体の充実・発展をして問題を解決しています。</p> <p>区長任期が市の規約では2年と定められていますが、現在は1年で終わっています。終了時に、区長さんは1年では仕事が終わらないと云われます。2年制が課題です。</p>	<p>活動 B</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>独居生活の人の見守り。どの位まで入りこむ度合いがむずかしい。</p> <p>夕方ウォーキングをしていると、子供のはげしい泣き声。びっくりして思わず足を止める。</p> <p>何らかの理由で学校に行かない子供。親だけでなく、他の人もかわり、話を聞いてあげた方が良いと思う。</p> <p>正気地区では、各種団体の活動が、40年来充実、徹底されて来ましたが、今後の課題は、縦の面に対して、横の面。各団体相互の関連と住民。</p>	<p>課題 C</p> <p>個々人の理解・浸とうを十分に見られればと思います。地域住民へ。</p>	<p>活動 C</p> <p>長寿高齢化とありますが、長寿会が昔のように活発化しません。高齢者も、個々に多様な生活を送っている時代性もあると思います。</p> <p>「子ども110番の家」。「防犯活動パトロール隊」が熱心にがんばっているため、小学校の子ども達も10年来、命の安全にかかわる事故は起きていません。感謝しています。</p> <p>正気地区民体育祭。東金市民体育祭の活躍。各種団体の歴史として区長OB会が前身等は他地区に誇れるものである。財産として、より育てていきたい。</p>	<p>支援 C</p> <p>本年度より長寿会の定例会(月1回)毎に健康安全教室がゆりの木苑さんの協力により、開催されます。会員は喜んで参加しています。</p> <p>生活排水の整備。現在農業用水と生活排水が共用で使用されている。分離出来ないか。</p> <p>防災体制。正気地区として防災体制づくり。一各区としては2区。</p>

正気地区 グループD	思うこと、感じたこと				課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>役職について、理解はしてもらえないが、受けてもらえない。</p>	<p>個人連絡行事の際、呼びかけをする。(声かけ)</p>	<p>リーダーひとりに負担がかからないように。参加者全員でリーダーをフォローするしくみ作り。</p>	<p>若い世代から広く地域活動に参加する。 ※消防・体協等。</p>	<p>課題 A</p> <p>広報？ 個人への集中若年者への負担増。(地区)</p> <p>自覚をもつためのPRとは？何をどのようにしようと考えているのかわからない。PRだけでは無理！</p> <p>広報活動、連絡、説明不足。細かい所まで説明できていない。</p>	<p>活動 A</p>	<p>支援 A</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>多くの地域活動があると思うが、よく知られていない(?)。特に独居の男性が越してきたりすると、さみしい感がある。積極的に参加したい人にどのように知らせていくのか。</p>	<p>地域の皆様に楽しんで頂ける様にふれあい祭り、ゆりの木祭等企画。又「地域とつながり隊」を組織して、現在、地域の長寿会を回り、認知症の体験をおこなっております。どうぞ、お声をおかけください。</p>	<p>正気地域内では、それぞれの各種団体が活動をたすけ合いながら行っている。</p>	<p>世代・団体を越えたイベントの企画。体育系のイベントではなく、文科系のイベントなど。</p>	<p>課題 B</p>	<p>活動 B</p> <p>周知。SNSの活用。</p>	<p>支援 B</p> <p>広報の拡大版をくばる。</p> <p>情報を周知させる。</p> <p>広報 7/15。認知症にならないように!! ⇒見てない。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>東金市から委託を受けた地域包括支援センターの出先機関です。地域の身近な相談窓口として、お役に立てればと考えております。家族介護教室等の希望があれば有り難いです。(ゆりの木苑)</p>	<p>小中学校での地域の職場体験の積極的な参加。</p>	<p>家徳区には浅井病院、ゆりの木苑、ケアセンター浅井の施設があり、区や地域の行事にも積極的に参加・協力してもらっている。</p>	<p>世代のバランス。(つぼ型)</p>	<p>課題 C</p> <p>職場がない。東京方面(首都圏)へ移動。通勤に便利な土気。</p>	<p>活動 C</p> <p>安全な作業で多くの住民が参加できるような集い。保険は大丈夫？</p>	<p>支援 C</p> <p>自分でその場に行けない。(足がない)</p>

6 福岡地区（7月30日開催 於：福岡公民館）

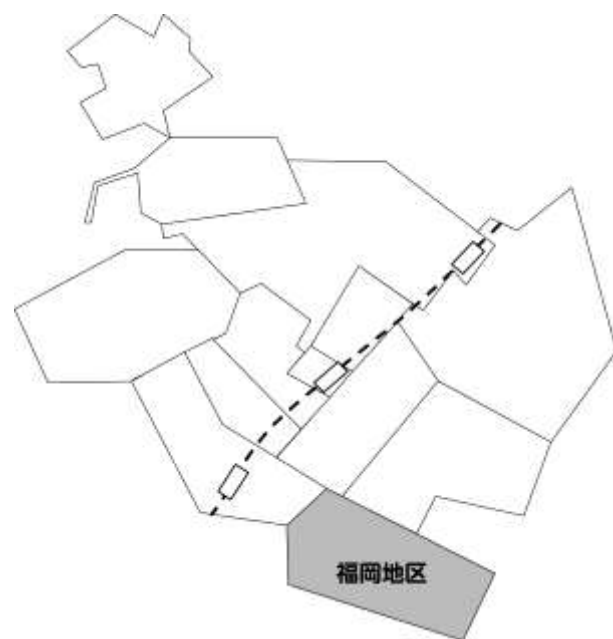
（1）地域特性

福岡地区は東金市の南端に位置し、大網白里町、九十九里町と接しています。

地区内を東金九十九里有料道路が横断しており、九十九里町へと続いています。また、東金九十九里有料道路の小沼田インターチェンジ近くには、小沼田工業団地があります。

教育施設としては市立福岡小学校があります。

なお、福岡地区の会員世帯数は937世帯で、加入率は91.9%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 特定の人が多く役職を引き受けているや地域活動に若い人材が少ないといった意見があり、仕事とボランティア活動等の両立が難しい、人口減、高齢化、生活水準の低下等で人材発掘が難しい等の課題が出されました。これに対して、休みの日に活動するようにする、広報紙を発行する等の意見が出され、懇親会を充実させる等の支援が必要としました。

目標B お祭りを行うことで世代間交流が図れたという意見があった一方、交流の機会、イベント等がないという意見もありました。また、世代間交流の出来るイベントの開催を福岡公民館を中心に企画してはどうかという意見も出されました。課題としては、福岡地区は交通の便が不便であるや若者が住みやすい地域にするといったものが挙げられ、福祉ネットに多くの会員が参加できるようにするといった意見が出されました。また、若者から高齢者が集まり意見交換する場が必要で、そのような経費を得られればありがたいとしました。

目標C 近所とのつながりが福祉ネットワークの基礎であるとの意見や防災を進めるには共助なしでは実現しない等の意見があり、役員会員の若返りや市の行事への参加者が少なく市側の情報発信が必要との課題が出されました。また、福祉ネットでは年2回広報紙を発行している等の意見があり、補助金の支援や高齢者の活用が必要であるとしました。

② グループB

目標A 人材不足のため人選等の年齢制限を排除した方がよいという意見や若者のボランティアが少ない、一部の人の負担が大きい等の意見が出され、人材確保のためには年齢の枠を幅広く設けることや家族の協力を得ること等が課題とされました。これに対して、民生委員の仕事に

は大きな会議が年に何回もあるので委員の負担にならないように説明会等を開いてはどうかとの意見が出されました。

目標B 下谷のふれあいまつりがによって、地域が一つにまとまっているという意見や若者の考えを知るため、交流会を設けたいという意見が出されました。また、月に1回お経会を実施しているが、参加者が少ないので多くの人に参加してほしいとの意見もありました。

目標C 福祉ネットが作成した看板が犯罪防止に役立っているという意見や循環バスが高齢者にはありがたいとの意見が出され、課題としては保健師を公民館に配置することやデマンドタクシーが満員で頼めないことが挙げられました。

③ グループC

目標A 役員のなり手がいないという意見が多く出され、また、定例会に特定の人しか参加しないという意見もありました。これらから、一般に福祉の活動内容があまり知られていないので、広報等の宣伝をして、関心を持ち、理解してもらうことが課題として挙げられました。そのため、広報誌・機関紙を作成・配布する、小学校の運動会に参加して交流を深めるといった意見が出され、イベントの企画や各団体間の交流と意見交換が必要な支援とされました。

目標B 核家族化の進行、世代間・地域間交流の不足等の意見があり、交流の場がない等の課題が挙げられました。これに対して、今後の活動として、子供会行事や小学校等の運動会への参加を促す、独居の方にお弁当を作り訪問する等の意見が出され、高齢者と子どもの交流の場を作ることや独居の方の情報提供等が必要な支援としました。

目標C 福祉ネットワークの活動内容が理解されていない等の意見があり、住民の福祉ネットワークに対する理解を深めることが課題とされました。そのため、広報活動を行うことや福祉活動への参加を促すとの意見が出され、定期的な福祉活動や各種行事等を行い、多くの住民が参加できるようにする必要があるとしました。

福岡地区 グループA	思うこと、感じたこと		課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>特定の人が多くの役職を引き受けている。</p>	<p>一つの役職を引き受けると、数個のあて職がついてくる。</p>	<p>課題 A</p> <p>地域人材の発掘・育成。一旦役職につくと、長期間、引受けることになり、次々と別の職に就くことになる。若い日人は仕事もあり、引受手が少ない。しかし、次の引受手は育たなければならぬ。</p> <p>民生児童委員を引き受けて今年で15年目。定年で退任しますが、後任も決まり、ほっとしている。できるだけ早く後任を決めるべく区長会等に働きかけるのが必要である。</p> <p>仕事とボランティア活動等の両立が難しい。</p> <p>人口減、高齢化、生活の経済的ゆとり不足等で人材発掘が難しい。</p>	<p>活動 A</p> <p>福祉ネットの活動を始めて10年余。100名以上の会員さんが月々水木土と色々のサークルで生きがいを感じ、元気よく活動している。役員としてサポートしているが、活力になっている。</p> <p>出来るだけ、休みの日に（土曜 or 日曜）活動するようにする。</p> <p>・広報紙は発行する。 ・酒飲み機会を発行する。</p>	<p>支援 A</p> <p>「ときがわ湖」の開門時間を7月～9月は午前7時にしてもらいたい。（熱中症対策）</p> <p>社協のマイクロバスの活用。（無料）</p> <p>懇親会の充実。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>手造りの「お祭り」を通して。世代間交流、地区内繋がりが図れた。</p>	<p>交流の機会、イベント等がない。</p>	<p>課題 B</p> <p>福岡地区は、交通の便が不便。全て東金（中心）まで行かなくてはならない。郵便局、銀行、病院、官公庁等々、地方分散してほしい。（分院・支店…）</p> <p>若者の住みやすい地域にする。勤務先、住居など。例えば、空家の活用、休耕地の活用。</p>	<p>活動 B</p> <p>福祉ネットは50代から90代までの会員で構成されている。福岡地区以外の市内他地区の方や市町村からの参加会員も元気よくサークル活動をしている。もっと多くの会員に参加して頂くよう努力している。</p>	<p>支援 B</p> <p>補助金が必要？</p> <p>若い世代から高齢者まで時々集まり、意見交換も必要である。いろいろな活動に必要な経費が得られればありがたい。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>福祉を教育（学習）集団グループ作り、防犯、交通安全、情報発信等、総合的にとらえ、ネットとして連携活動する。</p>	<p>・長寿の会員 70才～80才代 87% 69才以下 13% ・長寿の会男性会員 男性 44% 女性 56% ・長寿の会加入促進 ノルマ9人/年間</p>	<p>課題 C</p> <p>役員会員の若返りをしていきたい。10年以上続けているが、役員も10才年を重ねた。</p> <p>市の行事も様々行なわれていますが参加者があまり多いとはいえないと思います。市側の情報発信がFacebook等ITやメディアの活用が必要だと思います。</p>	<p>活動 C</p> <p>福祉ネットでは年2回カラー刷りの広報紙を発行してきた。平成26、27、28年は市の補助金の対象団体としてカラー刷りが可能で、大変評判もよく出来たが、来年はカラー刷りは無理かもしれない。支援がほしい。福岡地区全戸配布。市内は区長回覧で一読していただいている。</p> <p>このような懇話会には各種団体長の皆さんの参加を希望したい。今回は少なすぎる。</p>	<p>支援 C</p> <p>福祉ネットはサークル活動に必要な経費は会員が負担しているが、案ではない。支援がほしい。補助金を得る方法は可能な限り、利用してきた。（国・県・民間企業）</p> <p>高齢者の活用を図る。◎公民館、バス運転、介護運営等委託。</p> <p>長寿の会の会員が単位クラブで育っている人もいる。</p>

福岡地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p data-bbox="112 367 243 420">目標 A</p> <p data-bbox="112 468 513 514">地域人材の発掘・育成</p>	<div data-bbox="543 191 691 373"> <p>地域人材不足のため、人選等のために年齢制限を排除する必要がある。</p> </div> <div data-bbox="706 191 854 373"> <p>役職が終わると、関わりがなくなる人が多い。</p> </div> <div data-bbox="869 191 1018 373"> <p>部落内でも若い方のボランティアが少ない。</p> </div> <div data-bbox="1032 191 1181 373"> <p>各種行事に声をかける。</p> </div> <div data-bbox="1032 478 1181 661"> <p>一部の人の負担が多すぎると思う。</p> </div>	<p data-bbox="1219 157 1350 210">課題 A</p> <div data-bbox="1320 254 1469 436"> <p>地域人材の絶対数（人員）が過少なことから、やる気があり、優秀な人材を登用するため、枠（年齢等）の特例を幅広く設ける。</p> </div> <div data-bbox="1516 254 1665 436"> <p>民生委員を選出する場合、区長の推選により決まるので、区長も結構考えて、選出に悩んでいます。</p> </div> <div data-bbox="1320 485 1469 667"> <p>どの役も自分からやってもらう事が一番なんですが、やはり、家族の協力。旦那様だったら、奥様の理解があり、できると思います。</p> </div>	<p data-bbox="1771 157 1902 210">活動 A</p> <div data-bbox="1863 254 2012 436"> <p>民生委員の仕事。年間、大きな会議は何回で、あまりにも委員にふたんにならないように、説明会などを開いてはどうかと思います。</p> </div>	<p data-bbox="2323 157 2454 210">支援 A</p>
<p data-bbox="112 934 243 987">目標 B</p> <p data-bbox="112 1035 513 1176">世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<div data-bbox="638 808 786 991"> <p>下谷のふれあいまつりも第11回をむかえますが、毎年、役員の方のご苦労と続けていくのに大変さがありますが、部落が一つになれるよさがあります。</p> </div> <div data-bbox="638 1102 786 1285"> <p>今の若い人はどういう考えがあるのか、もっているのか、若い人達と交流会をもちたいと思います。</p> </div>	<p data-bbox="1219 766 1350 819">課題 B</p>	<p data-bbox="1771 766 1902 819">活動 B</p> <div data-bbox="1863 856 2012 1039"> <p>1ヶ月1回お経会があり、人数が少ないので、たくさん来てほしい。お寺にいて、お経を上げるととても気持ちがすっきりする。先祖様のため続けて行きたい。</p> </div>	<p data-bbox="2323 766 2454 819">支援 B</p>
<p data-bbox="112 1554 243 1606">目標 C</p> <p data-bbox="112 1654 513 1795">地域福祉ネットワークの構築</p>	<div data-bbox="638 1428 786 1610"> <p>福祉ネットによってらっしゃいという看板を作っているんですが、ちゃんとおそわれたりした時などは大変だと思います。</p> </div> <div data-bbox="638 1722 786 1904"> <p>循環バスの使用がお年寄にはありがたいので、継続して行ってもらいたいです。</p> </div>	<p data-bbox="1219 1386 1350 1438">課題 C</p> <div data-bbox="1320 1470 1469 1652"> <p>保健師の配置。（公民館）</p> </div> <div data-bbox="1320 1722 1469 1904"> <p>デマンドタクシーを朝お願いすると、結構いっぱい時間でたのめないで困ります。</p> </div>	<p data-bbox="1771 1386 1902 1438">活動 C</p>	<p data-bbox="2323 1386 2454 1438">支援 C</p>

福岡地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>役員のなる人がない。</p> <p>役員のなり手がなかなかない。</p> <p>定例会等決まった人しか参加しない。(長寿会)</p> <p>役員のなりてがない。PTA役員や子供会の役員から自然となって(育成)、みれていく構図になって行かばと思います。</p> <p>民生委員や福祉関係の活動内容の機関紙等を配布し読んでもらい理解してもらう。</p> <p>世代間の交流が無い。</p> <p>福祉関係の会議に積極的に出席してもらう。</p> <p>役員のなり手がいない。(主任児童委員)</p>	<p>課題 A</p> <p>一般の人は福祉の活動内容をあまりわからない。広報等をつくり、活動内容を理解してもらう機会をできるだけつくる。</p> <p>民生委員や福祉協議会ボランティア活動内容をどの様に周知し理解してもらうか。</p> <p>活動内容を宣伝し、関心を持ってもらう。(長寿会)</p>	<p>活動 A</p> <p>地域団体として活動している内容を広報誌や機関紙を作成・配布し、活動内容を理解してもらう。</p> <p>小学校の運動会に参加して世代間の交流を深める。</p>	<p>支援 A</p> <p>イベントを企画してもらう。</p> <p>各種団体間の交流を深め、意見交換を図っていく。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>家庭も核家族化している。</p> <p>世代・地域を交流の機会がない。</p> <p>高齢者や1人住まいの高齢者が増えている。</p> <p>世代間や地域を越えた交流する場がない。</p> <p>高齢者宅には訪問するが、子どものいる家庭には訪問する機会がない。</p>	<p>課題 B</p> <p>高齢者や1人住まいの高齢者が増えている。</p> <p>世代間や地域を越えた交流する場がない。</p>	<p>活動 B</p> <p>福祉活動団体の一本化。 ・長寿会。 ・年金受給者協会。</p> <p>長寿会も県レベルまで広げなくても良い。東海市の内で開催。(グランドゴルフ大会)</p> <p>子供会行事への子ども達と親又その親に参加してもらう。(福岡子ども会)</p> <p>独居の方々に弁当をつくり訪問し、話をして見守る様にする。(食生活)</p> <p>高齢者や若い人達にも、小学校等の運動会に積極的に参加してもらう。</p>	<p>支援 B</p> <p>独居の方の名前や住所を教えてください。決めてもらいたい。(個人情報保護法の関係から)(食生活)</p> <p>保育所小学校などの行事に参加してもらう。</p> <p>高齢者と子供達が一緒に活動する場を作る。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>福岡地区福祉ネットの活動内容を一部の住民しか知らないのでは。</p> <p>福祉ネットワークは一部の人がやっている様に思われている。</p> <p>住民が福祉ネットワークの内容を理解していない。</p>	<p>課題 C</p> <p>福祉活動をする役員がいない。</p> <p>地域の福祉活動について、地域住民の理解度が少ない。</p>	<p>活動 C</p> <p>福岡公民館での各サークルの活動内容がわからないので、広報活動をしていく。</p> <p>各種福祉活動に1人でも多くの住民に参加してもらい、福祉活動を理解してもらう。</p>	<p>支援 C</p> <p>定期的に福祉活動や各種行事やボランティア活動を行ない、世代を越えた住民に参加してもらう。</p> <p>できるだけ声がかかった時は、行事に参加するようにする。</p>

7 源地区（7月31日開催 於：源公民館）

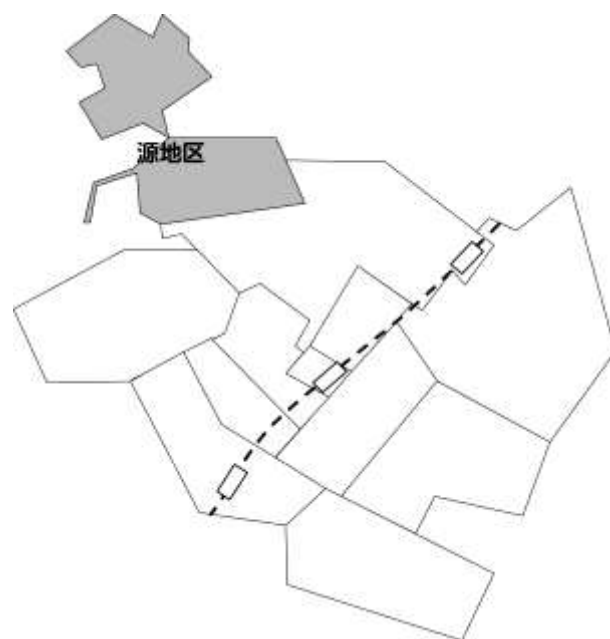
（1）地域特性

源地区は市の北端に位置し、八街市と山武市に隣接しています。

源地区は、明治時代に「日本の三模範村」として海外に紹介された歴史があります。現在では建築用の高級木材として知られる「山武杉」や、シイタケやわけぎ等の農作物の生産が盛んに行われており、東金市の特産物として広く出荷されています。

教育施設としては市立源小学校があります。

なお、源地区の会員世帯数は400世帯で、加入率は86.0%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 若者が少ないやつながりが少なくなっているとの意見が出され、若者を地域内に留めることや各家庭の状況を把握できるようにすることが課題となります。これに対して、公民館でのサークル活動や幼稚園・小学校との地域ぐるみの交流を行うとの意見が出されました。また、必要な支援として、行政バス・源バス・デマンドタクシーの活用・利用が挙げられました。

目標B 他地区との交流が出来ていない、交流の場所への足が確保できないとの意見や、東金市全体で文化祭を開催すべき等の意見が出され、課題として、交通手段の少なさや源公民館で飲食出来なくなったことが挙げられました。これに対して、年に4回ほどの交流の機会を計画・実行していくとの意見があり、コミュニティーセンターを利用して各団体間の交流会を実施することが必要な支援とされました。

目標C 各団体で交流が出来ていないや地域内にどのような団体があるのか知られていない等の意見があり、区長会で定期的に各団体長との合同連絡会を実施し、現状確認を行うとの課題が出されました。これに対して、今後の活動として地域の団体を知らせる資料を作り広報活動するという意見があり、地区の広報誌を作ることが必要としました。

② グループB

目標A 高齢化で若い人材がいない、定年退職者を活用する等の意見があり、若い人材を集めること、人材募集の方法を工夫すること、人材育成プログラムを作成すること等の課題が出されました。これに対して、シルバー等の機関と連携していくとの意見が出され、人材のリストアップを行う必要があるとしました。

目標B 源まつりのようなイベントをもっと企画する、個人が持っている人脈を利用して交流を広げる等の意見が出され、同好会を増やすやイベントの告知が少ない、世代交代後の連絡手段がない等の課題が挙げられました。これに対して、源公民館を利用した活動を行っていくとの意見があり、新たな連絡手段を作ることが必要としました。

目標C 高齢者世帯に関する相談場所が分からない、困った時の連絡場所が分からないとの意見があり、連絡ネットワークを構築することが課題として挙げられました。これに対して、民生委員の協力してもらったりや新聞・郵便の業者が異常を感じた時に連絡できるようにするとの意見が出されました。

③ グループC

目標A 新住民にも消防団に参加してもらい、若者の参加が少ない、空家の利用を進める等の意見が出され、新住民の参加を促進すること、第三者との接触を避ける家庭への接し方、使用されていない公共施設の利用等が課題として挙げられました。これに対して、行政が中心になることとの意見が出されました。

目標B 夏祭りを活用して交流するとの意見や地域交流に参加する人が同じ、各団体間の交流は出来ているが、団体未加入者との交流は出来ていない等の意見があり、夏祭りへの参加者が少ないので、地区外の子どもも参加できるように広報するとの課題が出されました。これに対して、源祭りや体協空手部への参加を他地域の子どもにも呼びかけていくとの意見が出されました。

目標C 福祉バスの路線を確保するとの意見があり、市内コミュニティバスの路線を引くことや全年齢層の参画が課題として挙げられました。

源地区 グループA	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>人材の発掘ですが、さがす事がむずかしく、世代の交わりたいができない。</p> <p>若い人が少なくて、協力してもらう事が出来ない。</p> <p>◎ 30代~50代の世代が居ない。</p> <p>人とのつながりが少なくなっている。</p> <p>人と人とのつながりが少なく、合わせて個人情報の問題があり、難しくなっている。</p> <p>A 助け合いが必要だが、お互いに高齢で今後どうなるか。いずれダメ？</p> <p>自治会に加入する世帯が少なくなっている。また、自治会を必要としない人が多くなっている。</p> <p>◎ 班長のなり手が居ない。</p> <p>A 地域人材の発掘について困っている。高齢化が進み、若者がいない。</p> <p>区に入る人が少なく、加入してもらえない。</p> <p>他人事だと思っている。</p>	<p>課題 A</p> <p>若い人が外へ出てしまう。</p> <p>若い世代が少なく、出て行ってしまっているので子どもの数が少ない。</p> <p>課題A 農業の後継者がいなくなる。</p> <p>各家庭状況が把握できていない。</p>	<p>活動 A</p> <p>幼稚園・小学校との地域ぐるみの交流をしたらどうか!?</p> <p>公民館でのサークル活動。</p>	<p>支援 A</p> <p>・行政バス。 ・源バスの活用。</p> <p>デマンドタクシーの利用期間の拡大。(行政)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>学校を卒業すると、都会に出てしまう。地域に若い方が少ない。</p> <p>◎ 東金市全体の文化祭の開催。</p> <p>飲み会が少なくなった。</p> <p>他の地区と交流が出来ない。</p> <p>交流したくても、足の確保が出来ないので、出席する事が出来ない。</p>	<p>課題 B</p> <p>源公民館で飲食出来なくなった事。</p> <p>交通手段が少ない。</p>	<p>活動 B</p> <p>B-B 4半期に1回~年4回交流機会を計画実行できれば?</p>	<p>支援 B</p> <p>各自治会で、地区内のコミュニティーセンターを利用して、各種団体の交流会を実施する。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>まず、何の団体があるかがわかっていない。</p> <p>社福の役員の高齢化が問題!!</p> <p>C 地域福祉ネットワークの構築について、幻想は持っているが、現実には当地区には人材・リーダーを進んでやろうという人がいない。</p> <p>個人情報のカベがあり、きめの細かい福祉が出来ない。</p> <p>各種団体の交流ができていない!</p>	<p>課題 C</p> <p>区長会で、定期的に各種団体長との合同連絡会を実施して、各団体の現状を確認する。</p>	<p>活動 C</p> <p>どのような団体があるのか、地域にわかる資料をつくる。 →広報活動。</p>	<p>支援 C</p> <p>地区の広報誌をつくる。</p> <p>やる気!!</p>

源地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>消防団の活動に良心のかしゃくを感じる。>訓練に厚みがあり、地域防災に役立たたないものもある。>活動実績を職務時にならば、おそろしく入る人はいない。>市長に2度手紙したが「伝える」が、東金市民</p> <p>新入団員が集まらない。若い人材がどこにいるのかわからない。(消防団員)</p> <p>地域高齢化にともない、人材がいない。若い人が自宅にいない。</p> <p>定年退職者をさがす。</p> <p>得意分野別人材を集める。</p>	<p>課題 A</p> <p>若い人材をどう集めるか。</p> <p>人材を募集する方法が悪い。</p> <p>ゆとりのある世代がいない。</p> <p>人材を育てるプログラムを作る。</p>	<p>活動 A</p> <p>シルバーなどの機関と連携。</p>	<p>支援 A</p> <p>人材のリストアップ（定年まぎわ）。専門分野ごと。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>社交的な方は積極だが内向的な方は参加しない。</p> <p>個人が持っている学歴(学校の仲間)を利用する。</p> <p>源まつりの様なイベントがもっとあるといい。</p> <p>一つに集まるには遠い。</p>	<p>課題 B</p> <p>同好会をより多く。</p> <p>告知方法が少ない。</p> <p>回覧板を見る人が少ない。</p> <p>世代交代後の連絡方法がない。</p> <p>各種団体等に入っていないかぎり、交流の機会なし。</p>	<p>活動 B</p> <p>源公民館を利用した活動。</p>	<p>支援 B</p> <p>新しい連絡方法を見つける。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>高齢者夫婦だけの世帯があり、子どもが近くにいない。どこに相談すれば。</p> <p>困った時どこへ連絡したら良いかわからない。</p>	<p>課題 C</p> <p>連絡ネットワークが出来ていない。</p> <p>高齢者・単独者などには近所としてできることはしたいが、相談先、協力のネットワークなどがあるとよりよい。</p>	<p>活動 C</p> <p>民生員の方の協力。</p> <p>新聞屋、ゆうびんなど異常を感じた時連絡してほしい。</p>	<p>支援 C</p>

源地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>1. 足の悪い人がスーパーに行くのに。 2. バス停まで遠い人。車のボランティアが必要。</p> <p>地域で見守り隊のようなものが必要ではないか？（1人暮らし）</p> <p>農村地域のため、朝は早く夜も遅く地域の人達でも話をすることが少ない。</p> <p>地元消防団の人材確保。新住人の団員の発掘。</p> <p>人口の減少。若年層不足。</p> <p>三人に1人が高齢者。若い人をよびこむ様な仕事がほしい。</p> <p>農村地域のため、仕事が多く、話をする場が少なく、話も簡単になる。</p> <p>空き家を利用して共同生活。 1. 同じ趣味を持つ人。2. 家庭さいえんの好きな人同士。</p>	<p>課題 A</p> <p>第三者の接触をいやがる家庭に対し、どうすれば良いか。</p> <p>新住人からの団員の確保！！</p> <p>消防。行事が多く、人にすすめづらい。</p> <p>空いた公共施設を共同生活の場にしてほしい。</p> <p>共同生活の場をつくり、 ・趣味を生かす。 ・野菜を作る。</p>	<p>活動 A</p> <p>行政が中心になること。</p>	<p>支援 A</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>夏祭りを活用し交流。</p> <p>地域交流に参加する人がいっしょ。</p> <p>独居老人が生活しやすくしてあげる。</p> <p>各種団体間での交流は、そこそこできているが、未加入者との交流が出来ていないのが現実。</p>	<p>課題 B</p> <p>夏祭り、来客数が少ない。地区外の子供達にも広報。</p>	<p>活動 B</p> <p>源祭り。体協空手道部。他地域の子供に参加呼びかけ。</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>福祉バスの路線確保。高齢者の立場に立った状況で！！</p>	<p>課題 C</p> <p>全年齢層の参画。</p> <p>市内コミュニティバス路線を引く。</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p>

8 丘山地区（7月31日開催 於：丘山公民館）

（1）地域特性

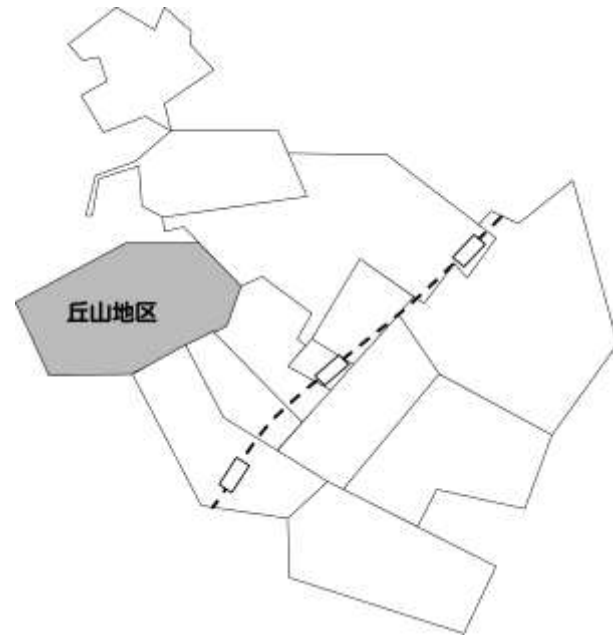
丘山地区は市域の西端に位置し、千葉市、八街市、大網白里町と接しています。

都心と東金を結ぶ千葉東金道路と千葉県を南北に走る首都圏中央連絡自動車道とが接続する交通の要地であり、また、「千葉東テクノグリーンパーク」によって、企業団地が発展しています。

また、地区内には東千葉メディカルセンターがあり、地域中核病院となっています。

教育施設としては市立丘山小学校、県立東金高等技術専門校があります。

なお、丘山地区の会員世帯数は661世帯で、67.4%加入率はとなっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 地域が広い、情報が得られない、交流が少ないことから人材発掘が難しいとする意見や、福祉活動のPRが不足している等の意見がありました。これに対して、皆が関心を持って協力するようにすることや、伝統的活動も時代に合わせて変えていく必要があるという課題が出されました。そのため、団体の活動に関心を持って参加する人を増やしていくとの意見が出されました。

目標B 昔からの祭り等が減少し、交流やつながりがなくなったという意見や地域交流活動やサークル等のPRが不足している等の意見があり、新旧住民の関係がうまくいっていないところがあるので、改善していくや関心を高めていくとの意見が出されました。これに対して、交流の場を復活させていく、公民館等を通じてサロン活動を充実させる、子ども会や地区社協と協力して世代間交流の機会を企画していくとの意見が出されました。

目標C 福祉活動の情報が文書配布だけで、内容が分かりづらい、高齢者の見守りを定期的に行っている等の意見があり、買い物や通院に交通の便が悪いとの課題が出されました。これに対して、デマンドタクシーの利用方法の改善や巡回バスのルート見直しといった支援が必要としました。

② グループB

目標A 若い世代は仕事・子育てで忙しい、ボランティア参加者が固定化している等の意見があり、協力体制を構築していく、積極的な参加を促す等の課題が出されました。これに対して団

体を越えた交流や運動を通じた交流を行っていく等の意見が出され、図書館の建設や生涯大学への参加や資格取得に助成を行う必要があるとしました。

目標B 夏祭りのような行事で世代間交流は出来ている、自治会の活動で交流の幅が広がったという意見がある一方、若者が少なく、イベントの実施が難しいや老若合同のイベントを活発化するため必要があるという意見もありました。よって、交流の仕方への工夫や、ボランティア活動に積極的に参加するように促していくとの課題が示されました。これに対して、各地域のイベント等を支援し合うという意見が出され、次世代を担う人材を積極的に勧誘していく、健康セミナーを継続して開催する等の支援が必要としました。

目標C 普段から付き合いのない方は何か変化があってもわからない、民生委員が訪問しても、援助を断る方がいてアプローチが難しい等の意見があり、大勢の中に入っていくのが苦手な方をどうするのか、出来上がった会や団体の中に入っていくのはハードルが高いのではないかなどの課題が出されました。これに対して、高齢者支援を広げるため、他団体と積極的に意見交換を図っていくとの意見が出され、地域ミーティングの開催や隣同士がお互いに声かけをしていく必要があるとしました。

③ グループC

目標A 若い人材の参加が少ないや後継者不足を指摘する意見が多く出され、若者は他県・他市で仕事をしていて、地元に残らないことが課題として挙げられました。これに対して、役員以外でも参加できる区会を開いたり、新たな地域の行事を考えたりしていくとの意見が出され、ボランティアで全てを行うことに問題がある、地域住民の考え方を変えていく必要があるとしました。

目標B 公民館の利用を工夫していない、地域間の交流は個人で行われているのみ、皆が参加できるセミナー等がない等の意見があり、若い人材を引き出す工夫をしていく、自分の生活を優先してしまうといった課題が挙げられました。これに対して、一定のルールを決めて公民館を開放するとの意見が出されました。

目標C 東金市の都市部と農村部との差を市政がフォローしていない、公共団体とのネットワークを強化していく、誰に何を相談したらいいのか知られていない等の意見が出されました。これに対して、今後の活動として、他地区の行事を知ることのできるネットワークを作るとの意見が出されました。

丘山地区 グループA	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>私がボランティアを依頼されたのは30年前。公民館活動がさかんでした。横のつながりありましたが、現在は交流の場が少なくなっています。</p> <p>交流会をする場所が少なく、話し合いができない。</p> <p>福祉活動のPRが不足。情報不足の人が多し。</p> <p>公民館活動が少なくなり、横のつながりが少ない。</p> <p>交流が少なく、人を見つけることができない。</p> <p>地域が広く、情報が取れにくい。人材の発掘が難しい。</p> <p>各区に人材が居ないと云われますが、只、動かそうとする方が、絶対に居られると思います。声かけが甘いかな。</p> <p>地域活動には関りたくない。</p>	<p>課題 A</p> <p>昔は出来たのに現在出来ないのは、A-Bにつながってるのでは。</p> <p>皆が関心を持って協力するように。</p> <p>地元の方は(社協)伝統的に活動することは、変えたり、消さないようにと云われますが、変えていけなないといけません。</p>	<p>活動 A</p> <p>平和すぎて関心を持つ人が少なくなってるので、団体として参加する人が減ってる。</p> <p>地域、地域によって、継続してる団体活動(伝統的)その他の関心が薄い。</p>	<p>支援 A</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>昔からの祭り等が減少し、人々のつながりが無くなった。</p> <p>区との交流。ますますなくなりましたね。その点人材発掘は難しい。</p> <p>各種行事の参加について、交流の便等で参加交流が少ない。</p> <p>地域交流活動やサークル等のPR不足。</p>	<p>課題 B</p> <p>新住民と旧住民の関係がうまくいってない地域がある。</p> <p>平和なために危機がなく、関心が薄い。</p>	<p>活動 B</p> <p>交流の場がないため、復活させる必要がある。</p> <p>公民館等の場所を通じ、サロン活動を充実させる。</p> <p>子ども会や地区社協と協力して、世代間交流の機会を企画する必要があるのではないか。</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>福祉活動の情報が文書配布だけで活動が見えない。縦割り活動のためか?</p> <p>一人暮らしの人に皆で食事を持って行ったり、買物に連れて行って。</p> <p>高齢者の見守りは定期的に行っている。(民生委員)</p> <p>地域集落の仲間に入らず、交流や仲間づくりができない。</p>	<p>課題 C</p> <p>交通の便が悪い。(買い物、通院)</p> <p>通院や買い物不便。</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p> <p>デマンドタクシーの利用がしづらいので、改善してほしい。</p> <p>巡回バスがこの地区はルートに入っていないので、見直しをしてほしい。</p>

丘山地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>いきいきサロンで、新たなボランティアメンバーが増えない。</p> <p>役員片寄りがあのように思います。一人の人がいくつも役員をかねている。</p> <p>人とのつながりが希薄化している。5年前に比較して改善されていないようだ。</p> <p>若い人があつまらない。仕事、子育て忙しい。</p> <p>若い活躍世代は仕事に一生懸命なので、60代の方々にお願いするしかないと思いますか？</p> <p>3年前ですが、老人会（シニアクラブ）への参加者の減少に、且つ、役員が固定し、新しい人材が入らず、解散してしまっただけになってしまった。</p> <p>花いっぱい運動への自主的参加を待っていたが、2〜3名。それも役員だけとなってしまった。</p> <p>若い人は共働きの人がほとんどなので難しい？と思う</p> <p>上手くやれば？自分自身の活動交流の場として参加してくれる人がいるかも？</p> <p>いろいろな催しや会合などへ参加の仕方がいろいろ選べるような仕組み（時間帯や作業内容など）があれば、参加する意識が変わるのだろうか。</p>	<p>課題 A</p> <p>目的達成のため、協力体制の構築が必要（考案）。</p> <p>依存型質が広がっている。</p> <p>人が集まらない。</p> <p>自分が参加しなくても成り立つという考え方があるが、時間の制約だけではなく、積極的な参加を促せるような方法がないか。</p>	<p>活動 A</p> <p>他団体を媒体とした交流を心掛ける。団体枠を超えた交流。</p> <p>ソフトボール大会、バレーボール・バスケット等、小中学校の校庭・体育館を利用する機会を年一回恒例ではなく、毎月実施する等交流頻度を増す。</p> <p>子供・大人まじえたイベント、卓球、運動等。</p> <p>団体のトップリーダーとして進む指針を示す。</p> <p>子供が少ないので、よいてたてがほしいです。若い人も少ないです。滝では小中学校にしている生徒数は0です。</p>	<p>支援 A</p> <p>生涯大学への参加の助成とか？一還元してもらおう！</p> <p>地域で活躍するための資格等の取得の手だすけ？</p> <p>図書館など世代を越えて利用出来る施設を！</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>老若合同のイベントを活発化する必要がある。</p> <p>若者の少なく、地域のイベントの実施が難しい。</p> <p>交流会がない。（老若の）</p> <p>お祭りや地域集まりで、出る人は出るが、出ない人はまるで出てこない気がする。</p> <p>夏祭りのような行事で世代を越えた交流が出来るように思うので、清掃とか、防犯パトロールとかで交流するしかないと思います。</p> <p>自治会の活動が輪番制なので、今まで縁のなかった人と繋がる事が出来た。</p> <p>夏祭りは開催するのは大変だが、子供たちがとても喜んでいて、とてもよいと思った。いろんな世代が関わる。</p> <p>自治会等の活動を通して少しずつ深めていくのがよい。そうするしかない？</p> <p>児童の朝の登校の安全指導・見守り活動を地域の方が協力して下さっているの、心強いと思います。</p>	<p>課題 B</p> <p>交流の仕方がなれていない。</p> <p>地域住民の非協力的。</p> <p>ボランティア活動に積極的に参加する様。</p>	<p>活動 B</p> <p>各地域のイベント（夏祭り）等を支援し合う。</p>	<p>支援 B</p> <p>次世代を担う人達を積極的勧誘する。</p> <p>生涯大学で学んだ事を還元していただく？！</p> <p>現在、東急、順天堂大の支援で健康セミナーを開いているが、盛況であり、多数参加している。皆さん、健康管理には強い意識を持っている。</p> <p>メディカルセンターを利用し、健康セミナー。病気にならない、罹らない運動を定期的に開くと良い。他市では老人医療費が激減したと聞く。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>となり近所とのつきあいがうまくいっている所は何かあっても安心だが、普段からつきあいのない方は何か変化があったりした時にわからない。</p> <p>民生委員で独居の方へ訪問すると、インターホン越しに断る方や、周囲に一切世話になりたくない方がいる。アプローチが難しい。</p> <p>どうしても長く活躍して下さっている方に頼らざるを得ない状態です。</p> <p>若い人だけではなので、防災無線の造設など。</p>	<p>課題 C</p> <p>大勢の中に入っていくのが苦手な方をどうするか？</p> <p>会や団体としてできあがった中に入っていくのは、ハードルが高いのではないか。</p> <p>ささえ合い精神が希薄化している。</p>	<p>活動 C</p> <p>高齢者支援の輪を広げる為、他団体（NPO）との意見交換の積極化を図る。</p>	<p>支援 C</p> <p>日頃より課題を特化した地域ミーティングの開催。</p> <p>隣同士がお互いに声掛けし合う。</p> <p>同じ考えを持った人達の集りをつくる。</p> <p>違う人からも声を掛けてみる。</p>

丘山地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>地域の役が集中してしまうことがある。</p> <p>世代交代が実行されておらず、次の人材への渡しが出来ない。</p> <p>跡取りがいなかったため、将来的に人材不足が懸念される。とても心配である。</p> <p>(公共の) 人のために活動することの重要性が知られていない。</p> <p>地域に若い人が少ないので、役決めが非常に難しい。</p> <p>若い人材が区の集りに参加してほしい。</p> <p>高齢化により、やり手が少ない(いない)。</p> <p>後継者が少ない。</p>	<p>課題 A</p> <p>若い人が他の県・市で仕事をするためにあまり残らない。</p>	<p>活動 A</p> <p>役員以外の地域のメンバーが参加できる区会を開く。</p> <p>地域の行事を考える。</p>	<p>支援 A</p> <p>ボランティアですべてを行う事に問題がある。</p> <p>地域住民の考え方を変える努力をする。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>公民館の利用を工夫していない。</p> <p>各地域は各地域で活動して、自治会とうしの交流は個人でのみ。</p> <p>ボランティア活動を積極的に。</p> <p>地域とうしの考え方の差が大きい。</p> <p>皆が参加できるセミナー等がない。</p> <p>参加意識がもてない。</p> <p>高齢者の移動がタクシーしかない。(福祉) サービスを配達するような(逆)考え方をしていない。</p>	<p>課題 B</p> <p>若い人材を表へ引き出す工夫をしていない。</p> <p>ひとり暮らしのため、つい自分の生活を優先してしまいがち。心のゆとりがありません。</p>	<p>活動 B</p> <p>一定のルールを決めて公民館を開放する。</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>誰に何を相談したら良いのかわからない。</p> <p>東金都市部(中央)と丘山のような田園農村部の差があることを市政がフォローしていない。</p> <p>公共団体とのネットワークを強化。(東金市、区会、住民)</p> <p>公民館等を利用して行政が何かを行う。</p> <p>手話通訳できる方、点字通訳ができる方は何名くらいいますか?</p> <p>福祉センターへ相談する。</p>	<p>課題 C</p>	<p>活動 C</p> <p>他地区の行事を知ることのできるネットワークを作る(市政)。</p>	<p>支援 C</p>

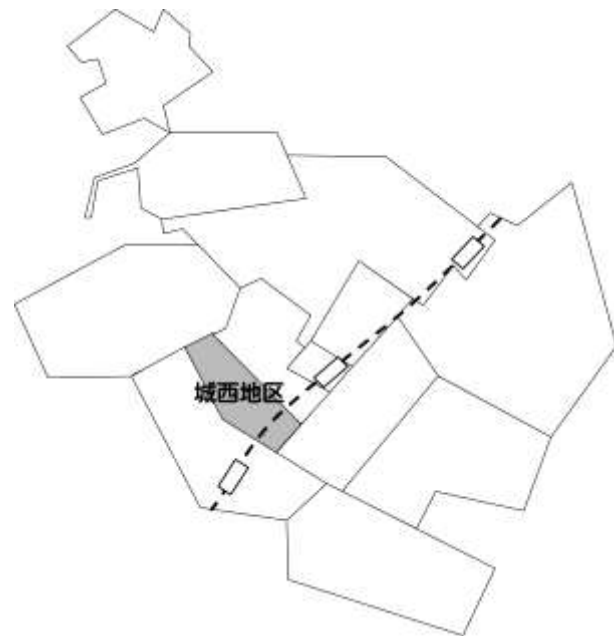
9 城西地区（8月7日開催 於：台方公民館）

（1）地域特性

城西地区は、JR東金駅の西方、東金第1地区と大和地区との間に位置しています。

教育施設としては市立城西小学校、市立西中学校があります。

なお、城西地区の会員世帯数は581世帯で、加入率は63.9%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 地区内にどのような人が住んでいるのかわからないという意見や、各団体等の活動への理解がない、加入者が少ない等の意見があり、課題として世帯の情報が伝わってこない、地域の構成員が不明である、隣近所の関係が希薄になったということが挙げられました。これに対して、新住民へ常会の内容を説明するパンフレットを作成し、ポスティングや戸別訪問をする等の意見が出され、市役所に転入届を出す際には常会への加入を促すや防災会を設置して役割を担う等の支援が必要としました。

目標B 子どもが遊べる場所がない、世代間交流は重要である、新住民とコミュニケーションが取れていない等の意見があり、住民同士が交流する機会が必要との課題が出されました。これに対して、区が中心となって各団体をまとめ、イベントを行うや話し合いの機会を多く持つ、イベント等の計画を行うといった意見が出され、そのために場所や設備等の支援が必要としました。

目標C 各団体の存在が住民に周知されておらず、活動内容も理解されていないといった意見や団体間の交流がないため、計画も立てられない等の意見が出され、各団体が個別に活動していることが課題として挙げられました。これに対して、区の回覧物に各種行事の年間予定を載せ、供覧できるようにするという意見が出されました。

② グループB

目標A ボランティア活動に関心がない人が多い、サラリーマンは平日の活動が困難である等の意見や声かけをしてボランティアの話をしているという意見があり、役員のなり手が少ないや

地域の横のつながりがない等が課題として挙げられました。これに対して、地区の各役員や若者の名簿を作成し、人材を発掘する、朝の挨拶と声かけをするといった意見が出され、必要な支援として、行事に充てるひも付きなしの予算や日当が挙げられました。

目標B 近所付き合いが希薄になっている、幼稚園より小さい世代も行事に参加させる等の意見があり、新旧住民の交流の場が少ない、団体間の横のつながりがない、交通の便が悪く、思うようには出かけられないという課題が出されました。これに対して、元先生に塾をしてもらい、地区の歴史を広報に載せる、祭等のイベントを増やすといった意見が出され、回覧板の字を大きくしてもらうことが必要な支援とされました。

目標C 近所同士の交流が少ない等の意見があり、近所との交流を増やしていくことが課題といえます。これに対して、近所に関心を持つこと、個人情報をお互いに伝え合うこと、区費を払わない人にも広報を回すといった意見があり、広報に発表の場を作ることが必要とされました。

③ グループC

目標A ボランティア活動参加者の高齢化に関する意見が多くなり、また、自治会への参加意識が低い、福祉ボランティアに関心がない等の意見もありました。これらから、住民の高齢化、福祉への無関心が課題として出されました。これに対して、今後の活動として、行政の内容を周知するとの意見が出され、情報伝達手段となるパソコン教室を開催することが必要な支援としました。

目標B 地域の行事への参加を促していくという意見があり、課題として、行事への参加者が限られる、仕事・働き場がないということが挙げられました。これに対して、参加しやすい行事を考えるという意見が出され、必要な支援として、城西地区の交流のための公民館や情報伝達を学ぶ講座の開催が挙げられました。

目標C 地域福祉ネットワークの必要性が理解されない、地域福祉団体の構成が分からない、地区の役員が社協の会員になっていないといった意見があり、三地区の連携が取れていないことが課題とされました。これに対して、城西三地区の防災連絡協議会を作るという意見があり、行政が防災の必要性を積極的に発信していくこと、公民館を活用できる体制を作ることが必要としました。

④ グループD

目標A 区の役員に社協ボランティアの活動を知ってほしい、ボランティアの募集をかけても興味を示してもらえない、若者がおらず、高齢者が多い等の意見があり、声をかけ、誘いあうこと、区役員とボランティア団体のコミュニケーションを良くすること、区への加入者が減少していることが課題として挙げられました。これに対して、引っ越してきたときや回覧チラシを使ってボランティアや区に勧誘する、自由に意見を言える雰囲気を作る、広報活動をする等の意見が出ました。

目標B 各団体が他部門の活動を知るために情報収集する、社協団体と区との連絡会議を増やすという意見や集まって話し合いをする場所がない、子どもと高齢者が一緒に過ごせる場が必要

等の意見が出され、気軽に出入りできるコミュニケーションの場が不足している、個人商店がないといった課題が挙げられました。これに対して、公民館や集会所を開放するという意見出されました。

目標C 独居老人・高齢者の見守り、社協のボランティア作業が点数制度で還元できていない、公園の整備が必要である等の意見が出され、ボランティア活動をやりやすくするため、活動費を点数制にする、城西地区に皆が集える場所を作る等の課題が出されました。これに対して、保育所・老人施設でお手伝いをする、社協の会費回収率を上げる、役員のための福祉や社協ではなく、市民のものとするといった意見が出されました。

城西地区 グループA	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>どうい入(世帯)が居るのかわからない。</p> <p>・後継者不足。(少子高齢化)</p> <p>子供会への加入者が減少している。(役員を引き受けることをさけるため?)</p> <p>各団体・組織の活動への理解が深い。</p> <p>町内会。加入住民が少ない!(後から転入した世帯)</p> <p>お年寄りの方々の見守りが不十分である。</p>	<p>課題 A</p> <p>個人情報保護の観点から、世帯の情報が伝わってこない。</p> <p>地域を構成する人達、世代等が不明。(区)</p> <p>個人情報が先行し、隣同士の仲が稀薄になり、情報が取りにくい。</p>	<p>活動 A</p> <p>民生員として、一人暮らし等を把握しているが、近隣の方々の手助けが、まず第一の課題である。</p> <p>区紹介等のパンフレット等を使用したポスティング、戸別訪問。(区)</p> <p>新住民へ、常会の内容をわかりやすくせつめいするパンフレットなどあれば。</p> <p>個々の能力を見分け、幅広くお願いする。情報の発信。</p>	<p>支援 A</p> <p>市役所の市民課転入届の際に常会への加入をうながす。</p> <p>防災会を設置し、要所要所の役割を担って頂く!</p> <p>未加入住宅への、積極的参加して頂く!(何をしているか説明する)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>子供たちのあそべる場所がない。</p> <p>世代間は重要。子連れ夫婦、高齢者交流により、子連れ夫婦、子育て等の知識を得、高齢者は子供から元気を。</p> <p>地域に溶け込んでいない住民がいるので、その人達への加入を願いたい。</p> <p>新住民に加入を求めても拒否される。</p> <p>造成により出来た公園をつくってほしい。</p> <p>造成により出来た新住民とのコミュニケーションがとれない。</p>	<p>課題 B</p> <p>住民同士がまとまったイベント等、交流する機会がある。(区)</p>	<p>活動 B</p> <p>区が中心となり、各団体をまとめ、イベントを行う。(区)</p> <p>話し合う機会を多く持ち、積極的イベント等を計画する。</p>	<p>支援 B</p> <p>・場所。 ・設備。 ・負担金(個人)? ・PR方法。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>各団体、組織の存在自体が周知されていない。</p> <p>各団体・組織の行っている活動が住民に良く理解されていない。</p> <p>行事の周知不足。</p> <p>各組織・団体間の交流がなく、計画も立たない。(区)</p> <p>保育園に入れない。</p>	<p>課題 C</p> <p>各団体の組織が個別に活動している。(区)</p>	<p>活動 C</p> <p>・区の見学(4月)の際に、各種行事の年間予定を共有する。(パソコン)</p>	<p>支援 C</p>

城西地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>後継ぎが勤め関係で地元にはいない。定年まで帰ってこない家庭が増えている。</p> <p>新住民を入れる。60%以上。</p> <p>声をかけて、ボランティアの話をしようとしている。</p> <p>ボランティア活動に関心がない人が多い。</p> <p>新旧住民のいきがなくて、地区全体のコミュニケーションを取る。</p> <p>サラリーマンが多く、平日の活動は困難。</p>	<p>課題 A</p> <p>地域団体の役員のなり手が少ない。</p> <p>役員をたくさん作る。</p> <p>子供との交流をふやしたい。</p> <p>地域の横のつながりが少なく、役職をたのめる人が見あたらない。</p>	<p>活動 A</p> <p>地区の各役員全員の名簿を作成し、人材を発掘。</p> <p>地域に若い人の名簿を作成。</p> <p>朝のあいさつをしながら、声をかけている。</p>	<p>支援 A</p> <p>行事にはお金がかかるので、行政はひもつきなしの予算を作成する。</p> <p>弁当を少額払う。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>近所付き合いが希薄になっている。</p> <p>新しい住民に公的機関が区民に知らせる。</p> <p>幼稚園より小さい年代を行事に参加させる。</p>	<p>課題 B</p> <p>新旧住民の交流の場が少ない。</p> <p>いろいろな団体役員がいるが、横のつながりが少ない。</p> <p>交通網が不便なので、思うように出掛けられない。</p>	<p>活動 B</p> <p>地元の元先生に塾をしてもらう。</p> <p>地区の歴史をその都度、広報にのせる。</p> <p>祭等のイベントをたくさん催す。</p>	<p>支援 B</p> <p>回覧板の字を大きくしてもらう。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>市職員が交替するたびに、振り出しにもどる場合がある。</p> <p>近所どうしの交流が少ない。</p>	<p>課題 C</p>	<p>活動 C</p> <p>個人の情報を皆に言う様にする。</p> <p>自分のヒミツを人にしゃべる。</p> <p>隣の人の人物に関心を持つ。</p> <p>区費を払わない人にも広報を回す。</p>	<p>支援 C</p> <p>広報紙に発表の場を作る。</p>

城西地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<div style="display: grid; grid-template-columns: repeat(4, 1fr); gap: 5px;"> <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">人材（名簿なし）。どなたにお願いしているか、わからない。</div> <div style="padding: 5px;">人材不足ではあるが、それぞれの役を担っていると思う。</div> <div style="padding: 5px;">地域が高齢化している。</div> <div style="padding: 5px;">新住民が増加しており、自治会への参加意識が低い。</div> <div style="padding: 5px;">主任児童委員の認知度が低く、頼みづらい。</div> <div style="padding: 5px;">各団体との話し合いとか交流を行なう事。</div> <div style="padding: 5px;">年上の人がばかりなので、若い人が前にでにくい。</div> <div style="padding: 5px;">ボランティアが高齢化している。</div> <div style="padding: 5px;">ボランティアの年齢が年々高齢化している。</div> <div style="padding: 5px;">人の世代がかたよっている。60才以上ばかり。60才以下が激減。</div> <div style="padding: 5px;">核家族ばかりで、若い人の家庭が少ない。若い人が地域に住まない。</div> <div style="padding: 5px;">福祉ボランティアに関心がない。</div> </div>	<p>課題 A</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>・住民の高齢化。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>・福祉への無関心。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 40%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>住民の高齢化。</p> </div>	<p>活動 A</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>・役割り。 ・行政の内容の周知。</p> </div>	<p>支援 A</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>現代にあった情報伝達（スマホ等）のパソコン教室の開催。</p> </div>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>地域の行事を（祭りなど）どんどん通して、積極的に参加をうながす。</p> </div>	<p>課題 B</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>参加者が限られる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>・仕事がない。 ・働く場がない。</p> </div> </div>	<p>活動 B</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>・参加しやすい行事を考える。</p> </div>	<p>支援 B</p> <div style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>城西地区の交流のための公民館を作って欲しい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>情報伝達のための講座を開催して欲しい。</p> </div>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>地域福祉ネットワークの必要性が理解されない。（地域に）</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>・地域福祉の団体の構成がわからない。</p> </div> </div> <div style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>城西三地区の役員が城西社協の会員になっていない。</p> </div>	<p>課題 C</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>・三地区の連携がとれていない。</p> </div>	<p>活動 C</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; width: 80%; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>城西三地区の防災の連絡協議会を作る。</p> </div>	<p>支援 C</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>行政として、防災の必要性をより積極的に発信する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p>地域公民館をもっと活用できる体制を作る。</p> </div> </div>

城西地区 グループD	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと																						
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<table border="1"> <tr> <td>◎ 区の役員がもう少し社協ボランティアの活動を知ってほしい ◎</td> <td>○ ・次世代の指導。 ・人材の不足。</td> <td>○ 農業及び個人経営者の人材が不足。関連組織の活動か？</td> <td>交通の便が悪い。 ×</td> </tr> <tr> <td>× ・ボランティア人員が少ない。 ・新規加入が少ない ○</td> <td>ボランティアなどの募集をかけても、きょうみを示してもらえない。 ○</td> <td>高齢者、母子家庭等で区の役員を決める件。</td> <td>さまざまな催しに参加することが必要。</td> </tr> <tr> <td>・リーダーの育成。 ・隣人とのつながり。 ○</td> <td>・若者がいない。 ・お年寄りばかりなので、つきあいがうすい。 ○</td> <td>・独居老人の問題。</td> <td></td> </tr> </table>	◎ 区の役員がもう少し社協ボランティアの活動を知ってほしい ◎	○ ・次世代の指導。 ・人材の不足。	○ 農業及び個人経営者の人材が不足。関連組織の活動か？	交通の便が悪い。 ×	× ・ボランティア人員が少ない。 ・新規加入が少ない ○	ボランティアなどの募集をかけても、きょうみを示してもらえない。 ○	高齢者、母子家庭等で区の役員を決める件。	さまざまな催しに参加することが必要。	・リーダーの育成。 ・隣人とのつながり。 ○	・若者がいない。 ・お年寄りばかりなので、つきあいがうすい。 ○	・独居老人の問題。		<p>課題 A</p> <table border="1"> <tr> <td>個人情報の件。シャマしている。 ○</td> <td>○ 声をかけあい、誘い合う。欠けている。</td> </tr> <tr> <td>区への加入者数が少なくなっている。 ◎</td> <td>○ 区役員とボランティア団体のコミュニケーションをもう少し良くしたい。</td> </tr> </table>	個人情報の件。シャマしている。 ○	○ 声をかけあい、誘い合う。欠けている。	区への加入者数が少なくなっている。 ◎	○ 区役員とボランティア団体のコミュニケーションをもう少し良くしたい。	<p>活動 A</p> <table border="1"> <tr> <td>引越して来た時、区費の問題や区に参加することなど、入ってくれるよう促す。 ◎</td> <td>社会福祉協議会などの団体に加入する事で、解決のけるのではないか。</td> </tr> <tr> <td>自由に意見を言える雰囲気作りが必要。</td> <td>広報活動をする。</td> </tr> <tr> <td>ボランティア、区への新規加入の回覧チラシを郵便箱に入れる。</td> <td></td> </tr> </table>	引越して来た時、区費の問題や区に参加することなど、入ってくれるよう促す。 ◎	社会福祉協議会などの団体に加入する事で、解決のけるのではないか。	自由に意見を言える雰囲気作りが必要。	広報活動をする。	ボランティア、区への新規加入の回覧チラシを郵便箱に入れる。		<p>支援 A</p>
◎ 区の役員がもう少し社協ボランティアの活動を知ってほしい ◎	○ ・次世代の指導。 ・人材の不足。	○ 農業及び個人経営者の人材が不足。関連組織の活動か？	交通の便が悪い。 ×																							
× ・ボランティア人員が少ない。 ・新規加入が少ない ○	ボランティアなどの募集をかけても、きょうみを示してもらえない。 ○	高齢者、母子家庭等で区の役員を決める件。	さまざまな催しに参加することが必要。																							
・リーダーの育成。 ・隣人とのつながり。 ○	・若者がいない。 ・お年寄りばかりなので、つきあいがうすい。 ○	・独居老人の問題。																								
個人情報の件。シャマしている。 ○	○ 声をかけあい、誘い合う。欠けている。																									
区への加入者数が少なくなっている。 ◎	○ 区役員とボランティア団体のコミュニケーションをもう少し良くしたい。																									
引越して来た時、区費の問題や区に参加することなど、入ってくれるよう促す。 ◎	社会福祉協議会などの団体に加入する事で、解決のけるのではないか。																									
自由に意見を言える雰囲気作りが必要。	広報活動をする。																									
ボランティア、区への新規加入の回覧チラシを郵便箱に入れる。																										
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<table border="1"> <tr> <td>◎ 各団体の人は他部門の活動を知るために、情報を集める。</td> <td>伝統が少しずつ消えて行くように感じる。</td> <td>◎ 社協団体と区との連絡会議を増やす。</td> <td>皆で集まって話し合いができる場所がない。</td> </tr> <tr> <td>子供達の遊び場がない為、家の外に出ない。</td> <td></td> <td></td> <td>子どもとお年寄りがいっしょに過ごせる場が必要だと思う。</td> </tr> </table>	◎ 各団体の人は他部門の活動を知るために、情報を集める。	伝統が少しずつ消えて行くように感じる。	◎ 社協団体と区との連絡会議を増やす。	皆で集まって話し合いができる場所がない。	子供達の遊び場がない為、家の外に出ない。			子どもとお年寄りがいっしょに過ごせる場が必要だと思う。	<p>課題 B</p> <table border="1"> <tr> <td>コミュニケーションの場。きがるに出入りできる場所がほしい。</td> </tr> <tr> <td>個人商店がない。</td> </tr> </table>	コミュニケーションの場。きがるに出入りできる場所がほしい。	個人商店がない。	<p>活動 B</p> <table border="1"> <tr> <td>公民館活動を開放。それを管理する人が必要。</td> </tr> <tr> <td>公民館、集会所などの開放。(寺、学校)</td> </tr> </table>	公民館活動を開放。それを管理する人が必要。	公民館、集会所などの開放。(寺、学校)	<p>支援 B</p>										
◎ 各団体の人は他部門の活動を知るために、情報を集める。	伝統が少しずつ消えて行くように感じる。	◎ 社協団体と区との連絡会議を増やす。	皆で集まって話し合いができる場所がない。																							
子供達の遊び場がない為、家の外に出ない。			子どもとお年寄りがいっしょに過ごせる場が必要だと思う。																							
コミュニケーションの場。きがるに出入りできる場所がほしい。																										
個人商店がない。																										
公民館活動を開放。それを管理する人が必要。																										
公民館、集会所などの開放。(寺、学校)																										
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<table border="1"> <tr> <td>独居老人・高齢者の見守り。 ◎</td> <td>高齢者に優しい場所作り。 ◎</td> </tr> <tr> <td>社協のボランティア作業が点数制度で還元できていない。 ◎</td> <td>公園等の整備が必要。(必要なところに)</td> </tr> </table>	独居老人・高齢者の見守り。 ◎	高齢者に優しい場所作り。 ◎	社協のボランティア作業が点数制度で還元できていない。 ◎	公園等の整備が必要。(必要なところに)	<p>課題 C</p> <table border="1"> <tr> <td>ボランティア活動をやりやすくする為、活動費をボランティアするたびに点数制にして。 ◎</td> <td>老人福祉センターの場所。 ○</td> </tr> <tr> <td>城西地区に皆が集える場所がない。緑地帯。 ○</td> <td>ペットボトル、プルトップ。古キッテ。あつめる場所、しょうかい？</td> </tr> </table>	ボランティア活動をやりやすくする為、活動費をボランティアするたびに点数制にして。 ◎	老人福祉センターの場所。 ○	城西地区に皆が集える場所がない。緑地帯。 ○	ペットボトル、プルトップ。古キッテ。あつめる場所、しょうかい？	<p>活動 C</p> <table border="1"> <tr> <td>保育所・老人施設へのお手伝い。</td> <td>役員の為の福祉ではなく、市民の為の福祉に。</td> </tr> <tr> <td>社協の会費の回収率を上げる。</td> <td>社会福祉協議会がもっと役員の為のものではなく、区民を引き込む動きがほしい。</td> </tr> </table>	保育所・老人施設へのお手伝い。	役員の為の福祉ではなく、市民の為の福祉に。	社協の会費の回収率を上げる。	社会福祉協議会がもっと役員の為のものではなく、区民を引き込む動きがほしい。	<p>支援 C</p>										
独居老人・高齢者の見守り。 ◎	高齢者に優しい場所作り。 ◎																									
社協のボランティア作業が点数制度で還元できていない。 ◎	公園等の整備が必要。(必要なところに)																									
ボランティア活動をやりやすくする為、活動費をボランティアするたびに点数制にして。 ◎	老人福祉センターの場所。 ○																									
城西地区に皆が集える場所がない。緑地帯。 ○	ペットボトル、プルトップ。古キッテ。あつめる場所、しょうかい？																									
保育所・老人施設へのお手伝い。	役員の為の福祉ではなく、市民の為の福祉に。																									
社協の会費の回収率を上げる。	社会福祉協議会がもっと役員の為のものではなく、区民を引き込む動きがほしい。																									

10 嶺南地区（8月7日開催 於：東金市役所）

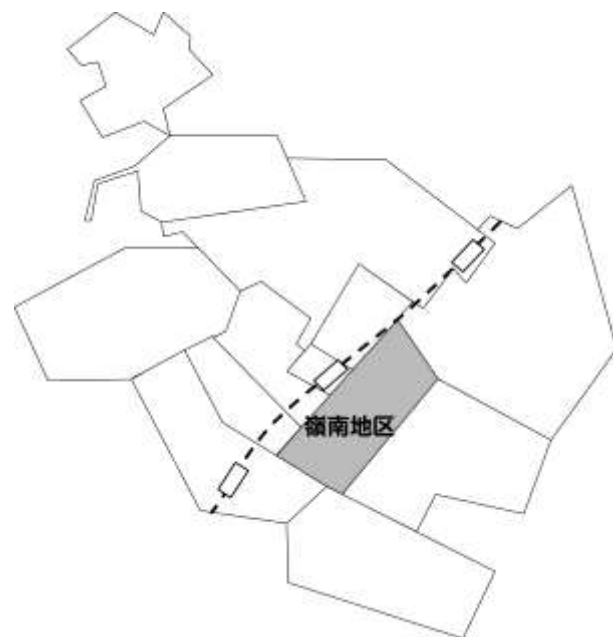
（1）地域特性

嶺南地区は JR 東金駅の南側に位置しています。

地区内には東金警察署、千葉地方法務局東金出張所といった公共施設があり、スポーツ施設として東金アリーナが整備されています。

教育施設は市立嶺南幼稚園、市立東金中学校、県立東金特別支援学校があります。

なお、嶺南地区の会員世帯数は 1,003 世帯で、加入率は 69.8%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 日常的に顔をあわせて交流する機会が多くない、各団体・役員がいつも同じメンバーである、自分の生活で手いっぱい等の意見が出され、ボランティア部の高齢化している、自分のことで手いっぱい、人のことまで気がまわらない等の課題が出されました。これに対して、各団体に参加してもらい、意識を高めていくという意見が出ました。

目標B イベントにいろいろな分野の人に参加してほしい、イベントを紹介しても申し込みが少ない、若者が集まる場所をもってほしい等の意見があり、行事を組んでも人が集まらない、若者が集まる交流会がない等の課題が出されました。これに対して、子供会・敬老会等が合同イベントを発案し、実施する、秋祭りを開催する等の意見が出され、必要な支援として、堀上に子どもや高齢者が集える場所を設けることが挙げられました。

目標C 地域の実状が実感できず、課題の優先度が不明であるや地域内での役員間の交流が少ない等の意見が出され、各団体間の交流が少なく、連携が取りづらい、個人情報保護法により、情報が得られない、子ども達の遊び場がほしいといった課題が挙げられました。これに対して、地区社協の役員メンバーで定期的に話し合いをする、自分達で好きなサークルを作るといった意見があり、必要な支援として、市が避難場所を検討すること、高齢者を招待する会のために高齢者の名簿を提供することが挙げられました。

② グループB

目標A 新旧住民の交流が少なく、人材を把握できない、個人情報を把握する手段を考えてほしい、農業の後継者が年を取っていなくなっている、アパート等が増えたことで、区の住民とい

う意識が薄くなってきている等の意見が出され、個人情報の把握、住民という意識の低下、新旧住民の交流、農業従事者の後継者不足が課題として挙げられました。これに対して、区の協議員に新住民を入れていくという意見があり、市として農業従事者を育成していくことや個人情報の取り扱いに関するルール作りをしていくことが必要としました。

目標B 地域でイベントを行う、新旧住民の交流がない、体協活動が同じメンバーである、高齢者のイベントへの参加と足の確保の問題等の意見が出され、交流の場を設置していくこと、行事等の参加者の固定化を解消すること、区の協議員に新住民を加えること、イベント参加のための交通手段が不足していることが課題とされました。これに対して、参加してくれるイベントを企画していく、多種の団体との交流の場を設置していく、高齢者の移動方法として車・バス等を利用するといった意見が出され、企画運営のようなイベント内容の講習を行うこと、移動のための足を確保することが必要な支援としました。

目標C 地域の高齢者への見守りネットワークがほしい、防災が手つかずである等の意見があり、地域の見守りネットワークを作る、防災の組織作りをするといった課題が出されました。これに対して、要支援者を把握するという意見があり、防災の組織づくりの支援が必要としました。

③ グループC

目標A 若者が増えても、近所付き合いがないため、顔見知りになれない、子ども会では保護者と役員の連携が取れない、地区内の活動をいつも同じ様なメンバーで行っているといった意見があり、各団体への新規加入者の参加が難しい、ボランティアグループの会員募集の難点、ボランティアの活動場所への交通手段等の課題が挙げられました。これに対して、ボランティア協力者が足りない時だけに加わってもらうグループを登録する、毎年の常会長をおさえて、今後の人材育成にするといった意見が出されました。

目標B 夏休みのラジオ体操や子供会とボランティアが共同で行ったゴミ拾いを今後も続けていきたいという意見がありましたが、ラジオ体操への子どもの参加が少なく、親の協力も得られないといった意見もありました。また、イベントへの開催場所への交通手段に問題がある等の意見も出され、課題としては地区の草刈りや排水路清掃等が高齢化により困難になるということが挙げられました。これに対して、各グループに交流がないので、年に数回でも集まる機会を設けてはどうだろうかとの意見がありました。

目標C 民生委員として相談を受けた際、そのことを役所へは伝えたものの、地区の方に対しては個人情報保護のため、相談することが出来なかったという意見や地区防災体制を構築する、各団体と連携するとの意見が出され、課題として、鉄道交通の利便性向上やJR東金駅の東口・西口を結ぶ跨線橋が階段のみで不便であるとのことが挙げられました。

④ グループD

目標A 各家庭で地区行事に関心を持つように後継者に教えていく、区民が高齢化し、中核になる人が不足している、仕事をしながらでは用事が多すぎる等の意見があり、青少年相談員等を各地区複数制にする、子どもが少なく、子供会の役員のなり手がいないといった意見が出されました。これに対して、区の役員や近所の方が勧誘を行うといった意見が出されました。

目標B 区全体としてのイベントがなく、横のつながりがない、イベント・祭等、気楽に集まれる機会を多くする等の意見があり、回覧板を回しただけでは気がつかないことがある、回覧板が期日までに回らないことがあるといった意見が出されました。これに対して、協同館を新築し交流の場を提供するといった意見がありました。

目標C 道路の整備が進み交通量が増え、ゴミの投げ捨てが増えた、公園はあるが遊具がなく、遊べない、一人暮らし世帯の情報共有等の意見が出され、年2回のゴミ拾いでは足りない、遊具の費用をどうするのかといった課題が挙げられました。

嶺南地区 グループA	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>日常、顔をあわせて交流する機会が多くない(アパート、学生等の増加)。もとからの地域住民の減少。空家。</p> <p>常に交流があるわけではない。人材育成などなかなかできない。</p> <p>生活が成り立たない。特に自営なので。</p> <p>隣人がいるかないか、判らない。</p> <p>人が減ってきている。一人暮らしが多くなっている。</p> <p>自分の生活で手いっぱい。親類への(老)手伝いで、近所の若者と話せない。</p> <p>現在、代理を置いて、区長と共に頑張っている。仕事が多いような気がする。</p> <p>各種団体・役員の人々がいつも同じメンバー。人材不足。</p> <p>特定の人(役取)の、あの人が良いのではないかと意見で、役員がきまってしまうように思う。</p> <p>グループ、団体の後継者、援助者予備軍の育成のあり方を考えたい。(バックアップ体制の確立)</p>	<p>課題 A</p> <p>ボランティア部の高齢化がすすみ、人材確保がむずかしい。</p> <p>ボランティア人材の高齢化の為、新しい人材の発掘。</p> <p>作業量が多い。夜は毎日PC作業。目も疲れる。</p> <p>民生委員は少人数で、高齢者一人暮らしは60人前後なので、行政からは毎年1回の見守り活動がありますが、心通になる年寄りや安否確認を増やしたいです。</p> <p>自分の事で手いっぱい。人の事まで気がまわらない。</p>	<p>活動 A</p> <p>各団体に参加してもらい意識を高めていく。(おりに触れて)</p>	<p>支援 A</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>いろいろな分野の人に参加して欲しい。日々の交流が少ない。参加するためのイベント実施。</p> <p>以前は支援学校で区の体育祭(?)が行われていたのだが、今後おもしろいか?(20年以上前)</p> <p>各イベントの紹介をしても、申込みが少ない。どのようにしたら良いか。</p> <p>近所に子供がほとんどいないのと、近所に独身男性が多いので、なんとか婚活活動をもっかけてもらいたい。</p> <p>各地区毎の活動になると、あまり行われていない。</p> <p>仕事等により、なかなか地域行事への参加者が増えない。直接の利害がないと意識が希薄。</p> <p>防災活動も一緒に行動できる機会もない。</p> <p>・お宮氏子から抜ける。 ・お毘沙から抜ける。 ・若者が入会しない。</p> <p>地域活動の担い手の高齢化が進んでおり、若い人が集まる場をもってほしい。</p>	<p>課題 B</p> <p>行事を組んでも、人が集まらない。</p> <p>若者の集まる交流会が無い。</p> <p>各団体の活動は、それぞれに行っているが、交流が難しい。</p> <p>各団体共、縦割りの活動になっているのではないか。</p>	<p>活動 B</p> <p>子供会・敬老会等の各種団体の合同イベントの発案・実施。</p> <p>秋祭りの開催。</p> <p>区と各団体との代表で、検討したらどうか。</p>	<p>支援 B</p> <p>堀上あたりに嶺南4区の子供達やお年寄りの集える場所が欲しい。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>地域の実状が実感できず、解決すべき課題の優先度が不明。</p> <p>重要な所のカーブミラーを取り入れてほしい。</p> <p>防犯パトロールの実態が見えづらい。</p> <p>地域内での役員間の交流が少ない。</p> <p>嶺南福祉の新聞はあるが、嶺南4区の活動が見えない。</p> <p>区の道路の整備等、お願い致します。</p> <p>当地区には、城国のアパートが多くある事だし、生徒達との連携で、できる事はないか。</p> <p>子供の声がない。</p>	<p>課題 C</p> <p>普段から、各団体との交流が少ないので、連携がとりづらい。</p> <p>区の集団の集まりが少ない。もっと子供達の遊び場がほしい。</p> <p>個人情報保護法案は大事ですけど、区内には民生の立場上、じょうほうをよせていただくと役員として助かる届があります。</p>	<p>活動 C</p> <p>地区社協の役員メンバーの定期的話し合いを持つ。(各区毎に人間関係、活動内容の理解を深める)</p> <p>自分達で好きなサークルをつくる。</p>	<p>支援 C</p> <p>防災という観点から、市として避難場所を検討したらどうか。</p> <p>ボランティアで、高齢者を招待する会のための高齢者の名簿がほしい。</p>

嶺南地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと																						
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<table border="1"> <tr> <td>人の集まる所に出て、色々な方と知り合うこと。</td> <td>新旧住民の接触の頻度が少なく、情報が少ない。 <input type="checkbox"/></td> <td>新住民と旧住民の交流。特に人材。人を知ることがむずかしい。</td> <td>定年延長で、ボラ始め、各団体ともに成り手が減っている。</td> </tr> <tr> <td>世代間（特に若い世代との交流）の交流が難しい。</td> <td>地域の中で交流の機会があまりない。</td> <td>結婚できない男性が多い。</td> <td>ボランティアのなり手がなかなかない。</td> </tr> <tr> <td>個人の情報をどこかで把握できる手段を考えてほしい。 <input type="checkbox"/></td> <td>農業の後継者が年をとっていなくなってしまう。 <input type="checkbox"/></td> <td>定年延長に伴い、人材の育成に問題を生じている。</td> <td>アパート等が多くなり、区の住民という意識が少なくなっている。 <input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	人の集まる所に出て、色々な方と知り合うこと。	新旧住民の接触の頻度が少なく、情報が少ない。 <input type="checkbox"/>	新住民と旧住民の交流。特に人材。人を知ることがむずかしい。	定年延長で、ボラ始め、各団体ともに成り手が減っている。	世代間（特に若い世代との交流）の交流が難しい。	地域の中で交流の機会があまりない。	結婚できない男性が多い。	ボランティアのなり手がなかなかない。	個人の情報をどこかで把握できる手段を考えてほしい。 <input type="checkbox"/>	農業の後継者が年をとっていなくなってしまう。 <input type="checkbox"/>	定年延長に伴い、人材の育成に問題を生じている。	アパート等が多くなり、区の住民という意識が少なくなっている。 <input type="checkbox"/>	<p>課題 A</p> <table border="1"> <tr> <td>個人情報の把握。</td> <td>新旧住民間の交流をどのように作っていくか。</td> </tr> <tr> <td>住民という意識の低下。（特にアパート等）</td> <td>農業従事者の後継者不足。</td> </tr> </table>	個人情報の把握。	新旧住民間の交流をどのように作っていくか。	住民という意識の低下。（特にアパート等）	農業従事者の後継者不足。	<p>活動 A</p> <table border="1"> <tr> <td>区の協議員に新住民を入れていく。</td> </tr> </table>	区の協議員に新住民を入れていく。	<p>支援 A</p> <table border="1"> <tr> <td>市として農業者育成（ex 婚活パーティ）</td> </tr> <tr> <td>個人情報の扱いのルール作り。</td> </tr> </table>	市として農業者育成（ex 婚活パーティ）	個人情報の扱いのルール作り。			
人の集まる所に出て、色々な方と知り合うこと。	新旧住民の接触の頻度が少なく、情報が少ない。 <input type="checkbox"/>	新住民と旧住民の交流。特に人材。人を知ることがむずかしい。	定年延長で、ボラ始め、各団体ともに成り手が減っている。																							
世代間（特に若い世代との交流）の交流が難しい。	地域の中で交流の機会があまりない。	結婚できない男性が多い。	ボランティアのなり手がなかなかない。																							
個人の情報をどこかで把握できる手段を考えてほしい。 <input type="checkbox"/>	農業の後継者が年をとっていなくなってしまう。 <input type="checkbox"/>	定年延長に伴い、人材の育成に問題を生じている。	アパート等が多くなり、区の住民という意識が少なくなっている。 <input type="checkbox"/>																							
個人情報の把握。	新旧住民間の交流をどのように作っていくか。																									
住民という意識の低下。（特にアパート等）	農業従事者の後継者不足。																									
区の協議員に新住民を入れていく。																										
市として農業者育成（ex 婚活パーティ）																										
個人情報の扱いのルール作り。																										
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 地域でイベントを行なう。夏休みのラジオ体操とか。</td> <td>市・区のあげでの祭等でも、協力を依頼する際、意識の違いがあり、それをどう解消するか。</td> <td>同種の団体以外はつながりが全くない。（知る機会がない）</td> <td>地域で活動している団体の発表の場（ふれあい祭り等）の機会がほしい。</td> </tr> <tr> <td>公民館を利用した交流の場を多くつくる。</td> <td>新住民と旧住民との交流がない？ <input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/> 体協活動も、今年同じメンバーで、参加する機会が減っている。</td> <td><input type="checkbox"/> 高齢者のイベントへの参加について。（足の確保）</td> </tr> <tr> <td>アパート等（借家）が多いため、子育てなど若い世代の人も多い。また、そのため、転出入も多く、交流まで進むには？</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 地域でイベントを行なう。夏休みのラジオ体操とか。	市・区のあげでの祭等でも、協力を依頼する際、意識の違いがあり、それをどう解消するか。	同種の団体以外はつながりが全くない。（知る機会がない）	地域で活動している団体の発表の場（ふれあい祭り等）の機会がほしい。	公民館を利用した交流の場を多くつくる。	新住民と旧住民との交流がない？ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 体協活動も、今年同じメンバーで、参加する機会が減っている。	<input type="checkbox"/> 高齢者のイベントへの参加について。（足の確保）	アパート等（借家）が多いため、子育てなど若い世代の人も多い。また、そのため、転出入も多く、交流まで進むには？				<p>課題 B</p> <table border="1"> <tr> <td>イベント等の交流の場の設置。</td> <td>行事等への参加者の固定化の解消。</td> </tr> <tr> <td>区の協議員に新住民（常会の代表）を入れたい。</td> <td>イベントへの参加の方法（車・バス等）の不足。</td> </tr> </table>	イベント等の交流の場の設置。	行事等への参加者の固定化の解消。	区の協議員に新住民（常会の代表）を入れたい。	イベントへの参加の方法（車・バス等）の不足。	<p>活動 B</p> <table border="1"> <tr> <td>いかに、参加してくれるイベントを企画するか。</td> <td>高齢者の移動方法として、車・バス等の利用。</td> </tr> <tr> <td>多種の団体との交流の場の設置。</td> <td></td> </tr> </table>	いかに、参加してくれるイベントを企画するか。	高齢者の移動方法として、車・バス等の利用。	多種の団体との交流の場の設置。		<p>支援 B</p> <table border="1"> <tr> <td>イベント内容の講習（企画運営 etc.）</td> </tr> <tr> <td>移動のための足の確保。サービスの提供。</td> </tr> </table>	イベント内容の講習（企画運営 etc.）	移動のための足の確保。サービスの提供。
<input type="checkbox"/> 地域でイベントを行なう。夏休みのラジオ体操とか。	市・区のあげでの祭等でも、協力を依頼する際、意識の違いがあり、それをどう解消するか。	同種の団体以外はつながりが全くない。（知る機会がない）	地域で活動している団体の発表の場（ふれあい祭り等）の機会がほしい。																							
公民館を利用した交流の場を多くつくる。	新住民と旧住民との交流がない？ <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 体協活動も、今年同じメンバーで、参加する機会が減っている。	<input type="checkbox"/> 高齢者のイベントへの参加について。（足の確保）																							
アパート等（借家）が多いため、子育てなど若い世代の人も多い。また、そのため、転出入も多く、交流まで進むには？																										
イベント等の交流の場の設置。	行事等への参加者の固定化の解消。																									
区の協議員に新住民（常会の代表）を入れたい。	イベントへの参加の方法（車・バス等）の不足。																									
いかに、参加してくれるイベントを企画するか。	高齢者の移動方法として、車・バス等の利用。																									
多種の団体との交流の場の設置。																										
イベント内容の講習（企画運営 etc.）																										
移動のための足の確保。サービスの提供。																										
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 地域の高齢者への見守りのネットワークがほしい。</td> <td>地域の高齢化に伴い、お互いに見守りをするための手立てをどのようにしたらよいか。</td> <td>子供たちの安全を守る遊び場。高齢者との交流。</td> <td><input type="checkbox"/> 防犯は何とかいい。防災は手つかず。</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 地域の高齢者への見守りのネットワークがほしい。	地域の高齢化に伴い、お互いに見守りをするための手立てをどのようにしたらよいか。	子供たちの安全を守る遊び場。高齢者との交流。	<input type="checkbox"/> 防犯は何とかいい。防災は手つかず。	<p>課題 C</p> <table border="1"> <tr> <td>地域の見守りのネットワーク作り。</td> <td>防災の組織作り。</td> </tr> </table>	地域の見守りのネットワーク作り。	防災の組織作り。	<p>活動 C</p> <table border="1"> <tr> <td>要支援者の把握。</td> </tr> </table>	要支援者の把握。	<p>支援 C</p> <table border="1"> <tr> <td>防災の組織作り。</td> </tr> </table>	防災の組織作り。														
<input type="checkbox"/> 地域の高齢者への見守りのネットワークがほしい。	地域の高齢化に伴い、お互いに見守りをするための手立てをどのようにしたらよいか。	子供たちの安全を守る遊び場。高齢者との交流。	<input type="checkbox"/> 防犯は何とかいい。防災は手つかず。																							
地域の見守りのネットワーク作り。	防災の組織作り。																									
要支援者の把握。																										
防災の組織作り。																										

嶺南地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>若い人が増えても、近所つき合いがないので、顔見知りにならない。</p> <p>人手不足(子ども会)・親(保護者)と役員のれんげいが取れない。</p> <p>地区内に色々な活動があるが、いつも同じ様なメンバーで行っている様だ。人材を地区活動に取り込むために、部長で区会に出た所で、他の活動に取込む工夫がほしいと思う。</p>	<p>課題 A</p> <p>各種団体への新規加入者の参加がむずかしい。</p> <p>母子推進委員をやっているが、次の推進委員は自分で探すような感じてきたので、自分から声をかけるのはむずかしい。</p> <p>ボランティアグループの会員募集の難点。 ・活動場所への参加、交通手段。</p>	<p>活動 A</p> <p>ボランティア協力者を集めて、手の廻らない時は出てもらうグループ登録してはどうか。</p> <p>毎年の常会長をおさえて、今後の人材育成に。</p>	<p>支援 A</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>夏休みのラジオ体操(区のみなさんのご協力が年々減るので)続けて行きたい。(子ども会)</p> <p>常会としての支援、助け合い。</p> <p>各会で企画する活動には、他の会の参加をお願いしてはどうか。</p> <p>どんど焼きを正式に実施してはどうか。</p> <p>ボランティアグループに於ける年数回のイベントの参加人数について、開場場(集会所)迄の交通手段。※徒歩等、時間がかかる。</p> <p>子供の育成に関して、ラジオ体操をボランティアといっしょにやる事となったが、子どもの参加が少ない。親の協力がなかなか得られない。</p> <p>子供会とボランティアで、協同で、地域のゴミ拾いを行う事となった。今年初めての事なので、長く続けてゆく事を目指したい。</p>	<p>課題 B</p> <p>地区での草刈り作業・排水路清掃など、高齢化により、まもなく(数年後)に困難になる。将来的には、行政で支援を。</p>	<p>活動 B</p> <p>各グループの交流がない。今回の様に、年に数回でもいいので、集まる機会をもうけてはどうか。</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>民生委員として、個人の悩みを相談されたが、役所への連絡を行うが、地区の方へは個人情報保護で相談出来ないことがあった。</p> <p>地区が団体との連携、各団体との連携。</p>	<p>課題 C</p> <p>交通関係。JR東金線の利便性向上の為に、先ずは全便共、千葉駅直通(大網駅乗換えなし)に是非して頂きたい。</p> <p>JR東金線の東・西口を結ぶ跨線橋について、現状、階段のみであり、多くの方が不便を感じている。</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p>

嶺南地区 グループD	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>各個々の家庭で、地区行事に関心を持つよう、自分も含め、後継者に教えていく。</p> <p>他人の世話を好んでする人は、あまりないでしょう。進んでやるとい人には、下心があるかもしれません。</p> <p>区民が高齢化している。中核になる人が不足している。</p> <p>新しく引越してきた人に区の組織に入ってもらう。</p> <p>旧住民 80 戸。それが現在、240 戸に増えている。</p> <p>自分から進んで、役をやってくれる人は少ないので、発掘・育成はむずかしい。</p> <p>戦後ベビー 2 世の一人者が多く、地域に子供が少ない。</p> <p>仕事をしなからでは、用事が多すぎる。</p>	<p>課題 A</p> <p>青少年相談員等、各地区複数制にして欲しい。</p> <p>子供が少なく、子供会の役員となりてがいない。 (子供会)</p>	<p>活動 A</p> <p>区の役員や近所の方が勧誘に行き、区会に入ってもらおう。</p>	<p>支援 A</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>・区全体としてのイベントがなく、横のつながりか無い。どんな人がいるかわからない。</p> <p>イベント、祭等、きらくに集まれる機会を多くする。</p> <p>農村が都市化している。昔の生活習慣の維持がむずかしい。</p> <p>交流を好まない人に交流のメリットを説明出来るものがない。</p>	<p>課題 B</p> <p>回覧板を回しただけでは気がつかないことがある。回覧板が期日までに回らないこともある。</p>	<p>活動 B</p> <p>協同館を新築し、交流の場を提供する。</p>	<p>支援 B</p> <p>行政主導でお願いします。</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>☆道路の整備が進み車の交通量や人が多く通る様になり、『ゴミ』の投げ捨てが多い！</p> <p>公園はあるけど、遊具がなく、遊べない。 (子供会)</p> <p>高齢化が進み、地区の草刈り作業などができなくなるのではないか。</p> <p>リーダーが不足している。</p> <p>一人暮らし世帯の情報の共有。 (個人情報壁)</p>	<p>課題 C</p> <p>(区では)年2回のゴミ拾いでは、足りない！</p> <p>遊具の費用をどうするのか？ (子供会)</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p>

11 東金第1地区（8月21日開催 於：東金市役所）

（1）地域特性

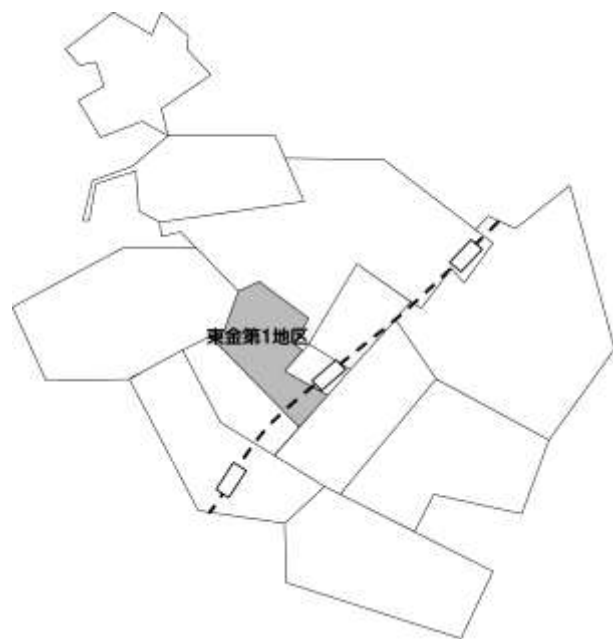
東金第1地区はJR東金駅の西方に位置しています。

地区内には豊かな自然と、歴史・文化を伝える史跡が数多く残り、中でも、八鶴湖は、花見の名所として知られています。

また、昭和50年代には日吉台地区の大規模開発が始まり、それに伴い東金市の人口も急激に増加しました。

保育・教育施設としては市立第1保育所、市立日吉台小学校、市立北中学校、県立東金高校があります。

なお、東金第1地区の会員世帯数は1,792世帯で、加入率は83.5%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A 小学校の学区が分かれているため、学区が明確でない、子どもを把握できないという意見や個人情報の共有ができない、顔ぶれがいつも同じという意見があり、プライバシー保護の関係で人材を把握しにくい、市役所から情報を得られないといった課題が出されました。これに対して、人材発掘・育成のため、各地区役員と民生委員の合同会議を行うという意見があり、個人情報保護法の考え方を柔軟にしていくことが必要としました。

目標B 自助努力が必要ではないかという意見や旧東金の人口減少が問題になっているとの意見があり、若年者や新住民等の参加・交流を促していくことが課題とされました。これに対して、各団体間の人員交流を拡大していくとの意見が出されました。

目標C 電子機器のネットワークを作れるかという意見があり、区内の各団体の活動内容が共有されていないという意見が出されました。これに対して、市民一人ひとりの活動参加を促すや参加したくなるような行事に勧誘してネットワークを作っていくという意見が出されました。

② グループB

目標A 仕事と地域活動の両立が難しい、積極的に参加してくれないといった意見が出されました。これに対して、今後の活動として、参加の呼びかけを行う、できることから参加できるようにするといった意見が出され、行政の協力やまち作り協議会・社協等が積極的に参加していくことが必要としました。

目標B 祭り等の行事への参加が増えてきている、地域の学生と連携する等の意見が出され、どこまでのエリア・団体と活動するか、関連団体と一体に運用する等の課題が出されました。これに対して、まち作り協議会を活用した活動を行う、花見の会等に他地区からの参加を呼びかける等の意見が出され、魅力的な行事を企画することが必要としました。

目標C ケーブルテレビの活用、関連団体との情報の共有、SNS・ネットに頼らない情報発信の方法等の意見がありました。これに対して、必要な支援として、行事参加のために交通機関を整備することが必要としました。

③ グループC

目標A 子どもが少ない、若者は仕事があり、役員等を引き受けられない、福祉に関心のある人が少ない等の意見が出され、福祉に関わる人材がいない、人材育成の場・機会がないといった課題が出されました。これに対して、リーダー育成の勉強会を開くという意見が出されました。

目標B 世代間交流は行われているが、参加者が減少している、仕事・子育てに忙しく、交流できない、新住民との交流が少ない、地域行事が少ない等の意見が出され、隣近所の交流が減っている、核となる交流の場が少ない、行事が少ないといった課題が出されました。これに対して、活動の場づくりをしていくとの意見が出されました。

目標C 情報共有の手段が回覧板しかない、福祉の連携システムがない等の意見が出され、課題として、仕組みがないことが挙げられました。

④ グループD

目標A 地域住民の高齢化、情報不足、地域活動に関心がない、仕事等により若年者との交流がない等の意見が出され、地域活動と仕事のバランスをとること、行革や活動への参加者が少ないこと、近所づきあいが少ないこと、班会議等を充実させることが課題として出されました。これに対して、小さなサークル活動でも、地区社協や区会がサポートして育成を心がけるとの意見が出され、場所や資金、PRが必要としました。

目標B 未就学児を持つ家庭へのサポートを日常的に行う、世代間交流の場が少ない、班単位やブロック単位で活動の機会があると良い等の意見が出され、保育サポートを拡大していくこと、学校行事に参加すること等の課題が出されました。これに対して、行事や地域活動の広報活動を行う、サークル活動や活動メニューを拡大していく等の意見が出されました。

目標C 地区社協の活動がわからない、地域福祉への関心不足、高速ネットを活用できていない等の意見があり、顔の見える地域作りを行うこと、居住地域と合致した活動を行うこと、個人情報の取り扱いの問題といった課題が出されました。これに対して、声かけ・訪問活動・美化活動等を通して、地域福祉の実情を知る、地域活性活動を拡大する、健康診断への参加を促進する等の意見が出され、活動しやすい地区社協組織の編成や、健康診断の実施に関して、移動手段の手配や出張診断等が必要な支援として挙げられました。

東金第1地区 グループA	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>小学校の学区が二つに分かれてしまっているので、子供のはあくが出来ない。</p> <p>基本的な顔ぶれがいつも変わらない。何人かの人で回っている。</p> <p>小学校の学区を明確にしてもらいたい。子供と若者の育成が出来ない。</p> <p>個人情報があるので、情報の共有が出来ない。</p>	<p>課題 A</p> <p>プライバシーの保護の関係で、人材が不明。把握しにくい。</p> <p>個人情報法による市役所からの情報が得られない。</p>	<p>活動 A</p> <p>地域福祉に関わる人材発掘・育成は難しい。各地区役員（部会も含めて）と民生委員の合同会議を行なう。</p>	<p>支援 A</p> <p>個人情報保護法の考え方をじゅうなんにしてもらいたい。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>自分の城は自分で守る。自分の健康は自分で守る。自助努力も必要である。</p> <p>旧東金の人口減少が問題。</p>	<p>課題 B</p> <p>若い人達（60才未満）の参加を促すには…を考えたい。</p> <p>新住民やアパートに転居してきた方々の交流をしようとする意識の問題。</p>	<p>活動 B</p> <p>地域の各種団体の人員交流の拡大をはかったらどうか。</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>電子機器のネットワークが作れるか。</p>	<p>課題 C</p> <p>区内の各団体の活動内容が共有されていない。</p>	<p>活動 C</p> <p>福祉は間口が広く、奥も深い。市民一人ひとりがつくりあげていくものでもある。（創造性）</p> <p>参加することが楽しくなるような行事に勧誘してネットワークを作る。</p>	<p>支援 C</p>

東金第1地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>協力しづらい家庭環境。</p> <p>子供が小学生までは家にいるが、中学生以上になると母親が働き、地域の為に協力出来ない事が多い。</p> <p>会議、行事の開催日時の設定。</p> <p>仕事と地域活動の両立が難しい。</p> <p>積極的に参加してくれない。</p> <p>地域活動への理解が足りない。</p>	<p>課題 A</p>	<p>活動 A</p> <p>参加への呼びかけ。 ・行事への参加。 ・委員会への参加。</p> <p>得意分野への参加。 ・できる事から参加。</p>	<p>支援 A</p> <p>行政の協力。 まち作り、社協等、積極的な参加。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>行事参加者が増えてきている。(祭り)</p> <p>高齢化。健康面で対応できない。</p> <p>・地域学生との連携。(中学生)小学生。子供会。 ・学校側の対応変化。</p>	<p>課題 B</p> <p>どこまでのエリア、団体と活動するか。</p> <p>関連団体と一体運用。</p> <p>老人会→主催。 (サロ)呼びこむ。 地域の人への参加。</p>	<p>活動 B</p> <p>まち作り協議会(3区合同)を活用した活動。</p> <p>他地区への参加呼びかけ。(花見の会 etc.)</p> <p>地域の講座の充実。</p> <p>中学生まで育成会で対応。</p>	<p>支援 B</p> <p>魅力的な行事。(行きたいと思う行事!!)</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>*ケーブルテレビの活用。</p> <p>関連団体との情報共有化。</p> <p>情報発信方法。SNS、ネットにたよらない。</p> <p>場、設備の提供は実施中。</p>	<p>課題 C</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p> <p>いろいろなものに参加したいけれども、交通機関がない。ふれあいセンターまで行けない。</p>

東金第1地区 グループC	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること 自 共 公	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域 人 材の発掘・育成</p>	<p>11</p> <p>子どもが年々少なくなり、PTAや子ども会の役員(ニューリーダー)を受けてくれる人がなかなかいない。(リーダー発掘キビシイ。)(子ども会)</p> <p>活動Gのリーダーは申し送りの範囲で継承しており、新たな活動や考えはほとんどない。(勉強会などの機会がない。)</p> <p>福祉に関心のある人が少ない。</p> <p>若い人は仕事があり、地域の役員等を受けない。</p> <p>とにかく活動に参加してくれる“人”が少ない。意識の問題ではなく、“人”そのものがない。</p> <p>どの世代を中心とするのか。</p> <p>区内の小学生は7人。活動するにも盛り上がりに対する。</p> <p>地域によっては、子どもの数が減少。子ども会もままならなくなる。人材不足。</p> <p>後継者のいない世帯が多い。</p> <p>若い人は仕事があり、地域の役員等を受けない。</p> <p>どういふ人が世帯にいるかわからない。</p> <p>若い人は少ない。(遠方に勤め、生活している人が多い。)</p>	<p>課題 A</p> <p>2</p> <p>福祉にかかわってくれる人材が少ない。</p> <p>人材育成の場、機会がない。</p>	<p>活動 A</p> <p>1</p> <p>リーダー育成の勉強会をひらいてほしい。</p>	<p>支援 A</p> <p>人</p> <p>物</p> <p>金</p> <p>機会</p>
<p>目標 B 場</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>7</p> <p>谷地区住民の1/3が70才以上の高齢者。外に出る機会が少ない。(区長)</p> <p>色々と地域の活動に参加したいが、仕事・子育てでいそがしく、交流できない。</p> <p>祭りのちろつきなどで世代を越えた交流はあるが、参加者は年々減少している。(子ども会)</p> <p>高齢者の近所つきあいの減少。活動のきっかけがなくなって来た。(区長)</p> <p>新住民との交流が少ない。</p> <p>隣近所の付き合いが希薄になっている。</p> <p>地域行事が少ない。</p>	<p>課題 B</p> <p>3</p> <p>隣近所の交流が減っている。</p> <p>主(核)になる交流の場が少ない。</p> <p>行事が少ない。</p>	<p>活動 B</p> <p>1</p> <p>活動の場づくり。</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C 仕組</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>4</p> <p>情報共有が回覧板しかない。</p> <p>役割の長は仕方なく引き受けており、予算の制約もあって、積極的な活動に打って出られない。メンバーもまだ消極的。</p> <p>福祉の連携システムがない。</p>	<p>課題 C</p> <p>1</p> <p>しくみがない。</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p>

東金第1地区 グループD	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>区会 老人会 } の活動は 子供会 } あるが、 一体となつての 活動が少ない。</p> <p>地域住民の高齢化。</p> <p>地域活動。 一部の方のみ実施。</p> <p>地域での 人のつながり不足。</p> <p>地域活動への PR 不足。</p> <p>個人情報の 問題もあり、本人と 直接会っての会話、 情報がつかめない。</p> <p>情報不足。 情報の出方に 工夫必要。</p> <p>地域活動への 関心不足。</p> <p>区会活動以外での 個人つきあいのない 区会活動（役員） になって、 一年交替となる。</p> <p>共同体意識が 旧地区から見ると、 低いような気がする。</p> <p>・若い人達との ふれあいの場がない 会社勤めの方が多く 時間がない。</p>	<p>課題 A</p> <p>地域活動と各人の 持つ仕事との バランス。 若い世代は特に。</p> <p>行革や活動への 参加者が少ない。</p> <p>・区会行事に 積極的に参加する。 ・近所づきあいが ないように思う。 ・班会議等の充実を 要す。</p>	<p>活動 A</p> <p>小さな サークル活動でも、 地区社協や区会が サポートして育成に 心がける。</p>	<p>支援 A</p> <p>場所。 資金。 PR。</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交 流機会の拡充</p>	<p>・班（班長）。 年間を通して 1、2回の 情報連携が 出来ないか。</p> <p>就学前までの 子供さんを持つ 家庭においての サポート等日常的に （防災時にも）</p> <p>世代間の交流の場、 無いではないが、 少ない。</p> <p>班単位、 ブロック単位の 活動の機会があると 良いと思う。</p> <p>隣人との世代ギャップ。 考え方の違い。</p>	<p>課題 B</p> <p>・保育サポートの 拡大。 ・知り得た情報の 理解を得る事が 必要。</p> <p>区に対して人の為、 区、班の理解なり、 サポートして 頂ける方の連携が 必要。</p> <p>学校行事への参 加、応援。（体育祭、 音楽祭、地域行事 に地域の人が多 く、参加する。）</p>	<p>活動 B</p> <p>他団体、区会等の バックアップ、連携。</p> <p>地域活動、 区会活動に育成会を 合同部分を増やす。</p> <p>・行事の 広報活動のPR、 声かけ運動。 ・サークル活動の 拡充。</p> <p>地域活動（区会活動）の 1. 広報活動を拡大。 2. 活動メニュー拡大。</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワー クの構築</p>	<p>各自、各戸の 地域福祉に対する 温度差が有る。</p> <p>地区社協の活動が わからない。</p> <p>地域福祉への 関心不足。 何をしているのか 知らない。</p> <p>高速ネット 二九六 の活用不足。</p>	<p>課題 C</p> <p>顔の見える地或作り。</p> <p>個人情報の 問題が大きい。</p> <p>個人情報への 取り扱い問題。 必ず出てくる。</p> <p>居住地域と 合致した活動が しにくい。 （地区社協）</p>	<p>活動 C</p> <p>声かけ、訪問活動、 美化活動等を通して、 地域福祉の実情を 知る。</p> <p>地域活性活動の さらなる拡大、 充実を図る。 ・パトロール隊 （みまもり）。 ・健康増進活動。 ・環境美化運動。</p> <p>健康診断等への 参加推進。</p> <p>ふれあいセンターへの 交通手段がなく、 高齢者には 行きにくい。</p>	<p>支援 C</p> <p>住民参加。 会員の増加。 他団体との 連携の場。</p> <p>活動しやすい地区 社協組織の編成。</p> <p>区会 民生 } 全体の 長寿会 } 連携が 子供会 } 必要。 定期的に会合を持つ。</p> <p>健康診断の実施。 ①行政、社協の バス手配。 （ふれあいセンター まで） ②地域に来ての 健康診断を してもらう。</p>

12 東金第2地区（8月21日開催 於：東金市役所）

目標C 福祉活動の縮小を考えているという意見がありました。

（1）地域特性

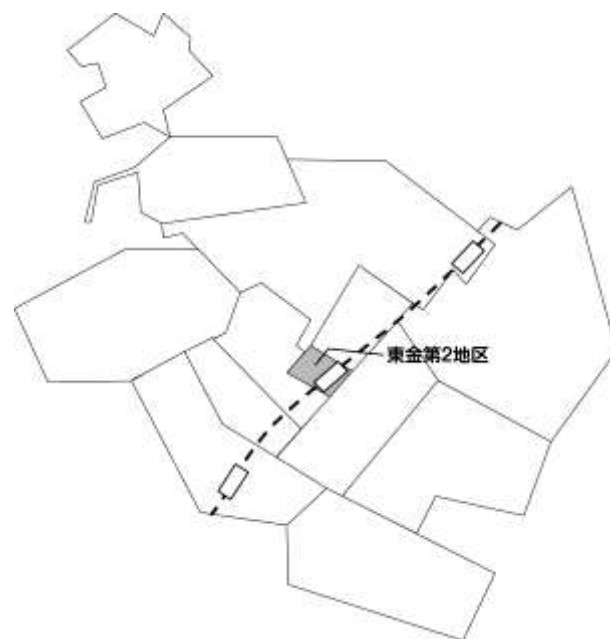
東金第2地区はJR東金駅前の旧市街に位置し、本市の玄関口となっています。

東金市役所をはじめとした公共施設やショッピングセンターがあり、JR東金駅は電車やバス等の公共交通機関の発着拠点となっています。

JR東金駅の東口にある市役所周辺には、東金図書館、中央公民館等の生涯学習施設、子どもたちが集う児童館が集まっています。

教育施設としては、市立鶴嶺小学校があります。

なお、東金第2地区の会員世帯数は442世帯で、加入率は54.7%となっています。



（2）検討及び発表内容（要旨）

① グループA

目標A ボランティアや福祉に関心がない、人々が集まれる機会が少ない、役員が旧地区民に偏っている等の意見があり、外出を促すことが課題として挙げられました。これに対して、仲の良い人から誘っていくという意見が出されました。

目標B 長寿会がない、新しい住民の加入、子供が少ないといった意見が出され、新旧区民の交流が課題として出されました。これに対して70歳以上の方を長寿会の会員にする、子ども会だけでなく、高齢者もラジオ体操に参加できるようにするといった意見が出されました。

目標C どのような活動をしているかわからない、災害時要配慮者がわからないといった意見や独居老人のデータを作る等の意見が出されました。

② グループB

目標A 若い人が少なく、共働きのため、参加が難しい、役員をやってくれる人がいないといった意見やマンション・アパートの住人に参加を促す等の意見が出され、どのような住人がいるのかわからない、区防犯防災パトロール隊への参加が課題として挙げられました。これに対して、区と区が支援するボランティアグループの交流を増やし、共助の意識を高めるといった意見が出され、要支援の高齢者に関する情報提供の協力が必要としました。

目標B 子ども会の役員をやりがらない保護者が入会しない、地域内団体間で情報を共有する、活動内容を明文化する等の意見が出されました。これに対して、子供と大人の行事を一緒に行う、地域団体の情報を回覧するといった意見が出されました。

東金第2地区 グループA	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; padding: 5px;">ボランティアに関心がない。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">人々が集う機会が少ない。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">アパートに入っている人のつきあい方。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">商店会の位置、高い。だんな様意識。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">旧岩崎地区(商店会)と、会社員多い。入りづらい。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">福祉サービスに任せすぎる。(頼りすぎる。)</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">福祉に関心がない。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">役員が偏っている。旧地区民に偏っている。</div> </div> <p style="margin-left: 200px;">名前だけでも加入してもらおう。</p>	<p>課題 A</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 100px; margin: 20px auto;"> どうしたら、外に出してくれるか。 </div>	<p>活動 A</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 100px; margin: 20px auto;"> 仲の良い人からさそう。 </div>	<p>支援 A</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; padding: 5px;">長寿会がない。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">新しい住民の加入。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">子どもが少ない。</div> </div>	<p>課題 B</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 100px; margin: 20px auto;"> 新旧区民の交流。 </div>	<p>活動 B</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 20px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 40%;"> 70才以上の方、長寿会会員にする。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 40%;"> ラジオ体操をする。子ども会だけではなく、高齢者も一緒に。 </div> </div>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; padding: 5px;">他の活動を知らない、何をしているかわからない。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">独居老人のデータを作る。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">災害時要配慮者を知らない。</div> <div style="width: 50%; padding: 5px;">常会長が変わるとわからなくなる。(元に戻る。)</div> </div>	<p>課題 C</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p>

東金第2地区 グループB	思うこと、感じたこと	課題	地域・団体としてできること	そのために必要なもの・こと
<p>目標 A</p> <p>地域人材の発掘・育成</p>	<p>福祉とは？</p> <p>若い人が少ない。いたとしても、共働きをしているのでちょっとむずかしいかも？</p> <p>役員をやってくれる人がいないので困る。役員が短期会で変わるので、会が発展しない。</p> <p>マンション、アパートの住人への参加をうながす。人材発掘。</p> <p>福祉活動力の低下。人員不足。</p> <p>福祉</p>	<p>課題 A</p> <p>どういう人が住んでいるのか。(子どもがいるのか、高齢者がいるのか)情報がなく、わからない。</p> <p>区防犯パトロール隊 29名は毎週金曜日夜間パトロールを実施して、警視は毎朝6時30分～7時45分見守り、下校時同様にしる為子供及び保護者とも顔見知りになっている。今後地域で、見守りに参加してくれる人を望んでいる。(新宿区長)</p>	<p>活動 A</p> <p>区と区が連携しているボランティアグループとの交流を増やし、共助の意識を高める。</p>	<p>支援 A</p> <p>区として要支援の高齢者が多く住んでいるのが個人情報関係で問題あり。手厚れになりそうなのが市の高齢者支援課。社会福祉課には、協力依頼しているがどの程度スムーズに連絡とれるか心配。(新宿区長)</p>
<p>目標 B</p> <p>世代・地域を越えた交流機会の拡充</p>	<p>子ども会。役員をやりがらない保護者が入会しない場合がある。</p> <p>地域内団体間の情報共有化。</p> <p>活動目標の明文化。目的別の活動。</p> <p>防犯・防災活動は参加入口としては良。</p>	<p>課題 B</p>	<p>活動 B</p> <p>子どもの行事と大人の行事を併せて行えば、参加者が増えるのでは。</p> <p>地域団体の情報を回覧しては。</p>	<p>支援 B</p>
<p>目標 C</p> <p>地域福祉ネットワークの構築</p>	<p>福祉活動の縮小を考える。</p>	<p>課題 C</p>	<p>活動 C</p>	<p>支援 C</p>

第2次東金市地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定懇話会実施報告書

発行年月：平成28年10月

発行・編集：東金市 市民福祉部 市民福祉課 / 社会福祉法人 東金市社会福祉協議会

【東金市】

所在地：〒283-8511 千葉県東金市東岩崎1番地1

電話：0475 (50) 1111 (代表)

ホームページ：<http://www.city.togane.chiba.jp/>

【社会福祉法人 東金市社会福祉協議会】

所在地：〒283-0005 千葉県東金市田間三丁目9番地1 (ふれあいセンター2階)

電話：0475 (52) 5198 (代表)

ホームページ：<http://www.togane-syakyo.jp>